

官報

號外

大正十年三月十七日

木曜日

印刷局

第四十四回衆議院議事速記録第二十八號

大正十年三月十六日(水曜日)午後一時二十九分開議

議事日程 第二十七號 大正十年三月十六日

午後一時開議

- 第一 陸軍軍法會議法案(政府提出、貴族院送付)
第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第二 朝鮮軍軍法會議ニ關スル法律案(政府提出、貴族院送付)
第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第三 臺灣軍軍法會議ニ關スル法律案(政府提出、貴族院送付)
第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第四 關東軍軍法會議ニ關スル法律案(政府提出、貴族院送付)
第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第五 海軍軍法會議法案(政府提出、貴族院送付)
第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第六 陸海軍軍法會議私訴裁判強制執行法廢止法律案(政府提出、貴族院送付)
第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第七 刑事交渉法案(政府提出、貴族院送付)
第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第八 陸軍法務官及海軍法務官ノ恩給及遺族扶助ニ關スル法律案(政府提出、貴族院送付)
第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第九 明治三十五年法律第二十九號中改正法律案(政府提出、貴族院送付)
第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第十 明治四十四年法律第六十一號中改正法律案(政府提出、貴族院送付)
第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第十一 巡查看守退隱料及遺族扶助料法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)
第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第十二 明治四十三年法律第三十號中改正法律案(政府提出、貴族院送付)
第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第十三 未成年者飲酒禁止法案(根本正君外五名提出)
第一讀會ノ續(委員長報告)

- 第十四 地方學事通則中改正法律案(竹上藤次郎君提出)
第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第十五 沒祿者給與法案(熊谷直太郎君外八名提出)
第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第十六 刑法中改正法律案(宮古啓三郎君外七名提出)
第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第十七 決議案(床次內務大臣不信任ノ件)(佐々木安五郎君提出)
- 第十八 樞密院官制改正ニ關スル建議案(副島義一君提出)
- 第十九 科學知識普及ニ關スル建議案(鈴木錠藏君提出)
- 第二十 商務省及工務省設置ニ關スル建議案(奧村安太郎君外一名提出)
- 第二十一 癲狂院増設ニ關スル建議案(中馬與九君外三名提出)
- 第二十二 傳染病豫防法改正ニ關スル建議案(松下禎二君外三名提出)
- 第二十三 中央線淺川驛鹽山驛間電力速成ニ關スル建議案(三枝彦太郎君提出)
- 第二十四 賣藥營業稅廢止ニ關スル建議案(高見之通君外二名提出)
- 第二十五 大阪和歌山間鐵道敷設ニ關スル建議案(山口義一君外四名提出)
- 第二十六 國分岩川間鐵道敷設ニ關スル建議案(日野辰次君外一名提出)
- 第二十七 櫻井松坂間鐵道速成ニ關スル建議案(津野田是重君外九名提出)
- 第二十八 勢江鐵道速成ニ關スル建議案(天春文衛君外七名提出)
- 第二十九 西條松山間鐵道豫定線一部變更ニ關スル建議案(成田榮信君外五名提出)
- 第三十 溫泉政策ニ關スル建議案(成田榮信君外一名提出)
- 第三十一 港灣行政ニ關スル建議案(三善清之君外四名提出)
- 第三十二 鹿兒島縣各離島航海補助増額ニ關スル建議案(禰苗代君外七名提出)

- 第三十三 三原吳間鐵道敷設速成ニ關スル建議案(井上角五郎君外三名提出)
- 第三十四 酒造稅法中改正ニ關スル建議案中村清造君外四名提出)
- 第三十五 農產物收穫調查及農家經濟調查確立ニ關スル建議案(土井權大君提出)
- 第三十六 軍人恩給法中改正ニ關スル建議案(近藤達兒君提出)
- 第三十七 清酒ノ滓引及貯藏減量控除額増加ニ關スル建議案(山邑太三郎君外二名提出)
- 第三十八 相可町大口港間鐵道敷設ニ關スル建議案(伊坂秀五郎君外四名提出)
- 第三十九 野岩羽鐵道速成ニ關スル建議案(八田宗吉君外三名提出)
- 第四十 柳津小出間及只見古町間鐵道速成ニ關スル建議案(八田宗吉君外三名提出)
- 第四十一 濃飛鐵道速成ニ關スル建議案(匹田銳吉君外三名提出)
- 第四十二 僧侶其ノ他諸宗教師ニ被選舉權附與ニ關スル建議案(安藤正純君提出)
- 第四十三 東京外國語學校修業年限延長ニ關スル建議案(菅原傳君外三名提出)
- 第四十四 北海道本州連絡完成ニ關スル建議案(伊藤廣錢君外四名提出)
- 第四十五 木次三次間鐵道建設ニ關スル建議案(原夫次郎君外五名提出)
- 第四十六 落合木次間鐵道起工年度繰上ニ關スル建議案(佐野正雄君外五名提出)
- 第四十七 日向沿岸國庫補助港設定ニ關スル建議案(長峰與一君外二名提出)
- 第四十八 恩給法規ノ根本改正ニ關スル建議案(高木正年君外一名提出)
- 第四十九 福山三次間鐵道速成ニ關スル建議案(永屋茂君外三名提出)
- 第五十 吉野縱貫鐵道建設ニ關スル建議案(岩本平藏君外三名提出)

第五十一

瘰癧防關係法規改正ニ關スル建議案
(中馬與九君外二名提出)

第五十二

山田川三河川法適用ニ關スル建議案
(原田藤次郎君外五名提出)

第五十三

鴨綠江岸道路修築ニ關スル建議案
(高見之通君外五名提出)

第五十四

京都監獄移轉ニ關スル建議案(竹上
藤次郎君外三名提出)

第五十五

六大都市特別市制速施ニ關スル建議
案(奥村安太郎君外三名提出)

第五十六

國幣大社大山祇神社昇格ニ關スル建
議案(深見寅之助君外五名提出)

第五十七

國幣大社大山祇神社國寶殿建築ニ
關スル建議案(深見寅之助君外五名
提出)

第五十八

山田豐岡間鐵道速成ニ關スル建議案
(長田桃藏君外二名提出)

第五十九

富山伏木間鐵道建設ニ關スル建議案
(高見之通君外三名提出)

第六十

松江隱岐間海底電線増設速成ニ關
スル建議案(若林德懋君外五名提出)

第六十一

金融機關整備ニ關スル建議案(河上
哲太君外十一名提出)

第六十二

思想問題審議機關設置ニ關スル建議
案(星島二郎君提出)

○議長(奥繁三郎君) 諸般ノ報告ヲ致シマス
(原田書記官朗讀)

一議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

北海道糖業政策ニ關スル建議案

提出者 木下成太郎君 東 武君

松實喜代太君 黒住 成章君

中西六三郎君 栗林 五朔君

伊藤 廣幾君 岡田伊太郎君

林間學校獎勵補助ニ關スル建議案

提出者 大林森次郎君 八木 逸郎君

山田 永俊君 岩崎宗茂助君

齋藤 壽雄君 宜保 成晴君

神祇ニ關スル特別官衙設置建議案

提出者 岩崎 勲君 小久保喜七君

遠藤 良吉君 澤 來太郎君

大津淳一郎君 樋口 秀雄君

石井 研二君 濱田 國松君

近藤 達兒君 奥村安太郎君

松下 禎二君 井上 孝哉君

野澤傳一郎君

多木久米次郎君

福井 甚三君 原田佐之治君

菅原 傳君 田邊 熊一君

松本 君平君 武藤 金吉君

佐々木平次郎君 安藤 正純君

黒金 泰義君 大口 喜六君

高田川井間及世田米水澤間鐵道敷設ニ關スル建議
案 春日 俊文君

食料品供給施設ニ關スル建議案

提出者 志賀和多利君 久慈 貫一君

山本条太郎君 天春 文衛君

中倉次郎君 渡邊 修君

中山 佐市君

地方稅財源擴張ニ關スル建議案

提出者 八田 宗吉君 阿部武智雄君

鈴木 巖君 川口誠三郎君

決議案(豫算ノ説明ニ關スル件)

提出者 田川大吉郎君

○議長(奥繁三郎君) 會議ヲ開キマス
○高野毅君 是ヨリ石油政策ニ對スル燃料調査會設立

ニ關スル委員會ヲ開キタイト思ヒマス、御許ヲ願ヒマス

○議長(奥繁三郎君) 許シマス

○高野毅君 委員ノ諸君ハ御集リヲ願ヒマス

○議長(奥繁三郎君) 政府ニ對スル質問ニ就テ、政府ノ
答辯ニ對シ意見陳述ノ通告ガアリマス、先ヅ之ヲ許スコトニ
致シマス、下圖忠治君ヨリ原總理大臣、中橋文部大臣ノ出
席ヲ求メラレテ居リマス、今照會中デアリマス、仍テ順序ヲ
變更シテ、田中武雄君ノ大井浦鹽派遣軍司令官ノ責任ニ
關スル質問

大井浦鹽派遣軍司令官ノ責任ニ關スル質
問ノ答辯ニ對スル田中武雄君ノ意見

(田中武雄君登壇、拍手起ル)

○田中武雄君 本員ハ浦鹽ニ於キマシテ先般起レル「ラン
グ」事件ニ關係アル、當時ノ軍司令官タル大井大將ノ
責任ニ關シ質問意見ノ陳述ヲ爲ス者デアリマス、之ニ對
シテ政府ノ御答辯ハ遺憾ナガラ不満足ニ感ジタノデアリ
マス、合營司令官ノ幕下ニ起リマシタル所ノ問題ニ對シ直
接責任ヲ負フベキ者ハ、合營司令官以下ノ將校デアルト云フ
ノガ政府ガ御丁寧ニ御説明ニナリマシタ答辯ノ大部分デゴ
ザイマシテ、直接ノ責任問題ニ對シテハ、何等ノ御答辯ガ無
カタデアリマス、重大ナル責任ヲ國ト共ニ有スル所ノ政
府ノ御答辯トシテ、洵ニ遺憾ニ感ジタ次第デアリマスガ、併
シ私ノ質問文書ナルモノモ極メテ簡單デアリマシタノデ、御
諒解ノ著カナイ所ノ程度ガアツタカモ知レマセヌカラ、此度ハ
タイト考ヘルノデアリマス、尤モ小笠原一等卒ノ身上ニ關シ
マシテハ、去ル二月二十二日同人ニ對シマシテ無罪ノ判決
ガアツタルガ故ニ、私ハ質問ヲ奇麗ニ撤回致シタノデアリマス、
即チ前ノ質問ハ一兵卒ニ關係スルモノデアリ、此度ノ質問
ハ一軍ノ派遣軍ノ最高責任者ニ關係スルモノナノデアリマ
ス、私ハ該事件ニ對スル當局者ノ處置ニ就キマシテ、大體ニ
於テ満足ヲ致シタノデアリマス、即チ歩哨ヲ無罪トシ、合營
司令官タル西原少將ガ事實上ニ「鹹ラレタノデアリマスルカ
ラ、西原少將ニ對シテハ洵ニ御氣ノ毒ニ堪ヘマセヌ、又部下
ノ將校ニ對シマシテモ、洵ニ御同情ニ堪ヘナイ次第デアリマ
スルガ、併シ何故ニ合營司令官マデ確乎タル所ノ處置ヲ執
リナガラ、其責任ヲ一歩進ンデ、軍司令官ニ及ボサマシカ
ト云フノガ第一間デアリマス、次ニ之ニ對シテ大井大將ガ自
發的ニ如何ナル態度ヲ御執リニナツタカ、自發的ニ如何
ナル態度ヲ御執リニナツタカ、云フ事ガ第二間デゴザイマシ
テ、此二間ヲ合セルモノ、即チ大井浦鹽派遣軍司令官ノ責
任如何、即チ其趣意ガ是レノ大要デアリマス、更ニモウ少シ

深く質問ノ内容ヲ説明致シマスレバ、即チ其傳ヘラレタル所ノ命令ニ不備ノ點ガアル故ニ、舍營司令官ガ責任者トシテノ責任ヲ負ハタム云フ風ニナリ、テ居リマスガ、此舍營司令官ノ下シタル所ノ命令ハ、其命令ヲ發スル同時ニ、軍司令官ニ直ニ報告セラルベキモノデアル、軍司令官之ヲ承認シテ居レバ、此命令ガ行ハレ、此命令ガ行ハレタ下ニ、彼ノ事件ガ起キタノデゴザイマス、現ニ外ニ尚ホ關係アル一例ヲ申シマスレバ、此事件ノ發生ト同時ニ、「ラングトン」大尉ガ乘、テ居リマシタル所ノ船ヲ第一ニ訪問シタル者ハ、大井司令官代表者ナリデアルマス、又「グレイブス」提督ガ會見ヲ申込ミマシテ、互ニ其意見ヲ交換シ、私ハ大井司令官ノ「大井大將ノ陳述ニ信賴シ、人格ニ信賴シテ居ル」ト云フコトヲ言明サレタヤウナ次第モアルデアルマス、寧ろ是ハ見方ニ依リマスレバ、舍營司令官ヲ罰スルヨリモ、又部下ノ將校ニ對シテ懲罰ヲ言付クルヨリモ、其最高ノ責任者タル所ノ大井大將ガ進んで責任アル態度ヲ執リサヘスレバ、斯ル部下ニ於ケル行政處分ノ問題ヲ發生セシメズシテ、或ハ濟シカトマデ私ハ考ヘテ居ル者デアルマス、ソレニ御本人ハ現在軍事參議官ニナリテ居ラレマス、又近クニ男爵ヲ授ケラル、ト云フヤウナ風評サヘモ生ジテ居ルデアルマス、斯ウ云フ事ハ一般國民及軍人ノ上ニ、少カラザル疑問トナリテ居ルデゴザイマシテ、其責任ニ就キマシテハ、西原少將ト大井大將トノ間ニ、一體ドレ位ノ差別ガアルコト云フコトハ、少クモ政府トシテハ明確ニ之ヲ發表シナケレバナラヌモノデアルト思フ、或ハ斯ウ仰シヤルカモ知レヌ、大井將軍ハ一月ノ六日ニ既ニ軍事參議官ニナリテ居ルデアル、サウシテ事件ハ一月ノ八日ニ起キタノデアルト云フコトモ、政府ノ方ノ御意見カモ知レマセヌガ、併シ立花將軍ガ行カル、マデハ、當然大井大將ガ司令官トシテノ責任、總テ其他ノ權利ヲ持テ居ルコト云フコトハ、是ハ極マリ切テ話ナリデゴザイマシテ、此點ヲ能クミ私ノヤウナ素人ニモ分ルヤウニ、御説明ガ願ヒタイト云フノガ私ノ趣意デアルマス、次ニ第二問トナルデゴザイマス、元來私ハ西原少將ガ待命トナルト同時ニ、此質問陳述ヲ致サウト思フタノデゴザイマス、併シ感ズル所アツテハ延期ヲ致シマシタ、即チ西原少將ヲ處分シテ、大井將軍ニ對シテハ何等ノ處置ヲ執ラナイト云フコトハ、是ハ陸軍當局トシテ、武士ノ情ダヤタ實モアリ情モアル遣リ方デハナカッタト云フ考デ、即チ西原少將ヲ賦テ置ケバ、大井將軍ハ或ハ自發的ニ出ラレデアラウ、多分自發的ニ出ラデアラウ、必ズ出ラレデアラウト云フヤウナコトノ爲メニヤラレタコトデアルト致シマスレバ、直チニ其質問ヲ致スガ如キハ禮儀ニ非ズト考ヘマシテ、延期ヲ致シテ居、タノデアルマス、所ガ今日ニ至ルマ

デ何等ノ態度ヲ執ラレタルヲ聞カナイノデゴザイマス、私ガ假リニ軍司令官デアルマシタナラバ、斯ル事件ヲ起サセハ致サスト私ハ信ズル、如何トナレバ自分カラ進んで其處置ヲ執ルカラデアルマス、併シ軍司令官ハ内部ニ於キマシテ、必ズ適當ナル處置ニ出ラレタカモ知レマセヌカラ、若モサウ云フ所ノ御行動ニ出デラレテ居ルデアレバ、復タ何ヲカ言ハンヤデアリマスカラ、其内容ヲ公開的ニナサルノガ、最モ當ヲ得タル處置ト考ヘルノデアルマス、事ハ洵ニ小サイ事ノヤウデアルマスガ、事實ハ決シテサウデアルマセヌ、彼ノ小笠原一等卒ヲ有罪ト爲スト云フヤウナコトガアルナラバ、日本國中ノ三百萬人ノ在郷軍人其他ニ動搖ヲ來シマスル、若シ此處分方法ヲ誤ラレトキニハ、其影響スル範圍ハ意外ニ大キイモノデアルト云フコトヲ私ハ申上ゲテ置キタイ、近來國民思想ガ段ヒト變テ參リマシテ、高田師團ト代テ出動スル金澤ノ師團ノ如キハ、西伯利ニ派遣セラレル前ニ其父兄カラ、ドウカ是ハ行カヌヤウナ手段ヲ講ジテ貰ヒタイト云フ風ノ希望ガ頻々ト參リマシテ、當局三十六聯隊長——是ハ鯖江デアルマスガ、三十六聯隊長ノ如キハ斯ウ云フ風ニ言テ居ル、斯様ナ事ハ實ニ從來ニ經驗ノ無イ所デ、思想ノ惡傾向ト云フモノハ驚クニ堪ヘタリト言テ居リマス、是ハ十二日ノ諸新聞ニ出テ居リマス、又敦賀ニ於テハ「ラングトン」事件ニ何ウ聯關シテ居ル、必ズ聯關シテ居ルデハナカラウトマデ言ハレテ居ルデアルマス、斯ノ如クニ至レバ、是ハ大權ニ對スル動搖ト見ナケレバナラヌ、統帥ノ要訣ハ、部下ヲシテ進んで嚴肅ナル軍紀ノ下ニ悅ンデ服從サス、服從サスガ爲メニハ、上ニ立ツベキ所ノ將帥ハ責任ヲ重シテ任務ヲ盡シ、整レテ後休ムト云フ所ノ精神ト行動ト努力ト誠意ヲ示サザレバ、誰カ喜ンデ國ノ爲メニ死スル者ガアリマセウカ（拍手）是ニ於テ始メテ上官ノ命令ハ、事ノ如何ヲ問ハズ直チニ之ニ服從シ、抵抗干犯ノ所爲アルベカラズト云フ勸語ノ條文ガ是ニ於テ生氣ヲ放ツノデアル、斯ウナリマシテ始メテ忠國ノ至誠ト精銳ノ士氣ヲ發揮シ得ルモノデアルマス、上官ノ命令ナラバ、其行動ハ何デモ彼デモ盲從ヲシテ宜イモノデアル、盲從ヲモベキモノデアルト云フコトハ、露西亞ニ於テハアリマシタ、而モソレハ昔ノ露西亞ニ於テアリマシタガ、現在ノ日本ニコソナ事ハ望ミモシナケレバ、又在リモシナイノデアル、其方法ヲ誤レバ一朝有事ノ際ニ、國難ニ殉ズベキ所ノ士氣ノ上ニ非常ナ動搖ヲ來スモノデ、重大ナ事件デゴザイマスカラ、是ハ眞面目ニ確タル處置ヲ付ケテ貰ヒタイト思フノデアルマス、要旨ハ斯ノ如ク簡單デゴザイマスカラ、明瞭ニ政府ノ御意見ヲ伺ヒタイト云フ次第デアルマス、是デ私ノ意見ノ陳述ハ終リマシタ（拍手）

○議長（奥繁三郎君） 鹿野炭礦買収ニ關スル質問ニ就キ意見ノ陳述ガアリマス、田中善立君

鹿野炭礦買収ニ關スル質問ノ答辯ニ對スル田中善立君ノ意見

○遠藤良吉君 議長

○議長（奥繁三郎君） 遠藤君何デスカ

○遠藤良吉君 是ヨリ所得稅法中改正法律案外四件ノ委員會ヲ開キタイト思ヒマス、許可ヲ願ヒマス

（異議ナシト呼フ者アリ）

○議長（奥繁三郎君） 許可致シマス、御開キ下サイ

○遠藤良吉君 委員ノ諸君ハ第三委員會ニ御參集ヲ願ヒマス

（田中善立君登壇、拍手）

○田中善立君 私人質問セル事項ハ、八幡製鐵所ガ昨年ノ三月鹿野炭礦株式會社ヨリ、該會社ノ所有ニ係ル長崎縣北松浦郡鹿野村ニ於ケル時價三十万圓内外ノ炭礦ヲ其十倍三百万圓デ買収シタト云フコトニ關シテデゴザイマス、之ニ就テ政府ヨリ昨日御答辯ガアリマシタガ、吾々ノ聞及ビ調査セル所ニ依、テハ、ドウシテモ諒解ノ出來ヌ簡單ナル辯明デアルマスカラ、爰ニ更ニ意見ヲ述ベントスル次第デアルマス、辯明ニ依リマスレバ、製鐵所ガ買収シタル礦區ノ總坪數ハ四百六十七万坪、一坪當リ五十九錢餘、採掘可能總噸數ノ中良炭千八百五十五万噸、一噸當リ十五錢ノ計算デアル、而シテ精煉用該炭配合材料ニ適シタル本邦唯一ノモノデアルカラシテ、斯ノ如ク買収シタノデアル、斯ウ云フ意味ノ答辯デアルマシタガ、ドウモ是ガケデハ一向世ノ疑惑ヲ霽スコトハ出來ヌノデアルマス、私ノ聞ク所ニ依リマスレバ、總坪數三百万坪、而シテ之ノ所有主ハ長崎縣前縣會副議長ノ濱野治八氏、是ガ大正六年ノ交ニ夥多ノ所有主ヨリ坪八厘乃至三錢ヲ買収シタモノデアル、大正六年十月大倉氏ノ援助ノ下ニ中倉方次郎君、横山寅一郎君等ガ關係ヲサレテ、鹿野炭礦株式會社ナルモノガ出來タ、而シテ其舊所有主ト會社ノ間ニ於テハ、賣買上行違ガアリマシテ訴訟沙汰ニモナリテ居ル、炭層ヲ云ハ三尺内外デアルマシタレドモ、實際價值アル層ハ僅ニ八寸、非常ニ薄イ層デアルマシテ鹿野炭礦株式會社ノ經營ニ依ッテハ、餘リ多クノ利益ヲ得ルコトガ出來ヌノデアルマス、故ニ遂ニ賣却サレタノデア、其含有セル炭量ノ如キモ如何ニ多ク見積ラレモ、百四五十万噸ヨリ無イ、是ハ專門家ノ調査デアルマスガ、然ルニ此答辯書ニ依、テ見マスレバ千八百五十五万噸、驚クベキ差額ガ其間ニ在ルノデアルマス、何ニ依、テ斯ウ云フ計數ガ出

ルノデアリマスルカ、一向此答辯ニ依テハ明瞭ニナラ居ラヌノデアリマス、ソレカラ又唯一ノ優良ナル炭礦デアルトアリマスルケレドモ、此附近ニハ山下「コークス」會社ガ有ル所ノ同ジ質ノ炭田モアルノデアリマスルシ、又有名ナル高島炭礦ノ如キハ、此石炭ニ優ルトモ劣ラザル所ノ炭質ヲ有シテ居ルノデアリマス、三池炭礦ノ一部ニモ此様ナ炭ガ出ルト云フコトデアリマス、唯一ト云フコトハ決シテ此點ニ依テ言フコトガ出來ヌノデアリマス、而シテ此答辯ノ末尾ニ、是マデ製鐵所ハ開平炭ヲ購入シテ居タノデアリマスレドモ、開平炭ハ將來長ク購入スルコトガ出來ナイ虞ガアル故ニ、爰ニ此炭坑ヲ買收シタ、此裏面ニハ少々値が高クテモ致方ガナイト云フヤウナ風ノ答辯ニナラ居リマスルガ、必ズシモ開平炭ニ依ラズトモ、今申ス如ク日本國內ニ於テハ、決シテ唯一デハナイノデアリマス、一朝有事ノ際ニ於テ、必ズシモ他ニ購入スルコトガ出來ヌト云フ譯デハナイノデアリマス、然ラバ何故ニ斯ク高價ニ買入レタノデアリカ、専門家ノ調査スル所ニ依リマスレバ、幾ラ高クテモ坪二十錢内外デ當然デアル、然ルニ政府ノ答辯スル四百六十七万坪トシマシタ所ガ、五十九錢ト云フ高價ニナラ居ルノデアリマス、ドウシテモ我々ハ此答辯ダケニ依テ疑ヲ解クコトハ出來ヌノデアリマス、爰ニ御參考マデニ御紹介ヲ致シマスルガ、濱口雄幸君ニ宛テテ長崎縣北松浦郡南田平村ノ矢張石炭ノ技師ヲシテ居ル人デアリマスルガ、鮎川甚五衛門ト云フ人ヨリ受ケタ手紙ガアリマスカラ、其要點ヲ朗讀致シマス、前略「陳者茲ニ書ヲ裁シテ貴下ヲ煩ハス所ノモノハ他ニテラス昨年長崎縣北松浦郡鹿町村地内ニ於テ經營スル鹿町炭坑ヲ九州製鐵所ニ於テ買收シタル事件ニ就キ當地方人士ノ或ルモノハ天下ノ一大怪事トシテ目ヲ驚カシ中央ノ議政壇上ニ於テモ多少注目サレ居リ候様子ナルモ天下ニ些ノ反響ナキハ土地邊陲ニシテ事實ノ耳目ニ接スル事遠キ爲ナルベシト存ジ候小生ハ本籍長崎縣北松浦郡南田平村即チ前記鹿町炭坑ノ所在地ナル鹿町村ノ隣村ニシテ現今表記ノ所ニ住居イタシ四十二年ニ東大工科採鑛冶金科ヲ卒業シ現今石炭事業ニ從事イタシ居ル者ニ有之候元來鹿町炭坑ナルモノハ昔ハ八尺炭坑ト稱セラレシモ實際稼業ニ堪ユル炭層ノ厚サハ八寸内外ニシテ中ゴロ當町政友會派ノ縣會議員濱野治ハナルモノ一坪八厘乃至三錢ニテ買收セシモノ、由八寸位ノ炭層ノ事ナレバ收支償フ善ナク四苦八苦ノ末大倉喜八郎ト共同ニテ株式組織トナシ一年足ラズ經營シタルモ收支償ハズ濱野治ハ八當時モ其支配人ナリシ爲同ジ黨派ノ代議士中倉万次郎氏等ヲ仲介トシ彼ノ總選舉前ニ附近ノ無煙炭同様ノ鑛區ヲ買收シテ三百餘万坪トシ之レヲ製鐵所ニ三百餘

万圓ニ賣却セリ當時ニアリテ余ノ如キ炭坑ヲ専門トスルモノモ又然ラザルモノモ鹿町炭坑ノ過去及現在ヲ目撃セルモノハ天下ノ一大奇怪事トシテ駭心驚目セシモノナリ當時石炭ヲ出ス事細カニ毎月一千噸餘炭層八寸ノ炭坑ヲ一坪當リ一圓以上ニ買收スルハ亂暴モ甚シク殆ド狂ニ近カラズヤ小生等ノ如キ専門家ノ責任ヲ負フテ評價スルモ坪十錢即三十万圓内外ナルベシ然ルニ如何ニ政友會ノ天下ニシテ地方政友會員等ノ所業トハ云ヘ又甚シカラズヤ要點ハソレダケデアリマスルガ、尙ホ他ニモ書類ガ參テ居リマス、要スルニ時價三十万圓内外ノモノヲ、三百餘万圓ト云フ法外ナ高價ニ買收タト云フニ就テハ非常ニ天下ハ其内實ニ就テ疑ヲ懷カザルヲ得ヌ斯ウ云フ事ニナルノデアリマスルガ、之ニ對スル政府ノ答辯ハ一向了解スルコトガ出來ナイノデアリマス、而シテ此事ニ關係セル當ノ責任者タル八幡製鐵所長官白仁君ハ、私ノ親シク知レル人格者デアリマス、官吏トシテモ善良ナル方デアリマス、其所ニ居ラレマスル中倉万次郎君ハ君子人ト云ハレテ居ル方デアリマス、此立派ナル人トモ間ニ斯ノ如キ疑ヲ招クヤウナル事ガ行ハレテ、之ヲ明カニスルコト能ハズンバ天下ハ何ト見マスルカ（拍手起ル）斯ノ如キ人格者ノ間ニ於テ尙且ツ斯ノ如キ事アリトセバ他ハ推シテ知ルベシト云フフロトニナルノデアリマス（馬鹿ナ事ヲ云フナ）ト呼フ者アリ、拍手起ル故ニ私ノ質問スル趣旨ハ、敢テ詰問スル意味デハアリマセヌ、願ハクハ速ニ此疑ヲ解クニ非ズンバ、政府及政友會一般ノ面目ニ關スルカ、デアル、而シテ國家全體ノ名譽ニモ關スルノデアリマスカラ、事ハ一炭礦會社ト製鐵所ノ事デアリマスレドモ、其影響スル所ヤ至重至大デアリマス、故ニ斯ウ云フ單純ナ一片ノ辨明書ヲ突附ケラレテ、ソレデ以テ疑晴レルト思フテ居ラレモ開イテ、吾々ノ調査書類ヲ詳細ニ御耳ニ達シ、又進ンデ辨明ノ任ニ當ルト云フ専門技師モアルノデアリマスカラ、其等ヲ呼ンデ速ニ此疑ヲ釋カレバ非ザレバ、今申シタヤウナ憂慮ニ堪ヘヌ結果ヲ來スト思フノデアリマス、故ニ私ハ此質問ヲスル趣意デアリマス、決シテ敢テ詰問セントスル趣意デアリマセヌ、願ハクハ只今ノ此事ニ關係セル中倉万次郎君及製鐵所長官ハ、進ンデ速ニ斯ノ如キ手段ヲ執ッテ、天下ノ疑惑ヲ釋カレンコトヲ偏ニ希望スル次第デアリマス（拍手起ル）

○議長（奧繁三郎君） 下岡君ノ質問ノ件ハ、總理大臣ガ中橋文部大臣ノ出席ヲ待ツト云フコトデアリマスガ、只今ハ貴族院ノ都合デ出席ガ六ヶシウゴザイマス、後刻デモ御出席ニナタ時ヲ見計シテ許スコトニ致シマス

○中倉万次郎君 議長……

○議長（奧繁三郎君） 中倉君

○下岡忠治君 議長……

○議長（奧繁三郎君） 今中倉君ニ許シマシタ——中倉君ハ一身上ノ事ニ就テ御辯明ガアルノデスカ

○中倉万次郎君 勿論一身上ノ事ニ就テ辯明ヲ……

（中倉万次郎君登壇、拍手起ル）

○中倉万次郎君 我々只今田中君ヨリノ質問ニ對シテ——政府ノ答辯ニ對スル又再質問トシテ御演說ガアリマシタ、其中ニ不肖吾々ノ事モ御演說ニナリマシテ、私ノ一身上ニ關係致シマシテ、聊カ私ガ關係シテ居タ所、知り得テ居ル所ダケヲ、申上デテ置カケレバナラヌ義務ガ生ジタノデアリマス、暫ク御清聴ヲ煩ハシマス、田中君ノ御演說中ニ長崎縣北松浦郡鹿町村ニ在ル所ノ炭礦ヲ、八幡製鐵所ニ買收セラレマシタニ就キマシテ、其炭量、其價額等ニ就キマシテハ、私ナドハ専門家デアリマセヌカラ、愈價格ガ何程デ相當デアルト云フコトハ此處デ申上ゲルコトハ出來マセヌガ、私ノ關係致シマシタ後ノ事ヲ申上ゲテ置カウト思フノデス、私モ前ノ持主濱野治ハト云フ者ハ存ジテ居リマス、ソレガ三菱ヨリ資金ヲ借りマシテ經營致シテ居リマシタガ、其後大倉男爵ノ後援ニ依テ會社組織ニスルコトニナリマシタ、其會社組織ニ致シマシタ當時ニ私モ其株ヲ持テ居タノデアリマス、株ヲ持テ居リマシテ、私モ其會社ノ監査役トシテ時々其實況ハ承知致シテ居リマス、其會社組織ニ致シマシテ以來、五回ノ決算ニ於キマシテ、其利益ノ配當ハ一割或ハ一割五分ノ配當ヲ致シテ參テ居タノデアリマス、其坪數ハ先刻御演說ニナリマシタ中ニ、政府ノ答辯ニ依テ四百七十万坪ト云フ御演說ガアリマシタガ、ソレハ私ノ記憶致シテ居リマス所ニ依リマシテモ、四百七十万坪位ニナラ居タカト存ジテ居リマス、其炭礦ニ就キマシテハ、製鐵所ヨリ段々調査セラレタコトハ私採モ灰ニ承知シテ居リマスガ、ドウシテモ此炭礦ヨリ出炭致シマス所ノ骸炭原料ノ炭ハ、只今製鐵所デ使テ居ル所ノ、八幡ノ製鐵所所有ノ「コークス」ガ出來ル炭ニ本溪湖ノ炭ヲ配合シナレバ、上等ノ「コークス」ガ出來ナイ、成ベク多量ニ其炭ガ出ラレバ、出ルダケ炭ハ製鐵所ニ買入レタイト云フコトハ、段々希望ガアツタト云フコトモ承テ居リマスガ、會社デ經營致シテ居リマス間ニモ、大部分ハ製鐵所ノ方ニ賣込デ居タノデアリマス、併ナガラ價格ノ點ヨリシマシテ、或ハ他ニ賣却スル方ガ利益ト云フ場合ニハ、會社ノ方デモ他ニ賣却シタコトモアルノデアリマスガ、ソレニ就キマシテ成ベク製鐵事業ノ獨立ヲ期スルニハ、第一必要ナル所ノ骸炭原料ノ炭礦ヲ所持シナレバイカナイ、本溪

湖開平杯ノ炭ヲ以テ配合シテ居リマスガ、一朝事有テ此炭ガ内地ニ取入レルコトガ出来ナイト云フコトナレバ、非常ニ製鐵事業ニ不幸ヲ來スノデアル、成ベク買収シタート云フコトガ起リマシタ、併シ會社ノ方デハ四百七十萬坪内外ノ炭礦デアリマスカラ、礦區デアリマスカラ、五百萬圓以下ニハ、賣却ハ出来ナイト云フコトヲ發表シテ居タコトモ、アタノデアリマス、是非二百四十萬圓カラ三百萬圓以内ナラバ買収ヒタート云フコトデ、其交渉ヲ受ケタート云フコトモ會社カラ承テケレドモ、大倉男爵ハドウモ將來望ミノアル炭礦デアルカラ、三百萬圓位ニハドウシテモ賣ルコトガ出来ナイ、賣ルナイ方ガ宜シト云フコトデ、一時中止ニナテ居タコトモ承知シテ居リマス、其後段モ會社ト製鐵所ノ方ト交渉ノ結果、今ノ三百萬圓——二百八十萬圓ヲ礦區ノ代價トシテ、二十萬圓ヲ種々設備一切機械等、又海岸マデ運搬スル所ノ軌道一切ヲ二十萬圓ト致シマシテ、三百萬圓ニ賣却ニナタート云フコトモ私モ承知シテ居リマス、私ハ不肖ナガラ監査役デアリマスカラ、實際其事ハ存ジテ居リマス、其三百萬圓ノ代金ノ受渡ガアタコトモ略々分テ居リマス、是モ御參考ニ申上ゲテ置カウト存ジマスガ、三百萬圓ノ中一萬七千六百四十五圓四十錢、是ハ大正九年五月ノ四日土地五十筆ノ、代價トシテ第一ニ之ヲ受取テアルノデアリマス、ソレヨリ什器及其他建物等二十二萬五千六百三十一圓五十錢ト云フモノヲ一度受取テアルノデアリマス、ソレカラ二十萬圓ヲ其礦區代ノ中ニ、五月ノ十八日ニ製鐵所カラ支拂テアル、ソレカラ段々十萬圓ヲ六月ノ十八日ニ、一番終リニ二百三十五萬八百錢ヲ云フモノガ、九月ノ六日ニ昨年ノ受引ガアリマシテ、此炭礦ノ賣買ガ完了シタノデアリマス、ソレヲソレマデニ拂込ミマシテ、三菱ニ償却致シマシタ三十幾萬圓、其他事業ニ投ジマシテ費用總テ、實際ニ申上ゲマスガ一株ニ就テ三十圓、即チ九十萬圓ヲ拂込ミマシテ事業ヲ致シマシテ、尙ホ其當時ノ事業費ニ不足致シマシテ、五十幾萬圓ト云フモノハ山口銀行カラ借入レテ、經營シテ居タモノデアリマス、ソレモ是等ノ金錢ノ受渡ガ済ミマシテ、ソレト仕拂ガ付キマシテ、サウシテ其残り額ハ總テ三萬株ノ株ニ割戻シマシタ、ソレガ八十幾圓ト云フコトニナテ居リマス、ソレデ右申上ゲタヤウニ、以前ニ濱野治ハノ手ニ買入レマス當時ノ事ハ私ハ一向存ジマセヌガ、濱野治ハガ持テ居リマシテ經營ヲ始メマシタ後、私ノ聞キ得マシタ事、又會社組織ヲ致シマシテ、私モ少シ株ヲ持チマシテ、其監査役ノ位地ニ居リマシタカラ、其以後ノ事ハ前申上ゲタ通り、是ハ少シモ間違ナイノデアリマス、只今御演說中ニ、價格ガ三十萬圓以内ノ價格デアル、ソレヲ三

百萬圓ニ製鐵所ニ賣買シタート云フコトハ、何カ吾ミガ仲間ニ在ッテ、サウ云フ不當ノ價格ニ賣買シタヤウナ御演說モアリマシタガ、是ハ十數人製鐵所カラハ此炭礦ハ相當ノ技師ヲ出シテ調査シテ、其上一十分此炭礦ノ實際ヲ調査ニ調査ヲ重ネテ、此三百萬——二百八十萬圓ヲ相當トシテ買入レラレタモノト云フコトハ、決シテ疑モナイ事實デアリマス、或ハ地方ニ於キマシテハ、政黨政派ノ關係ヨリ是等ノ問題ヲ捉ヘテ、何トカシテ吾ミニ傷ヲ付ケヤウトカ、此政友會三種ノ惡評ヲ叫ビマシテ、二月ノ初頃ハ即チ橋本喜造君ノ經營シテ居ラル、所ノ長崎新聞ナドニモ、右御演說ニナタヤウナ價值ノ無イヤウナモノヲ、吾ミカ中間ニ立ッテ非常ニ高價ニ賣付ケタヤウナコトヲ書イテ、地方ニハ非常ニ疑ヲ起サシメタヤウナコトモアリマス、是ハ私ハ全ク政黨政派ノ關係カラ、政友會並ニ吾ミニ何モ疚シイ事ガ無イニモ拘ラズ、是等ノ事ヲ書イテ騷イデ此壇上ニマデ、斯様ナ事ヲ持出ス種ニスル、此新聞ニ持ッテ行ッテ第一著ニ書カレタト思フ、斯様ノ私ハ考ヲ致シテ居リマス、此事ニ就キマシテ十分御調査ニナタナラバ御安心ニナテ、決シテ一厘一毛デモ政友會ニシテ、ニ致シマシテモ、疚シイ事ハ少シモアリマセヌ、(拍手)下ウカ之ニ就テハ貴方ガタノ力ノ限リ十分御調査ニナテ、御安心ヲ下サルヤウニ致シタト思フノデアリマス、斯様ナ事ヲ實際何カ疚シイ事デモゴザイマスレバ、私ハ左様ナ考ハ起シマセヌガ、斯ウ云フ何モ關係ノ無イ事柄マデモ引張り出シテ、此議場マデモ騒ガセラル、ト云フコトハ、洵ニ反對者ノ最早種ガ盡キテ、是マデモ御持出シナテ、此議場ヲ騒ガセラル、カト思ヒマルスト惘然ノ至リト存ジマス、決シテ滿場諸君、私モ未熟ナガラ監査役ノ位置ニ居リマシテ、此會社ノ事ハ能ク承知シテ居リマスカラ、決シテサウ云フ粗末ノ事ハ一毛デモ致サセテ居リマセヌ、御安心ニナテ、ドウカ十分是デ御疑アル御方ハ、ソレト其手續ニ依ッテ御調査ニナル方ガ宜カラウト思ヒマス、一言私ノ身上ニ關係致シマスル事デアリマスカラ……(拍手起ル)

○議長(與繁三郎君) 下圖君、發議ヲ求メラレマシタガ何か……

○田中善立君 一寸……

○下岡忠治君 總理大臣ト文部大臣ノ出席ヲ希望シテ置キマシタガ、出席ガゴザイマセヌケレバ、遺憾ナガラ今日ハ之ヲ見合セマス而シテ適當ノ機會ニ於テ、更ニ吾ミノ意思ヲ表明シテ疑ヲ質スコトニ致シマス

○議長(與繁三郎君) 議長マデ言ハレタノデアリマス——

○議長(與繁三郎君) 議長マデ言ハレタノデアリマス——

田中君、何デスカ

○田中善立君 只今ノ中倉君演說ニ就テ……

○議長(與繁三郎君) 一寸聽取ラナクチャナリマセヌ……

○田中善立君 田中君、何デゴザイマス

○田中善立君 只今中倉萬次郎君ノ只今ノ演說ニ就テ……

○議長(與繁三郎君) 中倉君ハ討論デアリマセヌ

○田中善立君 言ハレタ事ニ就テ……

○議長(與繁三郎君) 貴方ノ一身ニ就テ言ハレタコトモ無イヤウデス

○田中善立君 一身ヂヤナイ

○議長(與繁三郎君) ソレデハ許シマセヌ、(公平々々)ト呼フ者アリ)日程ニ入リマス、日程第一乃至第十二ハ同業委員ニ付託シタル議案デアリマスカラ、一括シテ議題ニ供シマス、一ニ申シマセヌ、第一乃至第十二ハ公報ニ書イテアリマスカラ御承知ノ事デアリマス、一括シテ其第一讀會ノ續ヲ開キマス——委員長鶴澤總明君

第一 陸軍軍法會議法案(政府提出、貴族院送付)

報告書

一 陸軍軍法會議法案(政府提出、貴族院送付)

右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也

大正十年三月十二日

陸軍軍法會議法案委員長 鶴澤 總明

衆議院議長與繁三郎殿

第二 朝鮮軍軍法會議ニ關スル法律案(政府提出、貴族院送付)

報告書

一 朝鮮軍軍法會議ニ關スル法律案(政府提出、貴族院送付)

右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也

大正十年三月十二日

朝鮮軍軍法會議ニ關スル法律案委員長 鶴澤 總明

衆議院議長與繁三郎殿

第三 臺灣軍軍法會議ニ關スル法律案

(政府提出、貴族院送付)

第一讀會ノ續(委員長報告)

報告書

一臺灣軍軍法會議ニ關スル法律案(政府提出、貴族院送付)

右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也

大正十年三月十二日

臺灣軍軍法會議ニ關スル法律案委員長 鵜澤 總明

衆議院議長奥繁三郎殿

第四 關東軍軍法會議ニ關スル法律案

(政府提出、貴族院送付)

第一讀會ノ續(委員長報告)

報告書

一關東軍軍法會議ニ關スル法律案(政府提出、貴族院送付)

右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也

大正十年三月十二日

關東軍軍法會議ニ關スル法律案委員長 鵜澤 總明

衆議院議長奥繁三郎殿

第五 海軍軍法會議法案(政府提出、貴族院送付)

第一讀會ノ續(委員長報告)

報告書

一海軍軍法會議法案(政府提出、貴族院送付)

右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也

大正十年三月十二日

海軍軍法會議法案委員長 鵜澤 總明

衆議院議長奥繁三郎殿

第六 陸海軍軍法會議私訴裁判強制執行法廢止法律案(政府提出、貴族院送付)

第一讀會ノ續(委員長報告)

報告書

一陸海軍軍法會議私訴裁判強制執行法廢止法律案(政府提出、貴族院送付)

右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也

大正十年三月十二日

陸海軍軍法會議私訴裁判強制執行法廢止法律案委員長 鵜澤 總明

衆議院議長奥繁三郎殿

第七 刑事交渉法案(政府提出、貴族院送付)

第一讀會ノ續(委員長報告)

報告書

一刑事交渉法案(政府提出、貴族院送付)

右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也

大正十年三月十二日

刑事交渉法案委員長 鵜澤 總明

衆議院議長奥繁三郎殿

第八 陸軍法務官及海軍法務官ノ恩給及遺族扶助ニ關スル法律案(政府提出、貴族院送付)

第一讀會ノ續(委員長報告)

報告書

一陸軍法務官及海軍法務官ノ恩給及遺族扶助ニ關スル法律案(政府提出、貴族院送付)

右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也

大正十年三月十二日

陸軍法務官及海軍法務官ノ恩給及遺族扶助ニ關スル法律案委員長 鵜澤 總明

衆議院議長奥繁三郎殿

第九 明治三十五年法律第二十九號中改正法律案(政府提出、貴族院送付)

第一讀會ノ續(委員長報告)

報告書

一明治三十五年法律第二十九號中改正法律案(政府提出、貴族院送付)

右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也

大正十年三月十二日

明治三十五年法律第二十號中改正法律案委員長 鵜澤 總明

衆議院議長奥繁三郎殿

第十 明治四十四年法律第六十一號中改正法律案(政府提出、貴族院送付)

第一讀會ノ續(委員長報告)

報告書

一明治四十四年法律第六十一號中改正法律案(政府提出、貴族院送付)

右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也

大正十年三月十二日

明治四十四年法律第六十一號中改正法律案委員長 鵜澤 總明

衆議院議長奥繁三郎殿

第十一 巡査看守退隱料及遺族扶助料法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)

第一讀會ノ續(委員長報告)

報告書

一巡査看守退隱料及遺族扶助料法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)

右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也

大正十年三月十二日

巡査看守退隱料及遺族扶助料法中改正法律案委員長 鵜澤 總明

衆議院議長奥繁三郎殿

第十二 明治四十三年法律第三十號中改正法律案(政府提出、貴族院送付)

第一讀會ノ續(委員長報告)

一明治四十三年法律第三十號中改正法律案(政府提出貴族院送付)

右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也

大正十年三月十二日

明治四十三年法律第三十號中改正法律案委員長

鵜澤 總明

衆議院議長與繁三郎殿

〔鵜澤總明君登壇、拍手起ル〕

○鵜澤總明君 諸君、陸軍軍法會議法案、朝鮮軍法會議ニ關スル法律案、臺灣軍法會議ニ關スル法律案、關東軍法會議ニ關スル法律案、海軍軍法會議法案、陸海軍軍法會議私訴裁判執行法廢止法律案、刑事交渉法律案、陸軍法務官及海軍法務官ノ恩給及遺族扶助ニ關スル法律案、明治三十五年法律第二十九號中改正法律案、明治四十四年法律第六十一號中改正法律案、巡查看守退隱料及遺族扶助料法中改正法律案、明治四十三年法律第三十號中改正法律案、此各案ノ委員會ニ於ケル結果及經過ノ御報告ヲ致シマス、此各案ニ於キマシテ、最も重大ナル法案ニシテ、而モ今期ノ議會ノミナラズ、數會期ヲ通ジテ最も重大ナル法案ノ一ゾゴザイマス、陸軍軍法會議法案、及海軍軍法會議法案、此兩案ヲ合セマスルコト云フ、殆ト千何箇條ニ亙ル大法案デアリマス、ソレ故ニ此二法案ニ就テノ御報告ヲ止メマシテモ、一時間以上掛ルコトデアラウト思ヒマス、所ガ委員會ニ於キマシテハ、委員諸君ノ非常ナル熱誠ニ依リ又勉強ニ依リマシテ、僅ニ三回ノ質問應答ヲ重ネマシテ、此案全體ヲ貴族院送付ノ通り、原案ヲ總テ可決スルコトニナッタ次第ゴザイマス、ト云フヤウナ次第デアリマス、報告ハ是デ済シタヤウナ次第ゴザイマス、是デハ餘リ簡單デゴザイマス、モウ一二三分附加ヘテ置キマス、委員ノ中ニ於キマシテ荒川君、横山金太郎君、北山君、三善君、渡邊君、八並君、是等ノ諸君カラシテ簡單デハゴザイマス、極メテ要領ヲ得マシタル御質問デゴザイマシタ、而シテ其質問ノ趣旨ニ依リマシテ、洵ニ此法案ハ時代ノ要求ニ應ジテ居リマス、所ノ必要法案デアリ、又完ニ立派ニ出來テ居ル法案デアルト云フ事柄ガ明白ニナッタ次第デアリマス、荒川君ハ尙ホ此法律上ノ見地カラノミデハナクシテ、財政上ノ見地カラ、若シ此法律案ヲ施行スルコトニナッタナラバ、經費ガドノ位掛ルモノデアラウカト云フ點モ質問ニナラレタノデアリマス、陸軍ノ志水政府委員ノ答

フル所ニ依レバ、陸軍ノ方ニ於キマシテハ、經常費ガ年々約三十萬圓位掛ルコトデアラウ、建築費ガ約二百萬圓位掛ルコトデアラウ、臨時應急ノ費用ガ百萬圓位掛ルコトデアラウト云フヤウナ御答辯ガアリマシタ、海軍ノ内田政府委員ニ於キマシテハ、定員増加ニ就キマシテ五萬圓位ラズノ經費ガアレバ、此大法案ノ施行ガ出來ルト云フヤウナ御答辯デアリマシタ、而シテ改正案ノ要點ハ、審判ノ公開、辯護士、上訴ノ制ヲ設ケ、豫審、公判、總テ長官ノ命ニ依ッテ今迄ハ著手ヲ致シテ居リタノデアリマス、此制度ヲ改メマシテ檢察官ノ請求、及起訴ヲ俟ツテ著手スルト云フヤウナコトナリ、其他裁判ノ獨立、裁判ノ保障、及人權保護ニ關スル規定ヲ設ケマシテ、軍事ノ利益相反セザル限リハ、成ベク普通ノ刑事裁判手續ト擇ブコトナカラス、裁判手續上毫モ遺憾ナキヲ期セシムルト云フコトガ標準トナッテ、改正セラレタ次第デゴザイマス、ソレカラ其他ノ案ニ就キマシテ刑事交渉案ト云フハ、陸軍軍法會議法案、海軍軍法會議法案、及普通裁判ニ於ケル刑事問題ノ交渉ノ規定ヲ設ケタモノデゴザイマス、其他此巡査看守退隱料、及遺族扶助料法中改正法律案ニ就キマシテハ、荒川君ノ質問ガアリマシテ、今日ヨリモモウ少シ手當ヲ好クスル方法ガナイカト云フコトノ應答ガアッタ、其他ノ質問ハゴザイマセヌ、而シテ此陸軍軍法會議法案、海軍軍法會議法案ニ通ジマシテ、辯護士ノ指定ト云フコトニ對シテ、政府原案ニ於テハ、其適用ノ仕方ニ依リマス、狹キニ失スル虞ガアル、ソレ故ニ陸軍大臣及海軍大臣ニ於キマシテハ、此指定ノ方法ヲ成ベク廣ク致シマシテ、折角設ケラレタル辯護士ノ途、公判公開ノ途、人權保護ニ關スル途ニ就テ、遺憾ナキコトヲ期セラレタキモノデアルト云フコトノ希望ヲ述ベテ、原案ニ可決シタ次第デゴザイマス、此希望ハ別ニ條件ト云フコトデハナイノデアリマステレドモ、陸海軍當局ニ於キマシテ、德義ヲ守ッテ、此衆議院ノ意思ヲ十分徹底セシムルコトニシテ貴ヒタイト云フ趣旨デアリマス、此段御報告ヲ致シマス(拍手起ル)

○議長(與繁三郎君) 本案ニ就キマシテ討論ノ通告ガアリマス、荒川五郎君

(荒川五郎君登壇、拍手起ル)

○荒川五郎君 只今議題トナッテ居リマス、十二案ニ就キマシテハ、私共モ賛成デアリマス、(簡單ニ願ヒマス)ト呼フ者アリ、反對論ノ無イノニ賛成ノ意見ヲ述ベルト云フコトハ、敵ナキニ矢ヲ放ツノ感ガアルノデアリマス、(其通り)ト呼フ者アリ、併シ重要ナル點ニ於テ希望ガゴザイマス、ソレハドウシテモ此場合ニ述ベルコトガ必要ト心得マス、(不必要)ト呼フ者アリ、本衆議院中陸軍軍法會議法案、海軍軍法會議

法ノ如キハ、五百六十何條ニ亙ル大法案デアリマシテ、一讀スルスラ非常ニ時間ヲ要スルノデアリマス、併シ事重大デゴザイマス、私共ノ黨派デハ法律家トシテハ並武治君、横山金太郎君、軍人トシテ三浦得一郎君、並ニ私共ガ委員トナリマシテ、實ハ晝夜研究致シマシテ、大體ニ於テハ非常ニ進歩シタル、殊ニ秘密主義ノ陸軍ガ公開制ヲ採リ、今日ノ時勢ニ順應シタル意見ヲ採ッテ居ルト云フコトハ、大體ニ於テ大ニ賛同致スノデアリマス、故ニ其等ニ就テ吾々ノ意見ヲ交換致シマシタ所ガ、此案ハ既ニ貴族院ヲ通過致シタモノデアラカ、之ヲ修正シテ更ニ之ヲ貴族院ニ送ルト云フコトハ、折角ノ此案ノ成立如何ヲモ氣遣ハレマス、陸海軍當局ノ大進歩ニ對シテモ此案ヲ成立セシムベク、吾々ノ意見ヲ留保スルコトガ必要ト認メマシテ、吾々ハ總テノ意見ヲ茲ニ取去リマシテ、賛成致シタノデアリマス、併シ陸軍軍法會議或ハ海軍軍法會議ト申シマシテモ、中ノ箇條ハ殆ト同一デアリマス、只タ海軍ニハ艦隊ニ關スルモノノ犯罪、陸軍ニハ在外師團ニ關スルモノノ犯罪、ソレガアリマス、隨テ僅カノ特例ヲ設ケレバ宜イノデアリマス、既ニ此法、運用上色ナシ事ニ於テモ、或ハ陸軍ノ憲兵ヲ海軍ノ司法警察機關ニ使フト云フヤウナコトニ於テモ、海陸軍雙方共相合致シテ此案ガ立テラレタ以上、海軍軍法會議法案、陸軍軍法會議法案ト特ニ二ツノ法典ニセズシテ、之ヲ一ツニシタガ宜カラウト思フノデアリマス、折角出來タ法典ガ殆ト同様ナモノガ別々ニナッテ居ルト云フコトハ少シ遺憾ト思ヒマス、又此軍法會議法案ハ憲法ニ於ケル特別裁判所デアリマス、軍法會議法案ト謂ハズシテ、ソレニ相當スル名ニ改メラレタ方が宜カラウト思フノデアリマス、軍法會議ト申シマシテモ、只ガ合議ノ審判ト云フコトニ止マルノデアリマス、憲法上ノ名稱モアル通り、裁判ノ名ヲ冠シタイト云フコトヲ希望シタノデアリマス、是等ノ希望ヲ述ベテ此大法案ニ賛成致シマス、然ルニ別案ノ巡査ノ退隱料遺族扶助料法ニ就テハ委員會ノ説明ガ委員長カラアリマシタケレドモ、吾々ハ此案ニ就テハ、幾多ノ希望ヲ持ッテ居ルノデアリマス、折角愛ニ他ノ法典ト關聯シテ出サレタハ云ヘ、既ニ此法律ノ改正ヲ企テラル、以上ハ、是等ノ事モ併セテ改正セラル、コトガ必要ト思フノデアリマス、私共ノ希望スル點ハ、職務ノ爲メニ創設ヲ受ケ、或ハ職務ノ爲メニ疾病ニ罹リテ不具癡疾トナッタ者ハ、只タ月給若クハ勤續ノミニ拘ラズ、生活ヲ條件トシテ相當ナル給與ヲ致スベキモノデアルト思ヒマス、是ガ第一ノ改正希望ノ點デアリマス、ソレカラ職務ノ爲メニ疾病創痼ヲ受ケテ退職シタ後ニ、一年內ニ是ガ原因トナッテ癡疾不具

トナットキニハ云々トナッテ居リマスケレドモ、必ズシモ一年
デ其病氣ガ決スル、或ハ創痕ノ結果ガ現レト云フコトハ無
イ是ハ、其身體病狀等ニ依ルベキモノデアリマスカラ、之ヲ一
年ト限シト云フコトハ、少シク無理デアルト思フノデアリマ
ス、是ハ更ニ相當ニ範圍ヲ擴メル必要アリト思フノデアリマ
ス、レカラ扶助料ノ支給ハ現職中ニ死亡シタ場合ハ、其扶助
料或ハ退隱料ヲ増額スルノ宜シト思フ、又警部補や巡
査デ警部以上ノ警察官ニ昇ツ場合ニハ、警部補巡査ノ在
職年數ヲモ相當ニ加算スルコト云フコトガ、必要デアルト思フ
ノデアリマス、其次ニ巡査ノ給與令ニ於テ改正ヲ加ヘ、尙ホ
年功加俸ノ制度ヲ設ケラル、ト云フコトハ、之ニ伴ウテ必要
ト思フノデアリマス、以上五點ガ此巡査退隱料遺族扶助料
法ニ就テ、吾々ガ速ニ改正セラレタイト云フ希望デアリマス、
此希望ハ近キ將來ニ於テ、政府ハ審議ノ上議會ニ提出セ
ラレンコトヲ希望致シマス、此希望ヲ附シテ賛成シ、他ノ各
案ハ總テ異議ナク賛成致ス者デアリマス、爰ニ賛成ノ理由
其希望ノ次第ヲ申上デマス

○議長(奧繁三郎君) 右議案ノ第二讀會ヲ開クヤ否ヤ
ヲ御諮リ致シマス
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ
○議長(奧繁三郎君) 第二讀會ヲ開クコトニ御異議ナ
イト認メマス、仍テ第二讀會ヲ開クニ決シマシタ
○岩崎勳君 日程第一ヨリ第十二掲ゲタル十二案ヲ一
括シテ、直チニ第二讀會ヲ開キ、第三讀會ヲ省略シテ委員
長報告ノ通り可決確定アラント望ミマス
〔賛成〕ト呼フ者アリ
○議長(奧繁三郎君) 岩崎君ノ動議ニ御異議アリマセ
スカ
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ
○議長(奧繁三郎君) 御異議ナシト認メマス、仍テ此十二
案ノ第一讀會ヲ開キマス

陸軍軍法會議法案 第二讀會(確定議)
朝鮮軍軍法會議ニ關スル法律案 第二讀會(確定議)
臺灣軍軍法會議ニ關スル法律案 第二讀會(確定議)
關東軍軍法會議ニ關スル法律案 第二讀會(確定議)
海軍軍法會議法案 第二讀會(確定議)
陸海軍軍法會議私訴裁判強制執行法廢止
法律案 第二讀會(確定議)

刑事交渉法案

第二讀會(確定議)

陸軍法務官及海軍法務官ノ恩給及遺族扶
助ニ關スル法律案 第二讀會(確定議)

明治三十五年法律第二十九號中改正法律
案 第二讀會(確定議)

明治四十四年法律第六十一號中改正法律
案 第二讀會(確定議)

巡査看守退隱料及遺族扶助料法中改正法
律案 第二讀會(確定議)

明治四十二年法律第三十號中改正法律案
第二讀會(確定議)

〔異議ナシ〕異議ナシノ聲起ル
○議長(奧繁三郎君) 御異議ナシト認メマス、仍テ右十
二案ハ委員長報告通り可決確定致シマシタ

○岩崎勳君 議事日程變更ニ關スル緊急動議ヲ提出致
シマス、即チ政府提出都市計畫地方委員會職員ノ恩給及
遺族扶助料ニ關スル法律案、政府提出市町村立小學校
教員退隱料及遺族扶助料法中改正案、政府提出府縣立
師範學校校長俸給並ニ公立學校職員退隱料及遺族扶助
料法中改正法律案、政府提出明治四十九年法律第十三
號中改正法律案、政府提出明治四十五年法律第十一號
中改正法律案、政府提出明治三十三年法律第七十七號
中改正法律案、以上ヲ一括議題ト爲シ、其第一讀會ノ續
キヲ開キ、委員長ノ報告ヲ求メ、且ツ其審議ヲ進メラレン
コトヲ望ミマス
○議長(奧繁三郎君) 岩崎君ノ動議ニ御異議アリマセ
スカ
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ
○議長(奧繁三郎君) 御異議ナシト認メマス、仍テ日程ハ
變更サレマシタ、即チ今岩崎君ヨリ朗讀ニナリマシタ都市
計畫地方委員會職員ノ恩給及遺族扶助料ニ關スル法律
案外五件ヲ一括シテ議題ニ供シ、其第一讀會ヲ開キマス、
委員長ノ報告ヲ求メマス——八田宇吉君

右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告
候也
大正十年三月十六日
都市計畫地方委員會職員
ノ恩給及遺族扶助料ニ關
スル法律案委員長
八田 宗吉

衆議院議長奧繁三郎殿

市町村立小學校教員退隱料及遺族扶助料
法中改正法律案(政府提出)
第一讀會ノ續(委員長
報告)

報告書

一市町村立小學校教員退隱料及遺族扶助料法中改
正法律案(政府提出)
右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告
候也
大正十年三月十六日
市町村立小學校教員退隱
料及遺族扶助料法中改正
法律案委員長
八田 宗吉

衆議院議長奧繁三郎殿

府縣立師範學校校長俸給並ニ公立學校職員
退隱料及遺族扶助料法中改正法律案(政
府提出)
第一讀會ノ續(委員長
報告)

報告書

一府縣立師範學校校長俸給並公立學校職員退隱料及
遺族扶助料法中改正法律案(政府提出)
右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告
候也
大正十年三月十六日
府縣立師範學校校長俸給並
公立學校職員退隱料及遺族扶
助料法中改正法律案委員長
八田 宗吉

衆議院議長奧繁三郎殿

明治三十九年法律第十三號中改正法律案
(政府提出)
第一讀會ノ續(委員長
報告)

報告書

一明治三十九年法律第十三號中改正法律案(政府提
出)

右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也

大正十年三月十六日

明治二十九年法律第十三號中改正法律案委員長 八田 宗吉

衆議院議長奥繁三郎殿

明治四十五年法律第十一號中改正法律案 (政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)

報告書

一明治四十五年法律第十一號中改正法律案政府提出
右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也

大正十年三月十六日

明治四十五年法律第十一號中改正法律案委員長 八田 宗吉

衆議院議長奥繁三郎殿

明治三十三年法律第七十七號中改正法律案 (政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)

報告書

一明治三十三年法律第七十七號中改正法律案政府提出
右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也

大正十年三月十六日

明治三十三年法律第七十七號中改正法律案委員長 八田 宗吉

衆議院議長奥繁三郎殿

(八田宗吉君登壇、拍手起ル)

○八田宗吉君 委員會ノ經過、並ニ結果ヲ御報告致シマス、委員會ハ一昨日以來開會スルコト三回、委託サレマシタル一法律案、五改正法律案ニ對シマシテ、慎重審議ヲ盡シタノデアリマス、デ此都市計畫地方委員會職員ノ恩給及遺族扶助料ニ關スル法律案ニ就キマシテハ、此法律案ハ都市計畫地方委員會設置サレマシタル結果、之ニ從事スル職員ニ對シテ、官吏ノ恩給ヲ施行セントスルモノデアリマスルカラシテ、何等ノ異議ナク可決致シタノデアリマス、

其次ニ市町村立小學校教員退隱料、及遺族扶助料中改正法律案、外四改正法律案ハデス、多年教育界ノ輿論デアリマシタル所、此恩給方面ニ對スル教育界ノ輿論ニ聽イテ、當局ガ英斷ヲ以テ提案サレタル改正案デアリマス、爲メニ、滿場一致此改正諸法案ニ對シマシテ、贊成ヲ表シタノデアリマス、其中此改正ノ主ナルモノニ就キマシテ、爰ニ御參考マデニ申上ゲテ置キタイト思ヒマス、此市町村立小學校教員退隱料及遺族扶助料法中改正法律案ハ、小學校教員ノ俸給令改正ノ結果、此百三十圓以上ノ受給者ニ對スル恩給扶助料法退隱料、此改正デアリマシテ、又ソレニ第四條ノ第三項ノ從來教育界ニ行ハレテ居リマシタル所、此「公職」ト云フ文字ニ代フルニ、「退隱料」ヲ支給シ付在官在職年數ヲ通算スルコトヲ得ル官職、斯ウ云フヤウニ——尤モ此教員ヲ罷メテ或公務ニ就キマシタル際ニ、非常ニ不利益ナル地位ニ陷リマシタル教育家ニ對シテ、教育家優遇ノ意味ヲ以テ、サウシテ此改正ヲ試ミタルコトデアリマス、矢張之ニ準ズルモノデアリマシテ、師範學校校長俸給並公立學校職員退隱料及遺族扶助料法中ノ改正モ、矢張「公務」ト云フ文字ヲ、今申シマシタル此退隱料ノ支給シ付在官在職年數ヲ通算スルコトヲ改メラレタノデアリマス、其他ノ事ハ此臺灣、朝鮮、之ニ附屬スル所ノ法律案ヲ改正スルニ過ギナイノデアリマス、詰リ是ハ小學校教員ガ他ノ官吏ニ轉ズル、小學校教員ガ郡視學ニ拔擢サレタコトヲヤウナ場合ニ於テ、矢張此小學校教員同ジキ退隱料ヲ貰フコトノ出來ル優遇法案デアリマス、最モ此教育界多年ノ目ノ達スル案デアリマス、爲メニ、滿場一致此改正案ニ對シマシテハ贊成致シテ可決致シタ次第デアリマス、尙ホ此詳シイ事ニ就キマシテハ、此方面ニ精通サレテ居ル所ノ委員佐藤寅太郎君荒川五郎君、兩君ヨリ、贊成ノ御意見ガアルサウデアリマス、カラ、私ハ委員會ノ經過並ニ結果ヲ御報告ラスルダケニシテ、之ヲ以テ止メテ置キマス

○議長(奥繁三郎君) 本案ニ就テモ討論ノ通告ガアリマス、通告順ニ依ッテ之ヲ許シマス、佐藤寅太郎君

(佐藤寅太郎君登壇、拍手起ル)

○佐藤寅太郎君 私ハ只今議題ニナリマシタル所ノ政府提出各案ニ贊成ヲ表スル者デアリマス、其中特ニ小學校教員ノ恩給ノ事ニ關シテ一言所感ヲ述ベタイト思ヒマス、小學校教員ノ待遇ガ近頃上昇シテ參リマシタコトハ御同慶ノ至リデアリマス、ソレニ從ッテ退隱料ノ改正ト云フコトモ亦自然ノ勢デアリマス、併ナガラ其改正ガ如何ナル點ニ於テ改正サレカト云フコトヲ吾々ハ深く思ウテ、待チツ、アツタノデアリマスルガ、今回ノ改正ヲ見マシテ、大ニ小學校教員ヲ慰ムルニ足

ルト思フ點ガ澤山アルノデアリマシテ、即チ此改正ノ表ニ依リマスルコト云フト、最初小學校教員ノ退隱料表ヲ政府デ發表致シマシタトキニハ、最高給六百圓デアリマシタ、ソレガ今回ノ改正ニ於キマシテ千九百圓殆ド三倍以上ニ改正ヲ見タコトデアリマシテ、其表ノ中ニハ舊來ノ法ニ依ッテ少額ヲ受ケテ居リマシタル所ノ者モ、此新法ノ制度ヲ受ケテ、サウシテ優遇ヲサレルト云フヤウナコトモ含シテ居ルノデアリマス、ソレニ續キマシテ舊來ノ法ニ依リマスルコト云フト、一旦退職ヲ致シマシタル者ガ退職給與金ヲ受ケテ、サウシテ次ニ恩給ヲ受クル場合ニナリマシタトキニ、其超過額ヲ差引カレルト云フヤウナ憂ガアタノデアリマス、尙又退隱料ヲ受クル者ガ再ビ他ノ公職ニ就キマシタトキニハ、差額ヲ支給セラレルト云フヤウナコトモアリマシタ、斯ノ如キ事ハ非常ナル惡風ト吾々ハ考ヘテ居リタノデアリマス、併シサウ云フ法ノアル以上ハ、已ムヲ得ズ今日迄其惡風ニ從ッテ居リマシタガ、今回ノ改正ニ依ッテ是ガ取消カレタコト云フコトニナリマス、尙又此教育者ヨリ公立學校ニ轉ジ、若クハ教育文官ニ轉ジ、色々サウ云フヤウナ場合ニ於テ、洵ニ通算上ニ不便デアリマシタケレドモ、ソレガ今回ハ取消カレマシテ、一般ニ通算ヲシテ、而シテ其中最モ恩給ヲ受クル者ノ利益ナル方法ニ依ッテ受ケラレルト云フヤウナコトニナリマシタコトハ、舊來ノ惡風ヲ改正シテ洵ニ善美ナル法ニナタト云フコトヲ思フノデアリマシテ、私ハ此政府ノ改正ニ就テハ、非常ニ満足ヲ致スモノデアリマス、兎ニ角今日ノ時代ニ於テハ、是迄政府當局ガ意ヲ用井テ、改正ヲ致シタコト云フコトハ、私ハ一英斷ト考ヘマシテ、之ニ贊成ヲ呈スルコトヲ客マザル者デアリマス、尙ホ此恩給法ハ隨分複雑デアリマス、色々不統一ノ點ガアリマス、故ニ、此恩給法ノ根本ノ統一ノ改正ヲ企テルト云フコトハ必要デアラウト思フ、其他色々御注文申シタル點モゴザイマス、ケレドモ、併シ今日ノ時勢ニ於テハ、先ヅ今回ノ改正ヲ以テ極メテ善良ナルモノト考ヘマシテ、爰ニ特ニ其事ヲ述ベテ贊成ノ意ヲ表シマス(拍手起ル)

○議長(奥繁三郎君) 荒川五郎君

(荒川五郎君登壇、拍手起ル)

○荒川五郎君 過日ノ新聞、確カ國民新聞ト思ヒマス、其中二軍人ト小學校教員ノ事デハ眼ノ無い熱心ノ荒川五郎君、隨時ノヤウニナッテ頻リニ述立ト云フヤウナコトガアリマシタガ、圖ラズモ今日軍人ニ關スル軍法會議案ニ於テ此演壇ニ立チ、又其後ニ偶然ニモ緊急動議ヲ以テ此案ガ此ニ出ルニ至リマシテ、再ヒ此演壇ニ起タナケレバナラヌコトニナリマシタノヲ甚ダ意外ト致スノデアリマス、(迷惑ノ至リデアリマス)「簡單ニ頼ミマス」ト呼フ者アリ、爰ニ議題トナッテ居リマ

スル五案ノ中ノ他ノ諸案ニハ別ニ意見ハアリマセズ、唯々主ナルノハ市町村立小學校教員退職料及遺族扶助料中ノ改正案アリマス、今政府提出ノ原案ハ四箇條ニ互テ、重要ナル點ニ改正ヲ致シテ居ルノデアリマス、地方教員ノ待遇改善ノ上ニ斯ル進歩ヲ見ルノハ、吾々ノ度所デアリマス併シ從來ノ總テノ制度ノ立テ方ハ、上ニ厚クシテ下ニ薄イノデアリマス、(左様デゴザイマス)ト呼フ者アリ、上級者ニ厚クスル旨ヲ以テ多クノ案ガ立テラレマシテ、下級官吏下級職員ニハ殆ド冷酷デアルノガ今迄ノ案デアタノデアリマス、然ルニ斯様ニシテ、設ケラレタル其案ニ對シテ昨年法律第二十號ヲ以テ上ニ薄ク下ニ厚ク増加改正ガ出來マシタガ爲メニ、其點ニ於テノ待遇ハ大ニ改善セラレマシタケレドモ、唯々法律第二十號ナル一ツノ法律ヲ以テ各案ニ引當ラレタガ爲メニ、其實際ノ上ニハ甚ダ適用上宜シキヲ得ヌモノ、竝ニ其精神ノ一貫シナイモノガ澤山アルノデアリマス、其等ハ政府ガ改正案ノ出ストキニハ、必ズ改正セラルベキモノト吾々ハ思フテ居タノデアリマス、(簡單々々)ト呼フ者アリ、成ベク簡單ニヤリマス、(賛成々々)ト呼フ者アリ、私ノ演說ニ對シテ大向フヨリ賛成ノ聲ヲ聞コトヲ感謝シマス、シカリ御賛成アルヤウニ御希望致シマス、(簡單ヲ賛成スルノダ)ト呼フ者アリ、笑聲起ル、然ルニ本案四箇條ニ互テ重要ノ改正ガアリマシタケレドモ、尙ホ其餘ニ於テ私共ノ最も大切ト認メ、又全國ノ當事者ガ熱心ニ希望致シテ居ル此正當希望ニ對シテ、當然是ハ立法府ノ同情ヲ以テ容ルベキモノデアルト認メマス、箇條ノソレヲ申述ベテ、諸君ノ將來ニ向テ御注意ヲ願ヒタイ、第一ハ本法ハ准教員ヲ總テ省イテアリマス、併シ准教員ハ義務教育費國庫負擔法ニモ認メテアルノデアリマス、然ルニ此法律ハ舊ク行ハレテ居リマスガ爲メニソレガ認メテナイ、近イ頃ハ漸次之ヲ認メラレツ、アルノデアリマス、故ニ本法ニモ准教員ヲ認ムルト云フコトハ必要ト思ヒマス、故ニ本法ニモ正教員ノ在職年數ニ准教員ガ進歩昂上シテ正教員ニ進ムコトヲ獎勵スル上ニ於テ、正教員ヲ多クシナケレバナラヌ必要ノ上カラ申シテモ、是ハ大切ナル事ト思フノデアリマス、凡ソ教員ハ今日准教員ノミナラズ、代用教員ヲ以テ今日ノ間ニ合セニ致シテ居ルト云フコトハ、私共ノ甚ダ遺憾トスル所デアリマス、希クハ普通教育ヲ國民ノ義務トシテ強フル以上ハ、其教育ニ携ハル教員ニ相當資格アル人ヲ充行フト云フコトハ、國家當然ノ義務ト思フノデアリマス、正當資格アル教員ヲ充行フベク、國家ハ十分ノ努力ヲ要スルコト、思ヒマス、隨テ是等ノ精神ヨリ致シテ茲ニ其准教員ガ正教員ニモ進ミ得ル途ヲ開キサウシテツレヲ獎勵スル途ヲ置クト云フコトハ、最も必要ト思ヒマシテ之ヲ希望

望致シマス、第二ニハ職務ニ依テ疾病又ハ創傷ヲ受ケタ場合ニハ、准教員ニモ退職料、扶助料ヲ支給スルコトニナテ居ルノデアリマス、然ルニ其額ハ極メテ少イノデアリマス、斯ノ如ク職務ノ上ニ働ク上ニ痼疾不具ニナタ者ハ、必ズシモ其地位ニ依テ厚薄ヲ甚シウスベキモノデアリナイト思フノデアリマス、其者ガドウシテ生活スルカト云フコト、是ガ法律ノ涙デアリマス、然ルニシテ免角握リ棒テ減額セントスルガ如キ傾ガアルト云フコトハ、折角國家ノ恩典、國法ノ涙是ガ下級職員ニ徹底シナイト思フノデアリマス、此點ニ於テ其額ハ同率ニ準シテ行ハレントヲ希望致スノデアリマス、次ニ他ノ文官並ニ軍人ハ恩給ヲ通算スルニモ拘ラズ、教員ハ之ヲ他ノ官吏ト通算シナイノデアリマスガ、是モ不公平ト思ヒマス、是レ實ニ全國ノ教員、此低級ナル而モ最も大切ナル職務ニ從事スル、(低級トハ何ダ)ト呼フ者アリ、大事ナ國民教育ニ携ハル者ニ對スル適當ナ方法デアリナイト心得マスカラ、退職料又ハ恩給ヲ受クル者ノ勤続年數ハ、相互ニ通算スルト云フコトニ改正セラレタイ、次ニハ在職十五年ニ足ラザル者ノ、在職中職務ノ故ニ非ズシテ死亡シタトキニ與フル一時扶助金ヲ同ジヤウニ在職十五年以上ノ者ニモ其恩典ヲ擴張ナケレバナラヌ、十五年ヨリ以下ノ教員デスラ恩典ガ有ルノ、勤続十五年以上ニナタ者ニ恩典ノ無イ場合ガアルノデアリマス、死亡シタル場合、一時扶助金ト云フモノ、扱ガ顛倒シテ居ルノデアリマス、(君ガ餘リ長キカラ憲政會ノ席ガ薄クナタデヤナイカ)ト呼フ者アリ、是ハ速ニ改正スベキモノト思フノデアリマス、モウ一箇條、(モウ宜イデセウ)ト呼フ者アリ、御聽ナサイ、モウ一箇條、(ヤリ給ヘ)ト呼フ者アリ、

○議長(與繁三郎君) 靜ニ...

○荒川五郎君(續) 自己ノ故意ニ非ズシテ、只タ官廳ノ手續認可其他ノ取扱ノ爲メニ費サレタル日數ハ、之ヲ教員ノ年功加俸ノ中斷ニ加ヘナイコトニ致シタイ、是モ併セテノ希望デアリマス、以上五箇條ノ希望ハ、唯々教員ガ自分ノ利益ノ爲メニ希望スルノデアリマセズ、苟モ立法贊揚ノ任ニ當テ居ル者ハ、十分ノ同情ヲ以テ茲ニ重要ナル意義ニ於テ注意ヲ拂ハナケレバナラヌ問題ト心得マス、故ニ此五箇條ノ希望ヲ加ヘテ本案ニ賛成致シマス、(拍手スル者アリ)

○議長(與繁三郎君) 本案ノ第二讀會ヲ開カヤ否ヤヲ御諮リ致シマス

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(與繁三郎君) 御異議ナイモノト認メマス、仍テ此六案ニ就テ第二讀會ヲ開コトニ決シマシタ

○岩崎勲君 緊急上程ニ係ル六案ヲ一括シテ直チニ第二

讀會ヲ開キ、第三讀會ヲ省略シテ、委員長報告ノ通り可決確定アラムコトヲ望ミマス

〔賛成〕(賛成)ノ聲起ル

○議長(與繁三郎君) 岩崎君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕(異議ナシ)ノ聲起ル

○議長(與繁三郎君) 御異議ナイト認メマス、仍テ直チニ右五案ノ第二讀會ヲ開キマス

都市計畫地方委員會職員ノ恩給及遺族扶助料ニ關スル法律案 第二讀會(確定議)

市町村立小學校教員退職料及遺族扶助料法中改正法律案 第二讀會(確定議)

府縣立師範學校校長俸給並公立學校教員退職料及遺族扶助料法中改正法律案 第二讀會(確定議)

明治二十九年法律第十三號中改正法律案 第二讀會(確定議)

明治四十五年法律第十一號中改正法律案 第二讀會(確定議)

明治三十三年法律第七十七號中改正法律案 第二讀會(確定議)

〔異議ナシ〕(異議ナシ)ノ聲起ル

○議長(與繁三郎君) 御異議ナイト認メマス、仍テ動議ノ如ク、此六案ハ委員長報告通り可決確定致シマシタ、(拍手起ル)日程第十三、未成年者飲酒禁止法案第一讀會ノ續ヲ開キマス——委員長野村勘左衛門君

未成年者飲酒禁止法案 (根本正君外五名提出) 第一讀會(續)(委員長報告)

報告書

一 未成年者飲酒禁止法案(根本正君外五名提出)

右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也

大正十年三月十四日

未成年者飲酒禁止法案委員長 野村勘左衛門

衆議院議長與繁三郎殿

〔野村勘左衛門君登壇、拍手起ル〕

○野村勘左衛門君 未成年者飲酒禁止法案ノ委員會ノ御報告ヲ致シマス、此法案ハ屢、本院ニ提出セラレマシテ、

其可決セラレタルコト既二十一回ノ多キニ及ンデ居ルノデ、アリマス、委員會ヲ開クコト二回、質問應答ヲ重ネマシタ末、一人ノ反對者ガアリマシタガ、而モ其反對ハ、未成年者ニ飲酒ヲ禁止スルト云フ精神ニ於テハ全然同意デアリマシテ、只ダ法律ヲ制定スルト云フコトニ反對デアッタノデアリマス、其他ノ委員ニ於キマシテハ、今日ノ我國情ニ於テ、極メテ此法律ノ制定ヲ必要ナリト致シマシテ、即チ多數ヲ以テ可決シタノデアリマス、此段御報告致シマス(拍手)

○議長(與繁三郎君) 本案ニ就テ賛成ノ通告ノ方ガアリマシタガ、但シ條件附テ反對ノ通告ガアレバト云フノデスガ、別段反對ノ通告ガ今ニ現ハレマセヌカラ、總テ取消シタモノト認メマス、討論ハアリマセヌカラ、本案ノ第二讀會ヲ開クヤ否ヤヲ御諮リ致シマス

〔異議ナシ〕(異議ナシノ聲起ル)

○議長(與繁三郎君) 第二讀會ヲ開クニ御異議ハ無イト認メマス、仍テ第二讀會ヲ開クニ決シマス

○岩崎勲君 直チニ第二讀會ヲ開キ、第三讀會ヲ省略シテ委員長報告通リ可決確定アラシコトヲ望ミマス

〔異議ナシ〕(異議ナシノ聲起ル)

○議長(與繁三郎君) 岩崎君ノ動議ニ御異議ハ無イト認メマス、仍テ直チニ本案ノ第二讀會ヲ開キマス

未成年者飲酒禁止法案 第二讀會(確定議)

〔異議ナシ〕(異議ナシノ聲起ル)

○議長(與繁三郎君) 御異議ナシト認メマス、仍テ本案ハ委員長報告ノ通リ可決確定致シマス(拍手)日程第十四

地方學事通則中改正法律案第一讀會ノ續ヲ開キマス――委員長宮崎三之助君

第十四 地方學事通則中改正法律案 (竹上藤次郎君提出)

報告書 第一讀會ノ續(委員長報告)

一 地方學事通則中改正法律案(竹上藤次郎君提出) 右ハ本院ニ於テ別紙ノ通修正スヘキモノト議決致候此段及報告候也

地方學事通則中左ノ通改正ス 第三條ニ左ノ一項ヲ加フ 特別ノ事情アル場合ニ於テハ前項ノ規定ニ拘ラス監督官廳ノ認許ヲ受ケ市町村ニ於テ其ノ費用ノ一部ヲ負擔スルコトヲ得 附則 本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

〔宮崎三之助君登壇、拍手起ル〕

○宮崎三之助君 委員會ノ經過ト其結果ヲ報告致シマス、本案ハ大正三年法律第十三號 地方學事通則ニ對シテ、一ツノ改正ヲ加ヘント欲スル議案デアリマス、此地方學事通則ト申シマスモノハ、諸君ハ御案内デモ在ラシヤイマセウガ、教育事務ノ爲メニ、市町村ガ勅令ニ依テ學區ヲ數區ニ區別スル案デアリマス、一市町村內ニ於テ、數箇ニ學區ヲ分割シ獨立セシムル案デアリマス、而シテ其分割サレタ所ノ學區ハ自ラ其費用ヲ負擔スル、即チ其學區ニ於テ使用スル所ノ學校幼稚園ノ費用ハ其學區ニ於テ市町村稅ヲ納ムル者ガ之ヲ負擔スル、斯ウ云フ風ニナテ居ルノデアリマス、之ニ依リマシテ東京、大阪、京都ヲ首メ、全國ニ於テ此學區ハ約四百三十許リ存在シテ居ルノデアリマス、所ガ實際近頃ノ狀況ヲ見マスルト云フト、同一ノ市町村內デアリナガラ、其學區ニ於テ貧乏ノ所ト貧乏デナイ所ガアル、若シ學區ガ非常ニ納稅者ガ富裕デアリマスルト、學校モ十分ニ出來マスルシ、教員モ十分ニ立派ナ教員ヲ備フコトガ出來ル、併ナガラ若シ其甲乙ノ學區ガ貧乏デアラナラバ、學校モ碌々ニ出來マセヌ、教員モ代用教員デナケレバイカスト云フヤウナ不統一ナ事ガアリマシテ、兒童教育ノ爲メニ洵ニ遺憾ノ極ミデアリマス、本案ハ之ヲ改正セントシテ、地方學事通則ノ第三條ノ次ニ一ツノ修正、即チ例外ヲ設ケントスルノデアリマス、即チ特別ノ事情アル場合ニ於テハ、前項ノ規定ニ拘ラズ監督官廳ノ認許ヲ得マシテ、市町村ニ於テ、其市町村全部ノ學校ノ費用ノ一部ヲ負擔スルコトガ出來ルト云フ例外ヲ設ケント欲スルノデアリマス、即チ之ヲ設ケマスルト云フト特別ノ事情アル場合、即チ貧富ノ度ガ非常ニ甲乙甚シヤウナ場合ニ於テハ、之ヲ設ケルコトニ依ッテ調和シテ、教員ノ配供、學校ノ維持ヲ十分ニ均等ナラシムルト云フコトナルノデアリマスカラ、言葉ヲ換ヘテ言ヘハ、近頃輿論ニアリマスル學制統一ニ向ッテ前進セントスル提案デアリマス、委員會ニ於テハ、政府委員ハ之ニ向ッテ全然賛成ヲ表シタノデアリマス、又委員ニモ一人ノ反對モナク、提案ニ向ッテ滿場一致ヲ以テ可決シタノデアリマス、只ダ字句ノ上ニ於テ、監督官廳ノ認許ヲ受ケトアルノデアリマス、認許ト云フノハ認可可許

可ト云フコトデ面白クナイカラ、他ノ法令ニアル如ク許可ト云フコトニ改メル方ガ宜カラウト云フ修正案ガ出マシテ字句ニ監督官廳ノ認許トアルノヲ「許可」ト修正シテ、本案全會一致ヲ以テ可決致シタノデアリマス、ドウゾ委員會ノ修正通り可決アラシコトヲ望ミマス

○議長(與繁三郎君) 本案ノ第二讀會ヲ開クヤ否ヤヲ御諮リ致シマス

〔異議ナシ〕(呼フ者アリ)

○議長(與繁三郎君) 第二讀會ヲ開クニ御異議ハ無イト認メマス、仍テ第二讀會ヲ開クニ決シマス

○岩崎勲君 直チニ本案ノ第二讀會ヲ開キ、第三讀會ヲ省略シテ委員長報告ノ通リ、即チ委員會ニ於テ修正議決ノ通リ、可決確定アラシコトヲ望ミマス

〔贊成〕(々々ト呼フ者アリ)

○議長(與繁三郎君) 岩崎君ノ動議ニ御異議ナシト認メマス、仍テ直チニ本案ノ第二讀會ヲ開キマス

地方學事通則中改正法律案 第二讀會(確定議)

〔異議ナシ〕(異議ナシノ聲起ル)

○議長(與繁三郎君) 御異議ハナシト認メマス、仍テ本案ハ第二讀會ニ於テ字句ノ修正ノアリマシタ通り、只今委員長報告ノアリシ如ク可決確定致シマシタ――日程第十五、沒祿者給與法案ノ第一讀會ノ續ヲ開キマス――委員長遠藤良吉君

第十五 沒祿者給與法案(熊谷直太君外八名提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)

報告書 一 沒祿者給與法案(熊谷直太君外八名提出) 右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也 大正十年三月十五日 沒祿者給與法案委員長 遠藤 良吉 衆議院議長與繁三郎君

〔遠藤良吉君登壇、拍手起ル〕

○遠藤良吉君 只今議題トナッテ居リマス沒祿者給與法案委員會ノ結果、並ニ經過ヲ御報告致シマス、本案ハ洵ニ單純、既ニ諸君ノ手ニ御廻シ申上ゲテ置キマシタ通り、所謂法第三章三箇條ヨリ成ッテ居リマス、殊ニ此問題ニ就テハ、既ニ二回モ同一案ガ本院並ニ貴族院ニ於テ通過サレテ居ル

ノデアリマス、唯タ一ツ此法案ヲ再ビ提出セザルヲ得ナカッタ
ト云フコトハドウデアルカ、斯ウ申シマスルト云フト、實ニ是ハ
悲慘ナル歴史ヲ申上ゲナケレバナラヌデアリマス、是ハ維
新ノ時所謂西南人士ガ勤王佐幕、東北人士ノ即チ陸長對
抗、斯ウ云フノガ戰爭ニナリマシタノデ、王師ニ敵對シタ
云フガ爲メニ、即チ吾々ノ先輩並ニ其他ガ或ハ刎首セラレ
或ハ家祿ヲ沒收セラレタ、即チ其當時ハ家老——其藩々ノ
家老、又戰ニ出テ來タ隊長ナル者ガ、悉ク軍務局ヨリ首ヲ
刎セラレ、家名家祿ヲ沒收サレタ、斯ウ云フ嚴刑ヲ受ケタ
デアリマス、願ヒマスルト其後ニ於キマシテハ、西南ノ戰爭ト
云フモノガ十年ニ起テ居リマス、又神風連ト云フモノモ熊
本ニ起テ居リマス、此輩モ同ジ國事犯トシテ、其指揮者並
ニ其與黨ハ重刑ニ處セラレタデアリマス、而シテ明治
聖帝ノ時恩地下ニ、及ビマシテ、其犯罪者ハ悉ク家名再興
並ニ秩祿モ、維新ノ當時ニ復サレタデアリマス、又此東北
ノ人間モ明治聖帝ノ御鴻恩ニ依テ、矢張家名相續叛名
ヲ除去サレタデアリマス、叛逆人デハナイ、所謂國家ノ爲
メニ盡シタノデアアル、斯ウ云フコトニナリマシテ、各今日ハ家
名相續ヲ爲シテ居リマス、其家名相續ハ個人ノミデ悉ク政
府ノ命令ヲ以テ、此家名襲職付ラレタ云フ書類ガ出
來テ居リマス、併ナガラ此東北ハ爾來ドウモ不遇ノ地ニ居
リマスガ故ニ、兩度ノ法律ニ依テ、鹿兒島ノ十年戰爭ノ人
モ同ジク恩典ニ浴シ、家名再興サレテ居リニ拘ラズ、此東
北ノ人ハ一人モ此恩典ニ浴サナイデアアル、一昨年兩院ヲ
通過シマシタ此法律案モ、明治三年ノ九月ト云フコトニナ
リマシタガ爲メニ此東北ハ拔ケテ居ル、何ガ爲メニ東北ダケ
ヲ除イテ置イタノダラウト云フコトハ、私共今日政府ニ交
渉致シテモ、其要ヲ得ナイト同時ニ、東北ノ人民ハ少シモ之
ヲ諒解シナイデアアル、一視同仁ノ御精神ニ悖ルモノデア
ル、吾々ノ祖先ガ仕フル所ニ忠ニシテ、主人ノ命令ニ依テ薩長
ト戰タノデアアル、其薩長ト戰タガ爲メニ今日斯様ナコトニ
ナテ居ル、家名襲職復祿付ラレタモ、東北ハサッパリ入ラ
ナイノデアアル、然ラバ西南諸國ハドウデアアルカト云テ見レバ、
個人ノ犯罪ノヤウナモノデ、主人カラ命令セラレタノデハナイ、
日本ノ古武士ハ主人ノ爲メニハ、如何ナル順逆ヲ問ハズシ
テ其命令ニ從フト云フコトハ、日本ノ國風ニナテ居ル、故ニ
私ハ會津ノ行シテモ、涙ヲ垂レテ居ル、白虎隊ナドト云フ
十五ノ青年ガ國ノ爲メニ努力シ戰タ、而シテ今日ハドウ
ナテ居ル、高輪ノ泉岳寺ヨリモ尚且ツ縋ミタル香煙ガ棚曳
イテ居ルデアアリマス、所謂感化院體ノモノガアル、其處ノ
者ガ言フタ、ドウモ世ノ中ハ違、タモノダ、僕ハ會津ニ行テ飯

盛山ヲ望ミテ二十四人ノ不良少年ヲ伴レテ行テ、サウシテ
見セテ其事情ヲ物語リ、且ツ其所デ賣ル所ノ種々ノ物ヲ買
テ來タラ一變シタ者ガ澤山アル、三度引張テ行タ所ガ實
ニ偉大ナル效果ヲ呈シテ居ル、(拍手)是ハ實ニ看過スベカ
ラザルモノデアアルト私ニ物語タコトガアル、國家ノ爲メニ身
ヲ犠牲ニ供シ、砲彈ノ間ニ殞レタ者ヲ、其者ニ對シテノ恩
典ノ無イト云フノハ、甚ダドウモ不可解ニ堪ヘヌト云フ爲メ
ニ此案ヲ提出シタ所以デアリマス、此事ハ私ガ述ブルニ非
ズシテ、提案者熊谷君ヨリ詳細ニ御述ニナタノデアアル、之ニ
對スル政府ノ答辯ハドウデアアルカ、斯ウ申シマスル甚ダ遺憾
不可解デアデ、今日ハ斯様ナ事ヲ言フテ居ラレタ、廢藩置
縣後ニ非ザレバ、政府ニ於テハ責任ハナイデアアル、廢藩置
縣ハ明治三年九月ニ行ヒタルガ爲メニ、九月ヨリ以後ノ事
ハ此政府ニ於テ責任ガアル、其以前ノ事明治一、二年ノ叛
逆者トシテ處分ヲ受ケタ者ニ對シテハ、政府ガ之ヲ救済ス
ルノ要ヲ認メズ、第二ニハ其藩々ニ於テ勝手ニ處分シタノ
デアアルカ、之ヲ政府ガ救済シ、且ツ其責任ヲ負ハヌ、第三ニハ
證據ガ政府ニハ無イデアアル、無イデアアルカラ、廢藩置縣
後ニ始メテ政府ニ書類ガアルガ、ソレ迄ノハ無イカラ、カ
ナ、然ラバ此給與スルト云フコトニ對シテハ、如何ナル御感
想ヲ持ツカト申シマシタラ、是ハ洵ニ御同情ニ堪ヘヌガ、甚
ダ御尤ト思ヒマス、ケレドモサウデアアルト言フ、ソコデ大口喜六
君ノ如キハ詳細ナル質問ヲ發シタ、今政府委員ガ明治三年
九月以後ニ非スニ責任ヲ負ハヌトナレバ、明治初年ニ明
治トナテ年號マデ改メテ、御親裁ト云フコトノ詔勅ノ發セ
ラレタノハ、吾々モ覺エテ居ル、其間明治三年迄ハ何者ガ主
宰シテ居タ、徳川政府ハ、天皇陛下ヨリ御委任ヲ受ケテ
ヤテ居タ、ソレヲ御返シ申シタラ、御返シ申シタ當日カラ
責任ハ此政府ニアルデアリカ、ソレニ對スル所見ハドウデ
アルカト云フ間ニ對シテ、政府委員ノ答ハサウ言ヘバサウ云
フヤウナコトニナリマスガ、ドウモソコハ……ト云フヤウナコト
ヲ要スルニ頗ル不得要領ニシテ、政府ハ誠意ガ無ク、且ツ取調
ガ粗瀝デアアルト云フコトニ、私共一同ガ認メテ討論ヲ終結シ
タノデアリマス、討論ニ入りマシタ後ハ、只今申上ゲルガ如ク
是非ハ給與セザルヲ得ナイモノデアアル、獨リ東北ノミ限
テ之ニ救済ヲ爲サヌト云フコトハ、即チ明治聖帝ノ一視
同仁ノ御趣意ニ反クモノデアアル、又今日色々人心ガ變化ヲ
致シテ居リマス、ケレドモ、若シ此儘ニシテ彼ノ忠勇ナル人ミ
ヲ祀ラザルガ如キコトニナリマシタラバ、如何ナル危險思想
ガ勃發スルヤモ計リ難イデアアル、斯様ナ譯委員會ニ於テ
ハ一人ノ反對ナク、各派ノ代表者悉ク同意ヲ表シ、滿場一
致ヲ以テ可決シタ次第デアリマス、ドウカ滿堂ノ諸君、此趣

旨ヲ洞察ノ上、委員會決議ノ通り御賛成アラシコトヲ偏ニ
御願申シマス(拍手)
○議長(奥繁三郎君) 本案ノ第二讀會ヲ開クヤ否ヤヲ
御諮リ致シマス

○議長(奥繁三郎君) 第二讀會ヲ開クニ御異議ガナイト
認メマス、仍テ第二讀會ヲ開クニ決シマシタ
○岩崎勳君 直チニ本案ノ第二讀會ヲ開キ、第三讀會ヲ
省略シテ、委員長報告ノ通り可決確定セラレシコトヲ望ミ
マス

○議長(奥繁三郎君) 岩崎君ノ動議ニ御異議ナイト認
メマス、仍テ直チニ本案ノ第二讀會ヲ開キマス

沒祿者給與法案 第二讀會(確定議)

○議長(奥繁三郎君) 御異議ハ無イト認メマス、仍テ本
案ハ委員長報告ノ通り可決確定致シマシタ、日程第十六
刑法中改正法律案ノ第一讀會ヲ續キヲ開キマス、委員長
高見之通君

第十六 刑法中改正法律案(宮古啓三郎君
外七名提出) 第一讀會(續)

報告書
一 刑法中改正法律案宮古啓三郎君外七名提出
右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告
候也
大正十年三月十五日 刑法中改正法律案委員長 高見之通

○高見之通君 宮古啓三郎君ヨリ提出ニナリマシタル、刑
法中改正法律案ノ委員會ノ經過ヲ御報告致シマス、本案
ハ裁判所ニ關係スル役人ガ其事件ヲ取調ヘルニ當テ、會
喝又ハ詐言ヲ用キル者ニハ、相當ノ制裁ヲ與ヘルト云フ案
デアリマス、現行法ニ於キマシテモ、暴行ヲ用キタ者ニ對シテ
ハ相當ノ制裁ガアリマス、ケレドモ、此詐言ヲ用キテ取調ヲ爲
シタト云フ者ニ對シテハ何等ノ制裁ガ無イ、然ルニ今日人
權蹂躪ノ聲ノ囂シキ時ニ當テ、斯ノ如キ事ガ頻々トシテアル
、故ニ是非此制裁ヲ用キナケレバナラヌト云フコトデ、昨
年ノ四十二議會ニ於キマシテモ此案ガ提出サレタノデアリ

マス、其時ニ司法當局ハ曰ク、裁判所バカリデハナイ、直接
税ノ係ヲヤテ居ル稅務署ノ官吏其他諸般ノ關稅ノ役人
ハ、皆ナ此取調ヲ爲スニ斯ノ如キ制裁ヲ設クル必要ガアル
ノデアル、故ニ司法官ノミニ對シテ斯ウ云フ規定ヲサレル
ハ、片手落デアルト云フコトカラシテ、一切ノ行政官吏ヲモ
含シタル制裁規定ヲ單行法トシテ、提出シ、昨年ノ議會ニ於
テ衆議院ハ可決シ、貴族院ニ於テ遂ニ解決ヲ得ズシテ殘
タノデアリマス、本年再ヒ此案ガ出マシタガ、大體根本ノ趣
意トシテハ政府トシテモ認メルノデアル、唯裁判官ノミニ
捉ヘテ、其他ノ役人モ必要ノ者マデモ除クト云フコトハ、
片手落ノ處分デアルト云フコトノ意味ニ於テ反對ヲシテ居
ラレルノデアリマス、趣意ソレ自身ニ於テ賛成デアルナラバ、
先ヅ一段ヅツ進メテ行ク、何等差支ガナイト云フコトノ意
味ニ於キマシテ、此意味ニ於テ政府ノ意見モ議員ノ意見モ
一致シタルモノト認メ、特別委員會ニ於キマシテ、滿場一致
ヲ以テ可決致シタルデアリマス、仍テ諸君モ御賛成下サテ、
御可決アラントラ偏ニ希望スル次第デアリマス(拍手)
○議長(奧繁三郎君) 本案ノ第二讀會ヲ開クヤ否ヤヲ御
諮リ致シマス

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(奧繁三郎君) 御異議ナイモノト認メマス、仍テ第
二讀會ヲ開クニ決シマシタ

○横山勝太郎君 議長

○議長(奧繁三郎君) 横山君、何デスカ

○横山勝太郎君 一寸委員長ニ御尋シタイ事ガアリマス

○議長(奧繁三郎君) 御質問ナラニ讀會ヲ開イテカラデ
宜イデセウ

○横山勝太郎君 議事ノ進行ニ就テ御尋シタイノデス、委
員長ノ取扱振ニ關シテ一言御尋ヲ致シタイノデス

○議長(奧繁三郎君) ソレデハ第二讀會ヲ開イテカラデ
ハ如何デス

○横山勝太郎君 ソレハドナラデモ宜シウゴザイマス

○議長(奧繁三郎君) 本案ハ第二讀會ヲ開クニ決シマシ
タ

○岩崎勲君 直チニ本案ノ二讀會ヲ開カレンコトヲ望ミ
マス

〔賛成々々ニ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(奧繁三郎君) 岩崎君ノ動議ニ御異議ハナイト認
メマス、仍テ直チニ本案ノ第二讀會ヲ開キマス、横山君

刑法中改正法律案 第二讀會(確定議)

○横山勝太郎君 此案ニ就テハアリマセヌ、此案ニ關聯

シテ居ル事デ御尋ヲ致シタイ、此案ノ通過致シタコトニ就テ
ハ、無論吾々ハ賛成ヲ致スノデアリマスガ、是ヨリ先キニ高見
委員長ノ取扱ニ係ル市町村制中改正法律案ナルモノガ、
特別委員會ヲ通過シテ居ルニモ拘ラズ、其報告ヲ爲サズシ
テ此案ノ報告ヲ爲サレルト云フ取扱振ニ對シテ、本員
ハ多大ノ疑ヲ懷クノデアリマス、ソレハドウ云フ譯デアリマス
カ
○議長(奧繁三郎君) ソレハ日程ニ上テ居ラヌカラデア
リマス、日程ニ上テ居ラヌモノヲ報告サレル筈ハアリマセヌ
○横山勝太郎君 ソレ故ニ私ハ議事進行ニ關スル點ニ就
テ、御尋ヲスル申シテ居ルノデス
○高見之通君 議長ノ答辯ノ通りデアル
○議長(奧繁三郎君) ソレハ高見君ガ答辯スル筋デハア
リマセヌ、委員長ノ報告ガ議長ノ手許ニ廻テ來レバ、議長
ハ見計シテ日程ニ上セマス
○横山勝太郎君 ソレデハ只今ノ事ハ議長ニ御尋ヲ致シ
マス、議長カラ然レバ御取計ヲ願ヒマス
○岩崎勲君 本案ハ第三讀會ヲ省略シテ、委員長報告ノ
通り可決確定セラレンコトヲ望ミマス

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(奧繁三郎君) 岩崎君ノ動議ニ御異議ナイト認
メマス、仍テ委員長報告ノ通り可決サレマシタ、日程第十
七、決議案ヲ議題ニ致シマス、提出者佐々木安五郎君

第十七 決議案(床次内務大臣不信任ノ件)(佐々木安五郎君提出)

決議案

本院ハ床次内務大臣ヲ信任セヌ

右決議ス

〔佐々木安五郎君登壇、拍手〕

○佐々木安五郎君 私ハ床次内務大臣ノ不信任案ノ提
出者トシテ、理由ノ説明ヲ致シマス、決議案ノ理由ハ「床次
内務大臣ハ就任以來國民思想ノ指導ヲ誤ルコト一再ナラ
ス、特ニ最近ニ至リテハ名ヲ新聞取締ニ藉リ猥ニ言論ヲ壓
迫シ報道ヲ抑止シ宮中及驛站ニ行ハレタル重大事件ノ公
表其ノ機宜ヲ失シ民心ヲシテ五里霧中ニ彷徨セシメ世ヲ
舉ケテ惶惑不安ノ念ニ耐ヘサラシムスノ如キハ以テ内政ノ
樞機ヲ託スルニ足ラス依テ速ニ其ノ責ヲ引キ一身ヲ處決ス
ヘキモノナリ」是ガ提出ノ理由ノ大要デアリマス(分タリ)
ト呼フ者アリ) 濃厚ノ長者ト聞エタル床次内務大臣ニ向
テ一矢ヲ酬ユルト云フコトハ(柄デナイ)ト呼フ者アリ)甚ダ

氣ノ毒ニ思ヒマス、併ナガラ個人ハ個人、國務大臣ハ國務
大臣、既ニ内務大臣タル以上ハ、國民ノ代表者トシテ信
任スル能ハザル理由ヲ述ベナクレバナラヌノデアリマス、當リ
前カラ言ヒマス、床次内務大臣ハ地方制度ノ市町村
制度改正法律案ノ骨子ガ、閣議ニ於テ蹂躪サレタル其時ニ
責任ヲ知ル立憲大臣デアラナラバ、自分ノ進退ヲ決セラル
ベキモノデアルト私ハ思テ居ル、死スベキ時ニ死セザレバ死
ニ勝ルノ恥アリ、辭職スベキ時ニ辭職セザレバ辭職ニ勝ル
ノ恥アリ、吾輩ガ今日此問題ヲ以テ床次内務大臣ヲ責ム前
ニ、内務大臣ガ自己ノ意見ヲ貫徹スル能ハザルガ爲メニ、級
別撤廢ノ精神ヲ貫クト云フ意味ニ於テ辭職ヲサレタナラ
バ、ソレコソ立憲立憲の大義ノ標本デアッタニ違ヒナイ、惜
イカナ事安ニ出デズシテ、死ニ勝ルノ恥ヲ見セナクレバナラヌ
ト云フコトハ、御本人ニ對シテハ頗ル氣ノ毒ニ思ヒマス、凡
ソ國務大臣數アル中ニ、何レヲ重シ何レヲ輕シト云フ譯デ
アリマセヌケレドモ、總理大臣ヲ以テ一家ノ主人公ト譬ヘル
ナラバ、内務大臣ノ主人公ヲ助ケル所ノ一家ノ主婦ノ役目
デアル、一家ノ主婦ノ家政ノ取締ガ行届クト届カヌ依テ、
其家ノ盛衰存亡ノ岐レルガ如ク、一國ノ内務大臣ガ内政
上ニ於テ舵ノ取りヤウニツデ、國家ノ安危、治安、興廢ト
云フモノハ岐レルモノデアル、此故ニ太政官以來大久保内
務卿ノ如キ一代ノ英傑ガ内務卿ニナツテ居ル、伊藤公ガ内
閣制度ヲ立テラレテ以來モ、重要ナル人物ニ非ザレバ内務
大臣ニハシテ居ラヌ、故ニ平民内閣ヲ標榜シテ立テルトコロ
ノ政友會内閣ノ原總理大臣ハ、何人ヲ以テ自己ノ女房役
ト極メタルト云フコトハ、萬目ノ囑目シテ見ルトコロデアッタガ、
私ハ床次内務大臣ニ落テタ、内務大臣ハ固ヨリ令名噴々
タル人デアル、三木君ハ薩南ノ麒麟兒トマデ頌辭ヲ奉テ
居ル、併ナガラ私ハドウ考ヘテモ薩南ノ麒麟ト思ハヌ、根柢
奉ルコトハ出來ナイノデアル(拍手) 何トナレバ思想ノ根柢
以テ之ヲ言フ、將來ヲ知ラント欲スル者ハ既往ヨリ調ベテ見
レバ分リマス、床次内務大臣ハ會テ内務當局者トシテ三教
合同ヲ企テラレテ、失敗ニ終ラタコトガアル、三教合同、神道
ト佛教ト耶穌教トヲ一ツニシヤウ、是ガナリマスカ、神道ト云
フモノハ諸君御存知ノ通り多神教デアル耶穌ト云フモノハ
諸君ノ御存知ノ通り獨一眞神ヲ立テル一神教デアル、佛
教ト云フモノハ眞如即萬法、萬法即眞如、一神ニシテ即チ
多神ナルモノデアル、一神教ト多神教ト、一神多神ノ混合
教ト、之ヲ打ッテ一丸トサレヤウト云フコトヲ、御考ヘニナル
ト云フコトハ、柳ノ枝ニ櫻ノ花ヲ咲カセ、梅ノ香ヲ移シタイト
云フヤウナモノデアル、是ガ出來レバ是ヨリ上ノ立派ナ事ハ

ナイガ、是ハ出来ナイコトデアル、出来ナイコトヲ政府ノ御用掛ノ聲ガ掛リサヘスレバ出来ルカト思ハレルノガ、是ガ官僚主義ノ根本ノ誤リデアル(拍手)床次内務大臣ノ思想ノ不徹底ト云フモノハ此所カラ来テ居ル、其根柢ヲ論ズレバ、政府ノ御用掛ト云フタラシム無理デモ通ス、通レルモノナドト云フヤウナ御考ガ、總テノ施設ニ現レテ居ルノハ、今日ノ誤レル政策ヲ産ミ來シタル大ナル淵源デアラウト思フ(拍手)併ナガラ、斯ノ如クニ三教合同ノ出来ナイモノヲ、ゴチャ混ゼニスルト云フコトニナルト、頭ヲ虎ニシ尻尾ヲ蛇ニスルヤウナ鰐ノヤウナモノデアル、鰐既ニ麒麟ニアラズ、故ニ私ハ床次内務大臣ノ思想ヲ以テ、麒麟兒ノ思想ナリトハ解釋シナイケレドモ、少クモ三教ヲ合同スル、合同スルト云フ所ニ床次内務大臣ノ統一的手腕ヲ試ミラントシテ、失敗ニテ、テモ何デモ構ハヌ、統一ト云フコトニ就テ今日何ガ一番必要デアアルカト云ヒマスルト、戦後ニ於テ整理スベキ問題ハ、曰ク外交、曰ク財政、曰ク産業、曰ク教育、曰ク衛生、指數ヘ口屈スルニ違アラザル程(笑聲)アルニハ違ヒナイガ、其中デ最も重要ナル整理ヲ要スベキモノハ何デアアルカト云ヒマスルト、思想ニ違ヒナイ(ヒヤ)「ト呼フ者アリ」思想ノ統一ガ付カザレバ、總テノモノハ統一ハ出来ナイ、思想ハ質デアラテ、政治ハ量デアアル、國家ハ形デアアル、此質カラ研究シテ掛ラネバ決シテ形ニ於テ立派ナモノガ出来ル譯ノモノデハナイ、然ラバ思想ハ統一ガ出来ルカ出来ヌカ或者ハ曰ク思想ハ統一ガ出来ヌ、思想ノ統一ナシカシヤウト云フノハ逆モ出来ルモノデハナイ、斯様ナ事ヲ言フ者ガアリマスケレドモ、思想ノ統一ニ必シモ出来ヌト云フコトハナイ、唯ダ思想ノ統一ヲ要スルトキハ、大人格アテ初メテ思想ノ統一ガ出来ルノデアアル、印度ニ於ケル九十五種ノ哲學者ガ、色々様々ノ異論ヲ唱ヘタトキニ、大聖世尊釋迦牟尼如來ガ起テ思想ヲ統一シテ、明治ニ於テ幕末ノ其當時、三百諸侯ガ三百ノ思想ヲ混亂難多ニ走テ居タトキニ、明治天皇ガ現レテ日本ノ思想ヲ統一サレタ、少クモ思想ヲ統一スルト云フコトハ、宗教家ナラバ釋迦如來、帝王ナラバ明治天皇陛下、此位ノ人ガ出ナケレバ、混亂狀態ニ陥タル此思想ノ統一ヲシヤウナント云フコトハ、思ヒモ掛ケヌ事デアアル、然ルニ「然ルニ内務大臣ガ思想ノ統一ニ志サレタノハ宜シイガ、内務省御用高等官一等待遇國民思想統一掛ト云フ名前ヲ許サレタノハ、一體誰デス、誰ガ許サレタ、攝州ハ西宮ノ住人(笑聲)褒メテ言ウタラ藝術家、貶シテ言ウタラ「チヨンガレ」語リノ吉田奈良丸、其人デハナイカ、是デ思想ノ統一ガ出来ルト云フコトハ、日本ノ國民ヲ侮辱スルモ甚シイト私ハ思フノデア

ル(拍手起ル)日本ノ國民ハ奈良丸位カラ統一サレルヤウナ貧弱ナ思想ハ持テ居ラヌ、持テ居ラザルノミナラズ、彼ガ仙臺ニ行テ内務省ノ御用ト云フ事ヲ笠ニ著ア、紫ノ幕ヲ旅館ニ張ラセテ、絹ノ坐布團ニ枚重ネテ有志ガ來テモ識者ガ來テモ傲然トシタ態度ハ、却テ思想ノ惡化ヲ來サシメル原因トナレ居ル、反感ヲ懷カシメテ居ル、斯ノ如キ頭ガ是ガ内務大臣ノ頭デアアルトスレバ餘リ國民思想ト云フモノニ就テ了解ガナイデハナイカト私ハ思フ、更ニ進シテ其次ニハドウ云フ事ヲサレタ、其次ニハ仁俠道ヲ獎勵致サレタ、仁俠ノ道ト云フモノハ成程惡イ事デハナイ、男伊達、男伊達ト云フモノハ惡イコトハナイ、善イ事デアリマスガ、日本ニ於テ仁俠道ノ發達ト云フモノハ如何ナル時代ニ發達シタカト云ヒマスルト、是ハ政府ノ役人ガ、官權ヲ濫用シテ下ノ者ヲ壓迫シ、細民ヲ虐ダルト云フ場合ニ於テ、弱者ノ味方トシテ町奴ガ立上ッタ、是ガ仁俠道ノ初マリデアアル、明治ニナデ此方ハ國ニ法律アリ、法律ハ一律一體親疎ヲ置カズシテ行ハレルト云フコトデアアルカラ、官權ヲ用テ弱者ヲ凌グト云フコトハナイ、答デアアル、故ニ仁俠道ト云フモノ、獎勵ハ殆ド必要ガナクナタ、仁俠道ノ獎勵ガ必要ガナイノニ、更ニ仁俠道ヲ獎勵シテ國民同志ノ間ニ爭ヲ起サシメタト云フノハ、ドウ云フコトデアアル、若シ仁俠ガ必要トスルナラバ、今日ハ日本ノ國家其モノガ弱キ國ヲ援テ弱キ人民ヲ助ケ國家トシテ仁俠ニ任ズレバソレデ宜シイ、國民ノ中ニハ國ニ法律アリ、仁俠ト云フモノヲ特ニ獎勵スル必要ハナイ、況ヤ仁俠ト云フコトヲ獎勵サレタ連中ハ何ヲシテ居ル、政府ノ御聲掛リデアアル、内務大臣ガ俺達ノ總裁デアアル、磯部博士ガ俺達ノ會長デアアル、政府ノ御聲掛リダト云フコトヲ笠ニ著テ、地方ニ行テハ罪ナキ細民ヲ虐ゲル者モ少クナイト聞イテ居ル、斯ノ如キ仁俠ガ今日ノ大正ノ世ノ中ニ何ノ必要ガアルカ、或ハ言ハシ、奈良丸ノ如キ者モ是モ忠臣義士ヲ鼓吹スルカラ、ソレデ必要ダ、奈良丸ヲ尙シト云フノデハナイ、忠臣義士ヲ鼓吹スルカラ必要ダト仰シヤルカ知ラヌガ、忠臣義士ヲ鼓吹シテ必要ナラバ、福本日南ト云フ老志士ガ、今ヤ半身不隨ガ倒レカ、テ居ル、彼モ奈良丸以上ニ待遇シテヤタナラバ、志士ノ末年ヲ飾ルニ足ルト思フケレドモ、今日ノ國民ガ要求スル思想ノ標準ト云フモノハ、警衛デアアル、アノ位ノ忠義ト云フダケノ標準デ善イモノデアアルカ、惡イモノデアアルカ、大石義雄夫レ自身デモ警衛ヲ討ダト云フコトヲ以テ誇リシテ居ラヌ、成ベクナラバ御主ノ家ヲ再興シテ、内匠頭ノ弟大學ヲ今一度淺野家ノ主人ニシタイト云フコトヲ考ヘテヤテ居ル、然ルニソレガ出来ナイカラ、已ムヲ得ズ第二ノ手段ニ出テタ、故ニ或人ガ曰ク、栗山大膳ト足下トハ何レガ優レルカト云フコトヲ大

石義雄ニ問ウタ所ガ、答ヘテ曰ク栗山大膳ハ國ヲ存シ、君ヲ存シ、軀ヲ殘シタ、自分ハ國ヲ破リ、君ヲ失ヒ、身ヲ破ラト云フコトハ、到底栗山大膳ノ比デハナイト云フコトヲ自ラ言ウテ居ル、是ハ即チ大石義雄自身モ消極的ノ忠義デアアルト云フ悲シキ境遇ニ居ルノデアアル、今ヤ日本ノ國家ガ國運隆降將ニ與ラント欲スル今日ニ方テ、國ヲ亡シ、君ヲ失ヒ、身ヲ失テ、其時ニ僅ニ孤忠ヲ存シタト云フ、之ヲ標準トスルト云フコトハ、餘リニ標準ノ取方ガ悲觀的デハナイカト私ハ思フ(拍手起ル)若シ眞ニ標準ヲ決メルト云フナラバ、是カラ先ノ忠義ト云フモノハ、日本全國民六千万人ガ腹ヲ一ツニ合セテ、世界ニ大イニ雄飛ヲ試ミルノガ、即チ天皇陛下ノ御恩澤ニ酬ユルノ所以デアアルト思フ、大ナル忠義、積極的ノ忠義、發展的ノ忠義ト云フコトヲヤルノガ當リ前デアルト思フニ拘ラス、選バレル此標準ガ殘念ナガラ頗ル御門違ヒノモノデアアル、斯ノ如ク奈良丸ヲ使ヒ仁俠道ヲ用キラレタ其結果トシテ、果シテ如何ナル結果ガ現レタカ、何モ結果ハ現レザルノミナラズ、屢、不穩ノ狀態ヲ現ハシタデハナイカ、此五月ニハ勞働者ガ澤山集テ、勞働祭ト云フコトヲヤルサウデアアル、印絆纏ノ揃ヒヲ著テ市中ヲ練歩クト云フコトハ、内務大臣ノ即チ御示シニナタ忠臣義士ノ眞似ヲスルノカ知ラヌガ高師直ト狙ハレル者ハアルカナイカ知ラヌガ、勞働者ガ澤山群集ヲ爲シ市中ヲ練歩イテ、四十七士ヲ眞似テ揃テ歩クト云フコトヲ聞イテ居ルガ、斯ノ如キ事ハ私共トシテハ餘リ感心シナイ事デアアル、斯ノ如キ事ヲ考ヘテ見ルト、是ハ二ツナガラ是迄國民思想ノ指導ト云フコトヲ誤テ居ル爲メニ、其效果ガ學ラザルノミナラズ反對ノ現象ヲ現ハシタデアラテ、社會ノ空氣ハ時々刻々惡化シテ居ル、惡化シテ居ル證據ハ國民ノ味方トナタテ六千万ノ崇敬ヲ受ケベキ衆議院ノ門前、一步ヲ出ズレバ數十人ノ巡查ガ堵列シテ護衛セネバ、吾々ノ身體ノ安全ガ得ラヌ、一體國民ガ感謝ヲ拂ハナケレバナラヌ衆議院ニ、巡查ガ四十人モ五十人モ立番ヲシナケレバナラヌト云フコトハ、是ハ社會ノ空氣ガ如何ニ惡化シテ居ルカト云フコトヲ、最近ノ事實ニ認メラレルト云フコトハ、誰モ異論ハナイト思フ、殊ニ自分方ニ於テ指導ヲ誤テ置イテ、指導ヲ誤タガ爲メニ空氣ガ惡化スル、惡化シタ時ニドウ云フコトヲナサルカト云フト、一ニモ壓迫ニ三モ壓迫、壓迫亦壓迫、他ノ事ハ何モアリハシナイ、例ヘバ社會主義者ガ演說スル、何トカ云フ變ナ奴ガ演說ヲスルト、ソレヲ思想ヲ破ルニ思想ヲ以テスルト云フコトノ手段ニ出デズシテ、初メカラ解散、諸君ト一言云ヘバ解散、ソレデアアルカ彼等ハ背中ノ方ノ裏面ノ方ニ潛テ行クダケデ、益、暗黒ノ中ニ彌漫スルダケデ、撲滅ハサレルモノデナイ、石油ニ付イタ火

事ヲ水ヲ消サウト思フモ擴ガルバカリデアアル、今日ノ集會言
論ニ對シテノ壓迫ノ仕方ト云フモノハ、社會主義者ハ喜ン
デ居ル、ア、シテ吳レサヘスレバ自分達ノ主義ハ弘マル、唯ダ
諸君ト一言云ヒサヘスレバ、五十錢ノ入場料ヲ取テ後ハ喋
ランデモ返スコトガ出來ル、故ニ社會主義者ノ蔓延膨脹、之
ヲ援ケル者ハ内務大臣、内務大臣其人ノ方針ガ社會主義
ヲ援ケル結果ニナリテ居ル、彼ノ桂内閣當時ニ於テ、幸徳秋
水ノ如キ大虐無道ノ惡人ヲ出シタト云フコトハ、我國ノ歷
史ノ爲メ頗ル悲シキマシ、是ハ何モ初メカラ、云フ大
虐無道ノ人間デハナカッタウト思フ、自ラ邪ニ降ル雨ハア
ラジ風コソ夜半ノ窓ヲ打ッテ、石ガ抑ヘレバ箭モ横ニ出
ル、石ガ壓迫スレバ箭ハ横ニ出ル、桂内閣ガ錦輝ニ起ッ
赤樺事件ノ後ニ、壓迫亦壓迫、迫害ニ迫害ヲ加ヘタノデ、彼
等ハ職業ヲ得ラズ、食フコトガ出來ズ、自暴ノヤンハノ結
果、大虐無道ノ實ニ恐ルベキ滔天ノ罪惡ヲ幸徳秋水ガヤリ
出シタ、アレハ桂内閣ガ造ッデアル、若シモ今日ノヤウナ
態度ニ於テ内閣ニ反對スル者ヲ壓迫シ學說ノ違フ者ヲ壓
迫シ、思想ノ異ナル者ヲ壓迫スルナラバ、恐ラクハ第二ノ幸
徳秋水ヲ生スルコトガアリハセムカト云フコトヲ私ハ氣遣フ
デアアル(「ノウ」ト呼フ者アリ)「ノウ」ト言フハ當リ前デ
アル、アテハ堪ルモノデハナイ(笑聲)此ヤウナ譯デ、自分ノ方
デ壓迫又壓迫ヲ加ヘラレタ結果トシテ、而シテ益、社會ガ惡
化シテ來マスガ、此外來ノ思想ト言ウテ恐レルコトハナイ、
何デ外來思想ト云フモノノ内務大臣ハ、恐レルカ、内務大
臣ノ外來思想危險思想ハ、私ハ考ヘル今日所謂社會主
義、無政府主義、非國家主義、個人主義、斯ウ云フモノヲ
外來思想ト言ハレルガ、能ク調ベテ御覽ナサイ、日本ニハ漢
學渡來以來、老莊、荀子、列子ノ學問ヲ繕イテ見レバ、西洋
デ此頃「トルストイ」ガドウダ、「クロボトキン」ガドウダ、「マルク
ス」ガドウダト云フヤウナ、斯様な議論ハ總テ諸子百家ノ漢
學ノ中ニハチャント出テ居ル、日本人ハ其思想ヲ一遍吞
デ見タケレドモ、是ハ自分ノ胃ノ腑ニ合ハヌ、消化サレヌモ
トシテ吐キ出シテ居ル、日本人カラ見レバ今日ノ新シイ思想
ト云ウテ、西洋人及新シキ「ハイカラ」共ガ珍重スル所ノ所謂
外來思想ト云フモノハ、古人ノ糟粕反吐ニ過ギナイノデア
ル、何モ之ヲ恐レル事ハナイ、日本人ノ己レノ胃ガ健全デア
リサヘスレバ、斯様な不消化物ガ來テモ何モ恐レル事ハナイ、
故ニ外來思想ノ危險ナルヲ恐レルヨリカ、先ニ內來思想ノ
危險ナルコトヲ恐レナケレバナラヌ、內來思想ト云フノハド
ウ云フ事カ、内輪ノ病體カラ起ル事デアアル、大臣タル者ガ二
枚舌ヲ使ヒ、政黨ガ會社ノ金ヲ取ル、斯様な事ハ皆內來思
想ガ、斯様な事ガアルト云フト、國民ハ憤慨シテ眞ニ危險思

想ヲ生ズルデアアル、外來思想ヨリカ內來思想ヲ私ハ恐レ
ルデアアル、外カラ來ルモノハ恐ロシクナイ、内ヨリ起ル禍ガ
恐ロシイ、内ヨリ起ル禍ノ上ニ誰ガ薪ヲ持テ來タ、燐寸ヲ
持テ來タ、鐵板ノ上ニ燐寸ヲ點テモ火ハ燃エルモノデア
ル、其薪ヲ誰ガ積ンダ、政友會諸君ハ積ンダ覺エハナイカ、薪
ヲ積ンダ覺エガアルダラウ、何レ明日分ル、其薪ガ燃上ルヤ
ウナ危險ナ薪ヲ積ンデ置イテ、燐寸一本ガ恐ロシイト云フコ
トハ何事デアアルカ、燐寸ヲ恐レルヨリカ此火事ヲ起ス薪ノ無
イヤウニ、罪惡ノ燐寸ヲ除ケテ置イタ宜カラウ(拍手起ル)斯
ノ如キ根本的ノ廓清ヲヤラズニ、唯ダ外來思想ガ恐ロシイ、
壓迫又壓迫ト云ウテ、ソレデ以テ思想ノ壓迫ノ出來ルモノ
デナイト云フコトハ、古今ノ歷史ガ示シテ居ルデアアル、思想
ヲ止メヤウトスルナラバ、思想デ止メルガ宜イ、無理ニ洋刀ノ
力ヲ以テ思想ヲ止メズ、政友會諸君濟々多士、二百八十
三名御座ラシヤル、議場ノ中デハ箝口令ヲ布カレタカドウ
カ極ク大人シイ御方々デモ、外ヘ出シタラ隨分御喋舌リニ
ナル方ガアラシヤルカモ知レナイ、是ハ宜シク外來思想ノ危
險ナル人ガアルナラバ、立會演說ヲ求メテ、政友會諸君、
内務大臣ノ恐レル外來思想ノ傳播者ニ立會演說ヲ求メテ
而シテ思想ヲ壓迫スルニ思想ヲ以テシ、言論ヲ止メルニ言
論ヲ以テスルガ宜イ(「御免ダ」ト呼フ者アリ)御免ダヨリ外
仕方アルマイ、出來ヌカラ事爰ニ出テスシテ、洋刀ノ力デ、目
ニ見エナイ思想ニ向テ壓抑シヤウト思フモ、ソレハ駄目デ
アル、是ガ此頃ハ唯ダ其危險ナルモノヲ恐レルト云フダケデ
ハナイ、神經ガ過敏ニナリ過ギテ、養ニ懲リテ水ヲ吹ク、寧ロ
日本ノ爲メニハ正當ナル議論ヲシ、確實ナル報道ヲスル新聞
記事ノ報導ニ向テ、大壓抑ヲ加ヘテ來テ居ルノハドウデア
ルカ、大正十年一月以降ノ差止事項ヲ見テモ、三十六件以
上ニ上テ居ル、彼レモ差止、此レモ差止、而シテチヨイトソレ
ニ觸レルト忽チ罰金ヲ仰付ケラレル、罰金ハ大概五百圓、其
罰金ヲ仰付ケラレル新聞ハ、刷直シノ爲メニハ一回五千
圓六千圓ト云フ損耗ヲシナケレバナラヌ、罰金ハ五百圓更
ニ五千圓ト云フ附加的ノ罰金ヲ仰付ケラレルト云フ事ニ
ナッテハ堪ルモノデハナイ、ソレモ正當ナル事デアレ、バ免ニ角、
其禁ゼラレル壓迫サレタル言論ト云フモノハ——其記事ト
云フモノヲ調ベテ見ルト、實ニ御話ニモナラヌ、詰ラナイ、下
ナイ、之ヲドウシテ止メルカト云フヤウナモノヲ皆止メテアル、
是ハ何デモ新聞ノ檢關係ト云フ連中ガ頗ル頭ノ古イ、而シ
テ固イ、時代錯誤ノ所有者ガ集テ、是ハ何デモ危險、何デ
モ是ハ赤丸ヲ付ケヤウデハナイカ、ソレガ宜カラウト言ッテ赤
丸ヲ付ケル、サウスルト所屬長官ハ宣判ヲ捺ス、好シ——是

デ宜イト言フト、五百圓五千圓ノ大損害ヲ新聞社ニ來スノ
ミナラズ、社會一般ノ報道ヲ停止シ、其言論ヲ壓抑スル爲メ
ニ、世ノ中ハ暗ガリニナラナケレバナラヌト云フ事ニナッテ居
ル、故ニ止メラレタ記事ノ中デ差支ナイ分ヲ言ウテ見マス
ト——差支ナル部分ハ控ヘマスガ、差支ナイ部分ヲ言ウテ
見ルト、是ハ解禁ニナッタノモアリマスガ、先ヅ一番可笑シイ
ノハ一月二十四日ニ尼港ニ於ケル支那ノ砲艦ガ我同胞ヲ
砲撃シタト云フコトヲ止メラレテ居ル、之ヲ出スト云フト罰
金、是ハ一體ドウ云フ事カ、日本人ガ支那人ノ同胞ヲ砲撃シ
タト云フナラバ、是ハ惡イカモ知レナイ、支那人ノ軍艦ガ日本ノ
同胞ヲ砲撃シタト云フコトヲ止メルノハドウ云フ譯デアアルカ、
若シ支那ト此事ニ付テ位置ヲ變ヘタナラバ、支那人ハ麗々
シク初號文字、二號文字、四段打通シト云フヤウナ大々的
ノ記事ヲ書イテ、國論ヲ先ヅ沸騰シテ、而シテ外交當局者ノ
後ロ——土臺ヲ輿論ニ依テ外交ノ助けニスルト云フ方法ヲヤ
ルニ拘ラズ、日本デハ已レガ被害者ナルニ拘ラズ、害ヲ被ッ
タト云フ報道ヲシテハイカヌ、是ハドウ云フ譯デアアルカ、何ノ主義
スノ如キ事ヲサレレカ譯ガ分ラヌ、其次二月二十四日マダ
アル、讀賣新聞ニ生キタ徐樹錚ノ柳行李ニ詰メテ送ッ
フ事ガアル、徐樹錚ト云フ人ヲ北京ノ公使館ニ預ッテ置イ
テ、或軍人ガ柳行李ニ詰メテ天津マデ送ッテ逃シタト云フ記
事ヲ書イテ、書イタノヲ又漏ラストイケナイ、讀賣新聞
ハ無論發賣禁止ニナリマシタ、他ノ所聞ニモ之ヲ書イテハ
イケナイト差止メタ、是ハ日本ニ於テコソ初耳デアラウケレド
モ、支那人ハ此記事ガ日本ニ報道サレル前ニ皆知ッテ居ル、
支那人ガ皆知ッテ居ル、日本人ダケ知ラヌ顏ヲシテ居ル事
ハ、是ハ端書ニ親展ト書イタヤウナモノデアアル、何ニモナルモ
ノデハナイ(笑聲起ル)ソレカラ一月二十九日ニドウ云フコ
トガアルカ、日英同盟ノ問題ニ關シ、同盟更新ノ内容其他
ヲ書イテハイケナイ、是モ英國ノ新聞、米國ノ新聞ニハ麗々
シク立派ニ載セテアル、横文字デハ皆載セテアル、日本ノ國民
ダケニ之ヲ知ラセズニ置イテ、英國人ハ——自由黨ハハ斯様
ナ事ニ改メラレテハ困ル、斯様なコトハ英國ノ不利益デア
ル、輿論政治ヲ起スベキ自由黨ノ材料ニ供スル爲メニ、新聞ニ
開放的ニ皆載セラレテ居ル、國民外交ノ必要ナル此時代ニ
於テ、自國ノ民ダケハ盲目ニシテ置イテ、他國ノ民ダケニ眼
ヲ與ヘヤウト云フ手段ハ、一體ドウ云フ主義デアアルカ、ソレカ
ラマダ可笑シイノハ斯ウ云フ事ガアル、米探ノ活動——米探
ト云フモノガ居ルカ居ラヌカ私ハ知ラヌガ、米探ト云フ者ガ
居ルナラバ——其米探ノ活動及米國ガ日本ニ對スル國情ヲ
探查シツ、アルコトヲ書イテハイケナイ、是ハ一體ドウ云フ事
デアアルカ、米探ガ居ルナラバ米探ガ居ルゾト云フコトヲ國

民ニ知ラセラルベシニモ、米探ガ居ルカラ、怪シイ米人ガ要塞
附近ヲ迂路々々スルカラ氣ヲ付ケト云フ事ヲ知ラシ
ムル爲メニモ、米探ノ出沒往來スルト云フ事ガアルナラバ、書
カセル方ガ宜イデハナイカ書カセズニ置イタナラバドレガ米
探ヤ何ヤラ無頓著デ居ル間ニ、彼等ハ十分日本ノ國情ヲ
探シテ、日本ノ危機ニ陷レルト云フ所ノ謀ヲ爲スカモ知レヌ
ト云フ危險ガアルニ拘ラズ、米探ノ活動及米國ガ日本ノ國
情ヲ探査シツ、アルト云フコトヲ書イテハイケンナ、是モ日本
ガ亡ビテモ米國ノ御負サヘアレバ宜イト云フ考カドウカ
知ラヌ、斯ノ如キ軟弱ナル事デ、日本ノ國權ヲ蹂躪シテ外國
人ノ媚ヲ求メルノデアル、其次ニ驚クバキ事ハ、對米挑戰
的ノ記事ヲ書イテハイケンナ、亞米利加ノ方ハ盛ニ日本ニ挑
戰的ノ記事ヲ書イテハイケンナ、日本ハ無理ニ此方カニサア來イ
喧嘩シヤウト云ハヌトモ、喧嘩ヲ仕掛ケラレテ、賣ラレタ喧嘩
ハ買ハズバナラマイト云フ位デ、挑戰ガアルナラバ應戰ガア
テモ宜イ、應戰の記事ヲ書クノ惡イ、斯ノ如キ事ヲ一カラ
十マデ實ニ愚ニモ付カヌ、コンナモノヲ能ク止メタと思フヤウ
ナモノヲ、片端カラ禁止差止、禁止差止、之ニ違反スル者
ハ五百圓ノ罰金、五千圓ノ損害ヲ掛ケラレ、斯ノ如キ事
ヲスルト云フ趣意ハ、何ニ一體起因シテ居ルカ、私ニハ其意
味ガ分ラヌ、內務當局者ノ氣ガ分ラヌゾレモ、ソレモ斯ノ
如キ禁止サレタモノハデス、立派ニ禁止サレテ一ツモ他ニ洩
レヌヤウニ用意周到ナル手筈ガ揃ウテ居テ、設備ガ出來テ
居テ、是ガ洩レタナラバ國際ノ關係ヲ危クナラシムル故ニ、
或ハ治安ノ妨害ノ虞ガアレバ、一厘一毛ノ隙ノナイヤウニシ
テ居レバ宜シイガ、果シテサウ云フ事ガ出來ルカドウカ、大抵
日本ニ於テ差止メラレタ新聞記事ハ、國內ニ於テ差止メラ
レテモ一步國外ニ出レバ麗々シク掲ゲラレテ居ル、國外ト云
ウタ所ガ、日本ノ勢力範圍ニアル所ノ朝鮮、滿洲ニ於テ、日
本デ差止メラレタ記事ガ掲ゲラレテ居ル、而モ國內ニ於テ絶
對ニ秘密ガ保タレテ居ルカト言ヒマスルト、同ジ國內デモ東
京デ禁止サレタ記事ガ大阪デ洩レテ居ル、現ニ關内植問題
ノ如キ東京デハ嚴重ナル差止ガアツタニ拘ラズ、大阪ノ朝日
新聞ハ其翌朝バツト出シテ移入シテ來タ、何ノ事デアル、而
シテ同ジ東京デ如何ナル方面デモ嚴密ニ止メラレテ居ルカ
ト言ヒマスルト、サウデナ、大抵モウ行届イタ後、ズツ新聞
ガ配ラレタ後頃差止命令ガ出ル、私ハ此處ニ記事ヲ持テ
居ルガ、是ハ皆ナ差止命令ノ出タモノデアル、是モ差止命令、
アレモ差止命令、マルデ差止ノ效果ナイノミナラズ、記事ヲ
差止メラレト云フト、差止メラレタノガドノ記事デアルカ、
モウ一遍讀直サウト云フコトニナル、此路次通り拔ムベカラ
ズト云フ事ガ書イテアレバ、其爲メニ却テ其處ガ路次デ通拔

ケラレルコトヲ知ラセラルベシニモ、故ニ此發賣禁止ハ
或ハ意味ニ於テ其記事ヲ讀ムベシト云フ獎勵ミヤウナ結
果ニナル、(拍手起ル)是ハ何ト云フコトデアル、サウ云フ事ガ
澤山アル、甚ダシキハ大正八年十二月ニ外務省ガ自分デ印
刷シテ出シタ外事彙報ヲ、大正九年ノ二月ニ之ヲ轉載ス
ルコトヲ禁ズ、氣ノ利イタ幽霊ナラ隠レタ頃ダ、拍手、笑聲起
ル、之ヲ轉載スルナラバ一體ドウ云フ譯デアル、三月モ前ノ
事ヲ後カラ書イテハイカヌ、是ガ完全ナ腦髓ノ所有者ノ取
計タ事デアルカナイカト云フコトハ、私共ガ多クノ言葉ヲ弄
セズシテ分ル、(拍手起ル)斯ノ如キ事ガ度、重デ居リマシ
テモ、一トシテ新聞差止ト云フモノガ立派ニ行ハレタコトガ
ナイ、悉ク洩レテ居ル、而シテ洩レテ害ガアツタカト云フト、洩
レルコトハ洩レテ居ル、而シテ洩レテ害ガアツタカト云フト、洩
レテ害デモ何デモナイモノヲ止メタト云フコトニナル、一ツ
モ洩レテ害ガアツタト云フ事ヲ聞カナイ、害ガナイ、ナイ以上
ハ內務省ノ止メタ新聞記事ノ多クハ無毒、毒ノ無イ寧口有
益ナ記事デアルト云フコトヲ證據立テルコトガ出來ルト私
ハ思フ、居ル、殊ニ其中デ最モ怪訝ニ堪ヘザルモノハ皇室ノ
重大問題、是ハ內容ニ觸レマセヌ、內容ニ觸レマセヌガ、皇
室ノ重大問題ト云フコトヲ、非常ニ內務省ハビク、ナサレ
テ、如何ニモ重大問題デアル以上ハ、恐懼ノ念ニ堪ヘヌ譯デ
アリマセウガ、若シモ皇室ノ重大問題ガソレダケ洩レテ惡イ
ト云フコトナラバデス、皇室ノ重大問題デ、六錢ノ切手ヲ
貼テ東京中ノ知名ノ士ノ所ヘズツ新聞ニ出ス前ニ配
者ガアル、此配タモノ、爲メニ、隨分此報道ガ擴ガタ、是ハ
私共ノ考カラ見レバ、寧ろ淡白ニ率直ニ國民一般ニ知ラシ
ムル方ガ國民ニ安心ヲ與ヘテ宜イト云フコトヲ私ハ思フ、居
ル、(拍手起ル)ケレドモ之ヲ禁止スルト云フナラバ、其六錢
貼タ其秘密出版ノ當人ガ捕マラヌコトハナイ筈デアル、ジ
レガ捕マラナイ、引ッ捕マラナイケレドモ、名ハ分タ、名前ハ
分タケレドモ之ヲ訂立テスルト、元老ヤ當局ノ大臣ヤ政
府ニ色々崇リガアルカラ、是ダケハ伏セテ置カウ、實ニ不徹底
デアル、若シ洩レテ惡イナラ左様ナ者ヲ先ニ取締リヤツタラ宜
カラウト思フ、而シテ其後ノ記事ヲ見ルト何デモナイ、何デモ
ナイ事デモ悉ク一寸ツレニ觸レルト皆差止メ、杉浦翁ガ憤
慨シテ辭表ヲ提出シタ、ソレガ何デ治安ニ妨害ガアル、何ニ
モ治安ニ妨害ヲセヌ各官家ノ建白、ソレガ何デ治安ノ妨害
デアル、元老ノ責任ソレガ何ノ治安妨害重大犯人ノ搜索、
今日ノ問題、何ガ治安ノ妨害、目星シキ朝鮮人ソレガ何ノ
治安妨害、妨害デモ何デモアリハシナイ、之ヲ悉ク治安妨害
ト言ウテ居ル、少シク其事ニ觸レタ形跡ガアルト、直ク治安
妨害、ソレハ何故斯様ナ事ヲスルカト云フト、聞ク所ニ依レ

ハ政友會ノ原總理大臣ハ、今度ノ皇室ハ重大問題ニハ關
係ノナイヤウナ顔ヲシテゴザルガ、其實アルサウダ(拍手起ル)
或ハ自己ノ痛イ所ヲ油ヲ掛ケラレテハイカヌト云フ所カラ、
自己本位ヲ以テ差止禁止ヲサセタノデアル(拍手起ル)ノ
ウ、(馬鹿言フナ)ト呼フ者アリ、而シテ彌、事ガ急迫ニ
ナツテ、國論ガ沸騰シヤウトスルト、急速トシテ現レタモノハド
ウ云フ事ガ現レタカ、二月十日ノ夜、異例ニモマデ皇室
ニ關スル事ハ總テ書カセヌト云フコトヲ言フデ置キナガラ異
例ニモ電話ヲ以テ各新聞社ニ向テ、良子女王殿下ノ御婚
約ハ世上ニ色々ノ取沙汰ヤ風説ガアツタケレドモ、御變更
ラセラレザルコト(當然デヤナイカ)ト呼フ者アリ、宮内大臣
ハ最近ニ更ルサウデアルト云フコトデアル(當然ダシテ何
ダ)ト呼フ者アリ、色々ノ風説ガアルト云フコトヲ殊更發表
シテ、色々ナ風説ノアルト云フコトニ就テ國民ノ疑感ヲ招イ
タノデアルガ、色々ノ風評ノアルト云フコトニ就テ揣摩臆說ヲ
シテ、國民ガ今日如何ナル疑ヲ持テ居ルカト云フコトガ諸
君ノ耳ニハ入ラヌカ(拍手起ル)若シ吾輩ヲシテ內務大臣タ
ラシメバ、良子女王殿下ノ御婚約ハ、東宮御歸朝後ニ決定
スルト云フコトヲ發表スレバ、ソレデ澤山デアル、色々様々世
上ニ取沙汰スルケレドモ云々ト云フコトヲ言フ爲メニ、今
日上下一般津々浦々ニ至ルマデ、言フモノ勿體ナイ、聞クモ異
多イ事ヲ口ニスルト云フトハ、其責任ハ內務大臣ガ其報道
ヲ過ッダ爲メデアル、況ヤ最後ノ宮内大臣ノ進退ヲ漏スト云
フノハ一體ドウ云フ譯デ、人ノ進退ト云フモノハ官紀ノ上ニ
於テハ最モ秘密ニ屬スルモノデアル、內務大臣ハ府中ニ居
リナガラ、宮中ノ事ヲ漏ストハ何事ダ、殊ニ宮内大臣ノ任免
ハ天皇直屬ノ權ニ屬スル、之ヲ內務大臣ガ言フ以上ハ、畏
レ多クモ天皇ノ大權ヲ干犯シタト云フコトニナル(拍手起
ル)斯ノ如キコトヲシテ置キナガラモ、而シテ人ニハ物ヲ言フ
ナト止メテ置イテ、己レガ言フベカラザルコトヲ平氣デ言フ
ノケテ居ル、國民ニ疑感ヲ招グヤウナコトマデモ平氣デ言ウ
テ居ル、其責任ヲ知ラザル顔ヲシテ居ルト云フコトハ、之ガ立
憲大臣ノ果シテ執ルベキ道デアリヤ否ヤ(拍手起ル)聞ク所
ニ依レバ內務大臣ハ西郷南洲翁ニ私淑シテ居ラレルト云
フコトヲ聞イタ、西郷南洲翁ハ立憲政體ノ國會ナドハ設ケ
ヌデモ宜イト云フコトヲ言ハレタ人デアル、非常ニ非立憲ナ
人デアルカト思フト、役所ノ前ニ投票函ヲ置イテ、人民ノ考
付イタ儘思タ儘ヲ投票サセテ、ソレヲ聞イテ見テ適當ノ事
ナラソレヲ採テヤツタラ宜イデハナイカト言ハレタ、西洋デ云
フ「レフエレンダム」一般投票ト同ジデアル、ソレホド進ンダ頭
ノ西郷南洲翁崇拜者ノ中ニ、床次內務大臣ノ如キ言論抑
壓ノ大張本人ガ現レタト云フコトハ、社會ノ恨事デアル拍

手起ル之ニ從フ所ノ政友會ノ諸君ハ、少シク諸君ノ良心ニ問ヒ給ヘ(何ヲ言フ)ト呼フ者アリ諸君ハ——政友會ハ自由黨ノ變化チヤナイカ——自由黨ノ變化チヤナイカ、即チ自由黨ノ先輩板垣伯ハ「我ニ自由ヲ與ヘヨ然ラズンバ死ヲ與ヘヨ」ト斯ノ如キコトヲ言フテ居ル、自由黨ハ——尙ホソレヨリモ強ク言フテ居ル「我ニ自由ヲ與ヘズンバ汝ニ死ヲ送ラン」ト言フテ、之ガ此變形ガ今日ノ政友會ダト云フコトモ疑フベカラザルコトデアルガ、其政友會ノ先輩ハ自由ノ爲メニ戰ヒ、自由ノ爲メニ奮闘シタ人間ガ、地下ニ入リテ墓石冷メタキ三尺ノ下ヨリ諸君ノ行動ヲ何ト見ルカ、先輩ニ酬ユル思想ガアルナラバ、少シハ考ヘテ見ルガ宜イ、諸君ハ恥ヲ知ラザルカ、言論ノコトヲ如何ニ壓迫シヤウト云ウテモ、壓迫ノ出來ナイコトハ昭憲皇太后ガ「淺クトモ堰ケバ溢ル、川水ノ心ヤ民ノ心ナルラン」——「淺クトモ堰ケバ溢ル、川水ノ心ヤ民ノ心ナルラン」ト云フコトヲ仰シヤツ、此御製ニ就テ野次レル者ガアルナラバ野次テ見ロ(笑聲起ル)自分ノ良心ニ問ウテ、先輩ニ恥カシクナイ事ヲスルガ宜カラウ、ソレニハ私ノ提出シタ内務大臣不信任案ニ賛成スレバ、諸君ガ先進ニ對スル申譯ガ少シハ立ツ譯デアリマスカラ政友會諸君ハ滿場一致デ賛成シテ貰ヒタイト云フコトヲ希望シテ置キマス

〔拍手起リ發言スル者多シ〕
○議長(與繁三郎君) 靜ニ——佐々木安五郎君ニ一寸御照會シマス、只今御演說中ニ内務大臣ガ天皇ノ大權ヲ干犯スルト云フ言葉ガアリマシタガ、天皇ノ大權ヲ干犯スト云フ言葉ハ少シ不穩當ニ思ヒマスカラ、取消シニナタラ如何

○佐々木安五郎君 干犯スルヤウニ當ル……
○議長(與繁三郎君) 天皇ノ大權ヲ干犯スルト云フナラバ、取消シニナルガ宜イト忠告シマス

○佐々木安五郎君、ソレハ速記ヲ調ベテ……
〔松岡俊三君登壇、拍手起ル〕

○松岡俊三君 諸君私ハ只今議題トナリマシタル、床次内務大臣不信任ノ決議案ニ反對ノ意見ヲ陳述スル者デアリマス、佐々木君ハ多年操觚界ニ御從事爲サレタル御方デアリマス、洵ニ吾々同僚トシテモ、敬意ヲ拂フベキ所ノ方デアリマス、只今閣臣ヲ彈劾セントスルニ當リマシテ、言論ノ自由ノ壓迫ト云フ此堂々タル所ノ題材ヲ捉ヘラレタト云フ點ニ對シテハ、敬意ヲ拂フニ躊躇シナイノデアリマスケレドモ、事ノ大小、問題ノ輕重、之ヲ度外ニシ、尙ホ且ツ事實ニ根柢ヲ置カナイデ、此不信任ノ決議案ヲ提出セラレタト云フ點ニ就テハ、斷ジテ賛成スルコトガ出來ヌノデアリマス(拍手)

「スマジキハ富仕ヘナリト」呼フ者アリ故ニ私ハ先ヅ第一段ニ於テ、言論自由ノ壓迫ノ無イコトヲ事實ニ於テ證據立テマス、第二段ニ於テハ、最モ佐々木君ガ力ヲ用井テ述ベマシタル思想上ニ就テノ所見ヲ述ベヤウト思フノデアリマス

〔思想トハ何ダト呼ヒ其他發言スル者多ク議場騷然〕

○議長(與繁三郎君) 靜ニ……
○松岡俊三君(續) 言論ノ自由ヲ尊重セザルベカラザルコトハ、是ハ帝國ノ臣民タル者ハ、蓋シ何人ト雖モ異存ハ無イコトデアリマス、(政友會ニアリ)ト呼フ者アリ併ナガラ此言論ノ自由ト申シマシテモ、實ニ國家ノ治安、社會ノ秩序ヲ紊ササル範圍ニ於テノミ認メラレルベキモノデアツテ、決シテ之ヲ絕對ノ自由ニ放任スルト云フヤウナコトハ、到底容認スルコトハ出來ヌノデアリマス(拍手)之ヲ絕對ノ自由ヲ要求シヤウトスルヤウナ者ハ、平地ニ波瀾ヲ起シテ、其間隙ニ乘ジテ己ヲ利セントスル者カ、若クハ無責任ナル所ノ煽動家コソ洵ニ便利デアリマセウ(拍手)併ナガラ國家治安ノ維持ノ責任ノアル所ノ當局トシテハ、斷ジテ與ミスルコトガ出來ヌダラウト思フノデアリマス、殊ニ本案ニ賛成セラレテ居ル所ノ安藤正純君ハ、私ト同様、現ニ操觚ノ業ニ從事セラレテ居ル御方デアリマス、此安藤正純君ハ去ル一月二十一日ノ本壇場ニ於テ、斯ウ云フコトヲ申サレテ居ル(併シ本員ハ斯ク言ヒマシテモ、言論ノ絕對ノ自由ヲ主張スル者デハ勿論アリマセヌ、言論ノ絕對ノ自由ヲ主張スル者デハ勿論アリマセヌ、言論ノ無責任ノ自由ト云フモノハ、非常ニ社會ノ平安ヲ害シマスカラ、言論ノ無制限ノ自由ト云フモノハ非常ニ社會ノ平安ヲ害シマスカラ、ソレハ憲法第二十九條ノ保障サレテ居リマス所ノ法律ノ範圍内ニ於キマシテ此自由ヲ得タイト云フコトヲ申スノデ(其通り)ト呼フ者、拍手スル者アリ)此通りデアリマス、實ニ常識アル所ノ操觚者ハ、決シテ絕對ノ言論ノ自由ナド、云フコトヲ要求スルモノデナイト云フコトハ、此安藤君ノ此御演說ニ依テ證據立テラレテ居ルト思フノデアリマス、故ニ法律ハ治安維持ノ爲メニ、必要ナル所ノ處分ノ權限ヲ內務大臣ニ與ヘテ居ルノデアリマスケレドモ、ケレドモ、此與ヘラレタル所ノ法律ヲ濫用スルト云フヤウナコトガアツタナラバ(勿論不可ナリシテ堂々之ヲ責ムルガ宜イノデアリマス、併ナガラ諸君此法律ヲ濫用シタカドウカト云フコトヲ、今事實ニ於テ申上ゲテ見タイノデアリマス、現内閣ガ果シテ濫用シタカドウカト云フコトヲ、統計ニ依テ申上ゲテ見ヤウト思ヒマス、(統計ガ何ダト呼フ者アリ)大正七年ノ十月三十日ニ現内閣ガ成立シマシテ以來、大正九年大正十年ノ一月末日迄ニ至リマスル所ノ

二十七箇月間ニ於テ、忌ハシイ所ノ此新聞發賣禁止ト云フモノカ幾ラアツタカト申シマスルト云フト、二百六十四件アリマシタ、併シ此二百六十四件ガ二十七箇月ニアリマシタケレドモ、之ヲ過去ノ大隈内閣ニ比シマスルト云フト、此大隈内閣ハ諸君モ御承知ノ通り言論ヲ特ニ自由ニスルト云フ所ノ、鳴物附以テ起タル所ノ大隈内閣デアアル、ソレバカリデアリマセヌ……

〔此時發言スルモノ者アリ〕
○議長(與繁三郎君) 中野君……

○松岡俊三君(續) 念入リニ二三ノ新聞記者ヲ其背景トシテ起タル所ノ、大隈内閣デアツタノデアアル、其大隈内閣ノ當時ニ於テ、時ノ外務大臣加藤子爵ノ所管内ニ於キマシテ、實ニ驚クベキ所ノ新聞記者ト大衝突ヲ來シタト云フコトハ、明カナル事實デアリマス、此大隈内閣ニ於キマシテハ、三百九十三件アリマシタ——少シ間違ヒマシタ、二百七十三件デアリマス——二百七十三件アリマシタ、併ナガラ政友會ノ此原内閣ニ於テハ二百六十四件、大隈内閣ニ於テハ二百七十三件デアリマシタ、大隈内閣ノ後ニ現ハレタ寺内内閣ニ於テハ三百九十三件アリマシタ、此三内閣ノ言論壓迫ニ對スル所ノ此活キタル事實ハ、只今申上ゲマシタ通りデアアル、(内容ヲ言ハナケレバ分ラヌ)「時勢ノ進化ハ如何ト呼フ者アリ」時勢ノ進化ニ就イテハ、是カラ述ベマスカラ御聽リ願ヒマス、此通りニ——此通りニ比較シマスルト云フト原内閣ニ於テハ九件ダケ少ナイノデアリマスルガ、(ソレガ時勢ノ進化カト呼フ者アリ)此九件ダケハ事實上デアリマスケレドモ、更ニ然ラバ新聞ハ、ドノ位殖エテ居ルカト云フコトヲ見ナケレバナラヌト思フノデアリマス、大隈内閣當時ノ大正四年——末日ニ於キマシテハ、千七百六十七種ノ新聞ガアリマシタ、保證アル所ノ新聞紙ハ千七百六十七種デアアル、寺内内閣當時ニ於テハ、更ニ二百三十ノ新聞ヲ増加シマシテ、千九百九十七アル、此一千九百九十七ノ寺内内閣ノ當時ニ比シマスルト云フト、政友會ノ現原内閣ニ至リマシテハ、更ニ九百三十七種ダケ殖エマシテ、二千七百四十二種テ居ルノデアリマス、諸君、此通り文化ノ程度ガ進ムニ從テ、新聞紙ノ發行ガ激増ヲ來シテ、大隈内閣當時ニ比シマスト、九百三十七種ノ如ク増加シマシタル、此割合ヲ申シマスルト云フト、大隈内閣當時ニ比シマスレバ、五割三分強、洵ニ實ニ夥シイ所ノ増加ニナツテ居ルノデアアル、(拍手起ル)斯様ナル新聞ノ數ガ増加シテ居ルニモ拘ラズ、尙ホ前申上ゲマシタ通り、此發賣頒布ノ禁止ノ數ガ九件ダケ少ナイト云フコトハ、如何ニ寛大デアアルカト云フコトハ事實デアルト思フノデアアル(拍手起ル)更ニ私ハモウ少シ明カニシタイト思フ

二十七箇月間ニ於テ、忌ハシイ所ノ此新聞發賣禁止ト云フモノカ幾ラアツタカト申シマスルト云フト、二百六十四件アリマシタ、併シ此二百六十四件ガ二十七箇月ニアリマシタケレドモ、之ヲ過去ノ大隈内閣ニ比シマスルト云フト、此大隈内閣ハ諸君モ御承知ノ通り言論ヲ特ニ自由ニスルト云フ所ノ、鳴物附以テ起タル所ノ大隈内閣デアアル、ソレバカリデアリマセヌ……

〔此時發言スルモノ者アリ〕
○議長(與繁三郎君) 中野君……

○松岡俊三君(續) 念入リニ二三ノ新聞記者ヲ其背景トシテ起タル所ノ、大隈内閣デアツタノデアアル、其大隈内閣ノ當時ニ於テ、時ノ外務大臣加藤子爵ノ所管内ニ於キマシテ、實ニ驚クベキ所ノ新聞記者ト大衝突ヲ來シタト云フコトハ、明カナル事實デアリマス、此大隈内閣ニ於キマシテハ、三百九十三件アリマシタ——少シ間違ヒマシタ、二百七十三件デアリマス——二百七十三件アリマシタ、併ナガラ政友會ノ此原内閣ニ於テハ二百六十四件、大隈内閣ニ於テハ二百七十三件デアリマシタ、大隈内閣ノ後ニ現ハレタ寺内内閣ニ於テハ三百九十三件アリマシタ、此三内閣ノ言論壓迫ニ對スル所ノ此活キタル事實ハ、只今申上ゲマシタ通りデアアル、(内容ヲ言ハナケレバ分ラヌ)「時勢ノ進化ハ如何ト呼フ者アリ」時勢ノ進化ニ就イテハ、是カラ述ベマスカラ御聽リ願ヒマス、此通りニ——此通りニ比較シマスルト云フト原内閣ニ於テハ九件ダケ少ナイノデアリマスルガ、(ソレガ時勢ノ進化カト呼フ者アリ)此九件ダケハ事實上デアリマスケレドモ、更ニ然ラバ新聞ハ、ドノ位殖エテ居ルカト云フコトヲ見ナケレバナラヌト思フノデアリマス、大隈内閣當時ノ大正四年——末日ニ於キマシテハ、千七百六十七種ノ新聞ガアリマシタ、保證アル所ノ新聞紙ハ千七百六十七種デアアル、寺内内閣當時ニ於テハ、更ニ二百三十ノ新聞ヲ増加シマシテ、千九百九十七アル、此一千九百九十七ノ寺内内閣ノ當時ニ比シマスルト云フト、政友會ノ現原内閣ニ至リマシテハ、更ニ九百三十七種ダケ殖エマシテ、二千七百四十二種テ居ルノデアリマス、諸君、此通り文化ノ程度ガ進ムニ從テ、新聞紙ノ發行ガ激増ヲ來シテ、大隈内閣當時ニ比シマスト、九百三十七種ノ如ク増加シマシタル、此割合ヲ申シマスルト云フト、大隈内閣當時ニ比シマスレバ、五割三分強、洵ニ實ニ夥シイ所ノ増加ニナツテ居ルノデアアル、(拍手起ル)斯様ナル新聞ノ數ガ増加シテ居ルニモ拘ラズ、尙ホ前申上ゲマシタ通り、此發賣頒布ノ禁止ノ數ガ九件ダケ少ナイト云フコトハ、如何ニ寛大デアアルカト云フコトハ事實デアルト思フノデアアル(拍手起ル)更ニ私ハモウ少シ明カニシタイト思フ

二十七箇月間ニ於テ、忌ハシイ所ノ此新聞發賣禁止ト云フモノカ幾ラアツタカト申シマスルト云フト、二百六十四件アリマシタ、併シ此二百六十四件ガ二十七箇月ニアリマシタケレドモ、之ヲ過去ノ大隈内閣ニ比シマスルト云フト、此大隈内閣ハ諸君モ御承知ノ通り言論ヲ特ニ自由ニスルト云フ所ノ、鳴物附以テ起タル所ノ大隈内閣デアアル、ソレバカリデアリマセヌ……

〔此時發言スルモノ者アリ〕
○議長(與繁三郎君) 中野君……

○松岡俊三君(續) 念入リニ二三ノ新聞記者ヲ其背景トシテ起タル所ノ、大隈内閣デアツタノデアアル、其大隈内閣ノ當時ニ於テ、時ノ外務大臣加藤子爵ノ所管内ニ於キマシテ、實ニ驚クベキ所ノ新聞記者ト大衝突ヲ來シタト云フコトハ、明カナル事實デアリマス、此大隈内閣ニ於キマシテハ、三百九十三件アリマシタ——少シ間違ヒマシタ、二百七十三件デアリマス——二百七十三件アリマシタ、併ナガラ政友會ノ此原内閣ニ於テハ二百六十四件、大隈内閣ニ於テハ二百七十三件デアリマシタ、大隈内閣ノ後ニ現ハレタ寺内内閣ニ於テハ三百九十三件アリマシタ、此三内閣ノ言論壓迫ニ對スル所ノ此活キタル事實ハ、只今申上ゲマシタ通りデアアル、(内容ヲ言ハナケレバ分ラヌ)「時勢ノ進化ハ如何ト呼フ者アリ」時勢ノ進化ニ就イテハ、是カラ述ベマスカラ御聽リ願ヒマス、此通りニ——此通りニ比較シマスルト云フト原内閣ニ於テハ九件ダケ少ナイノデアリマスルガ、(ソレガ時勢ノ進化カト呼フ者アリ)此九件ダケハ事實上デアリマスケレドモ、更ニ然ラバ新聞ハ、ドノ位殖エテ居ルカト云フコトヲ見ナケレバナラヌト思フノデアリマス、大隈内閣當時ノ大正四年——末日ニ於キマシテハ、千七百六十七種ノ新聞ガアリマシタ、保證アル所ノ新聞紙ハ千七百六十七種デアアル、寺内内閣當時ニ於テハ、更ニ二百三十ノ新聞ヲ増加シマシテ、千九百九十七アル、此一千九百九十七ノ寺内内閣ノ當時ニ比シマスルト云フト、政友會ノ現原内閣ニ至リマシテハ、更ニ九百三十七種ダケ殖エマシテ、二千七百四十二種テ居ルノデアリマス、諸君、此通り文化ノ程度ガ進ムニ從テ、新聞紙ノ發行ガ激増ヲ來シテ、大隈内閣當時ニ比シマスト、九百三十七種ノ如ク増加シマシタル、此割合ヲ申シマスルト云フト、大隈内閣當時ニ比シマスレバ、五割三分強、洵ニ實ニ夥シイ所ノ増加ニナツテ居ルノデアアル、(拍手起ル)斯様ナル新聞ノ數ガ増加シテ居ルニモ拘ラズ、尙ホ前申上ゲマシタ通り、此發賣頒布ノ禁止ノ數ガ九件ダケ少ナイト云フコトハ、如何ニ寛大デアアルカト云フコトハ事實デアルト思フノデアアル(拍手起ル)更ニ私ハモウ少シ明カニシタイト思フ

二十七箇月間ニ於テ、忌ハシイ所ノ此新聞發賣禁止ト云フモノカ幾ラアツタカト申シマスルト云フト、二百六十四件アリマシタ、併シ此二百六十四件ガ二十七箇月ニアリマシタケレドモ、之ヲ過去ノ大隈内閣ニ比シマスルト云フト、此大隈内閣ハ諸君モ御承知ノ通り言論ヲ特ニ自由ニスルト云フ所ノ、鳴物附以テ起タル所ノ大隈内閣デアアル、ソレバカリデアリマセヌ……

〔此時發言スルモノ者アリ〕
○議長(與繁三郎君) 中野君……

○松岡俊三君(續) 念入リニ二三ノ新聞記者ヲ其背景トシテ起タル所ノ、大隈内閣デアツタノデアアル、其大隈内閣ノ當時ニ於テ、時ノ外務大臣加藤子爵ノ所管内ニ於キマシテ、實ニ驚クベキ所ノ新聞記者ト大衝突ヲ來シタト云フコトハ、明カナル事實デアリマス、此大隈内閣ニ於キマシテハ、三百九十三件アリマシタ——少シ間違ヒマシタ、二百七十三件デアリマス——二百七十三件アリマシタ、併ナガラ政友會ノ此原内閣ニ於テハ二百六十四件、大隈内閣ニ於テハ二百七十三件デアリマシタ、大隈内閣ノ後ニ現ハレタ寺内内閣ニ於テハ三百九十三件アリマシタ、此三内閣ノ言論壓迫ニ對スル所ノ此活キタル事實ハ、只今申上ゲマシタ通りデアアル、(内容ヲ言ハナケレバ分ラヌ)「時勢ノ進化ハ如何ト呼フ者アリ」時勢ノ進化ニ就イテハ、是カラ述ベマスカラ御聽リ願ヒマス、此通りニ——此通りニ比較シマスルト云フト原内閣ニ於テハ九件ダケ少ナイノデアリマスルガ、(ソレガ時勢ノ進化カト呼フ者アリ)此九件ダケハ事實上デアリマスケレドモ、更ニ然ラバ新聞ハ、ドノ位殖エテ居ルカト云フコトヲ見ナケレバナラヌト思フノデアリマス、大隈内閣當時ノ大正四年——末日ニ於キマシテハ、千七百六十七種ノ新聞ガアリマシタ、保證アル所ノ新聞紙ハ千七百六十七種デアアル、寺内内閣當時ニ於テハ、更ニ二百三十ノ新聞ヲ増加シマシテ、千九百九十七アル、此一千九百九十七ノ寺内内閣ノ當時ニ比シマスルト云フト、政友會ノ現原内閣ニ至リマシテハ、更ニ九百三十七種ダケ殖エマシテ、二千七百四十二種テ居ルノデアリマス、諸君、此通り文化ノ程度ガ進ムニ從テ、新聞紙ノ發行ガ激増ヲ來シテ、大隈内閣當時ニ比シマスト、九百三十七種ノ如ク増加シマシタル、此割合ヲ申シマスルト云フト、大隈内閣當時ニ比シマスレバ、五割三分強、洵ニ實ニ夥シイ所ノ増加ニナツテ居ルノデアアル、(拍手起ル)斯様ナル新聞ノ數ガ増加シテ居ルニモ拘ラズ、尙ホ前申上ゲマシタ通り、此發賣頒布ノ禁止ノ數ガ九件ダケ少ナイト云フコトハ、如何ニ寛大デアアルカト云フコトハ事實デアルト思フノデアアル(拍手起ル)更ニ私ハモウ少シ明カニシタイト思フ

ノデアリマス、一箇年間平均シマシテ、百ノ新聞ニ對スル發費禁止ノ數ハドウデアアルカト申シマス、大隈内閣ハ六、三デアアル、寺内内閣ハ九、四デアアル、原内閣ハ僅カニ四、三デアリマス、斯様ナ工合ニ大隈内閣ニ比シマシテ、實ニ一、九ダケガ少ナリト云フコトハ、實ニ如何ニ寛大デアアルカト云フ事ヲ證據立テ、居ルダラウト思フノデアリマス、(拍手起ル)之ヲ私ノ尊敬ヲ拂ウテ居ル所ノ三木武吉君ノ御言葉ヲ結リマスレバ、理論デアアリマセヌ、事實デアリマスゾト云フコトハ、蓋シ此事ヲ言ウタルコトデアリマス、(拍手起ル)殊ニ是ハカリデアアリマセヌ、近時歐洲大戰ノ結果、世界的思想ノ混亂ヲ承ケマシテ、我國モ亦思想問題ノ論議ガ頗ル旺盛ヲ極メテ居ルノデアアル、此各種外來ノ思想ノ輸入ト共ニ、動モスルト奇矯ノ言行ガ大ニ行ハレルト云フ所ノ時デアリマス、斯様ナル最も重要ナル時機ニ在リタニモ拘ラズ、其發費頒布禁止ノ數ガ前申上デマシタルヤウニ少ナリト云フ——新聞ガ多クシテ發費頒布ノ禁止ガ少ナリト云フ事ハ、如何ニ當局ガ公ノ機關トモ謂フベキ、天下ノ耳目トモ謂フベキ、此新聞紙ニ對スル所ノ敬意ヲ拂ヒ、同情ヲ以テ進シテ居ルカト云フ事ヲ、證據立テルモノト謂ハナケレバナラヌノデアアル、(拍手起ル)假令二三輕少ノモノナリトモ、成立當初ダケニ於テハ、言論ノ内閣デアアルナド、云ハレテ居ル所ノ彼ノ大隈内閣ニ之ヲ比シ、果シテ提出者デアアル所ノ佐々木君ハ、此事實ヲ何ト見ルノデアアルカ、(何トモ見ナイ)ト呼フ者アリ、此事實ヲシテ若シ否認セラレテ横事ヲ押スト云フヤウナコトデアッタナラバ前申上デマシタル通り理論デアリマセヌ、事實ヲ如何ニスルナト云フコトハ、繰返シテ私ハ言ハナケレバナラヌノデアアル、(拍手起ル)又新聞記事差止ニ就テモ、勿論是ハ濫用スベキモノデアリト云フコトハ申上デルマデモナイ事デアアル、併ナガラ事苟モ皇室ニ關スルノ事件、皇室ニ累ヲ及ボス所ノ虞アル事件ノ如キ、或ハ重大ナル犯罪ノ捜査上ニ必要アル場合、又ハ其他新聞ノ報道ニ依リテ、其報道ガ國家ノ治安ヲ害スルモノナリト認メタル場合ニ於テハ之ヲ禁止スル、或ハ差止ヲスルト云フコトハ、過去ノ何レノ内閣ト雖ドモ之ヲ執リタル所ノモノデアアル、(拍手起ル)併ナガラ現内閣ガ其新聞記事ノ差止ヲシタル所ノ跡ヲ見マスルト云フト、何レモ皇室、外交、朝鮮事件、及軍事上ニ關係シタルモノ、ミデアリマシテ、内政上ニ關スル所ノ記事差止ニ就イテハ、全ク司法官憲ガ其犯罪ノ捜査上必要ナリトシテ認メタル所ノ其差止ノミデアッテ、行政上ノ所謂内務當局トシテ爲シタル所ノ内政上ニ關スル記事ノ差止ト云フ事ハ、殆ド無イト云フコトヲ斷言シテ憚ラヌノデアアル、(拍手起ル)更ニ宮中問題ニ關シテ佐々木君ガ申サレタノデアリマスルガ、此宮中

問題ニ關スル所ノ公表ニ就テハ、絕對ニ内務省ガ之ヲ爲シテ居ラヌト云フコトヲ明言シテ憚ラヌノデアアル、只ダ宮内省ニ於テ是ガ發表サレタモノデアアル、併ナガラ宮内大臣辭職云々ト云フ事ハ、是ハ其當時ニ於テ聞知シタル其事實ヲ各新聞社ニ報道シタルノミデアッテ、此報道ニ依リテ民心ニ疑惑ヲ生ゼシメタト云フヤウナ事ハ、全ク事ヲ誣ユルモ甚シイモノト謂ハナケレバナラヌ、(拍手起ル)「ノウウ」ト呼フ者アリ、當時御成婚問題ニ關シ、種々ノ流説ガ世上ニ行ハレ、數萬枚ノ檄文ヲ撒布シテ、御成婚祈願ノ民衆運動ヲ起サントスル者ガアツタノデアアル、之ニ對シテ宮内省ニ於テハ、御婚約ニハ何等御變更等ノ事ハ之レ無キ旨ヲ御公表ニナタト云フコトハ佐々木君モ御承知ノ筈デアラウト思フ、此宮内省ノ公表ニ依リマシテ、苟モ帝國ノ臣民タル者ハ、悉ク御安堵申上デル次第デアリマシテ、吾モ同僚モ悉ク満足シテ喜ヲ呈シテ居ル次第デアアル、(拍手起ル)「ノウウ」ト呼フ者アリ、マサカ佐々木君ハ吾モト考ノ違ウテ居ル御方トハ思ハレヌノデアリマス、(ヒヤ)「」又閑元植ノ殺害事件ニ就テハ是亦内務省ヨリ何等公表シタルコトハ無イデアアル、所管府ノ司法官憲ガ重大殺人事件ナルノ故ヲ以テ、殺人犯ノ捜査上ノ急要ヨリ爲シタルモノデアッテ、之ヲ以テ内務當局ガ、行政上ノ權限ヲ濫用シタルト云フヤウナコトヲ言フニ至ラハ、調査ガ粗漏デアアルト謂ハナケレバナラヌノデアアル、(拍手起ル)斯ノ如ク前申上デマシタル通り、當局ハ治安維持ノ爲メニ必要ナル所ノ措置、通法手段ニ依リテ行ヒタルノミデアアル、殊ニ新聞紙ニ對シテハ前申上デマシタル通り、公ノ機關トシテ、天下ノ耳目トシテ、最も敬意ヲ拂ヒ、最も同情ヲ表サナケレバナラヌト云フ考ヲ有テ居ル當局デアアル、(詭辯々々)ト呼フ者アリ、此考ヲ有シ、最も慎重ナル態度ヲ以テ此新聞紙ニ臨ンデ居ル只ダ法律上ノ權限ニ依リテ萬已ムヲ得ザル所ノ而モ最小限度ニ於テ此行政上ノ措置ヲ爲シテ居ルト云フ所ハ、床次內務大臣ニ向テ不信任ヲ呼バハルト云フヤウナコトハ、事實其心ノ存スル所ヲ吾モハ全ク了解シ苦シムノデアリマス、(拍手起ル)併ナガラ提出者タル佐々木君ハ新聞——現ニ存スル所ノ新聞紙法ヲ無視シ、或ハ國家ヲシテ無法律ヲラシメ、或ハ社會ヲシテ無秩序ヲラシメ、延テ世ヲ舉ゲテ暗黒ヲラシムルガ如キ事ヲ爲シタナラバ、原内閣ト云ハズ何レノ時代ニ於テモ、百千ノ不信任決議案ヲ出スト雖モ、常識アル所ノ國民ハ、決シテ之ヲ容スベキモノデアリナイノデアアル、(拍手起ル)私ハ此點ニ於テ、全然無價值ナル所ノ此言論ノ壓迫ニ就テ反駁ヲ試ミテ、全ク其餘ス所ナシト信ズルモノデアリマス、次ニ私ハ佐々木ノ思想上ノ問題ニ就テ、國民思想ノ指導ヲ誤リタリト云フコトニ就テ、一言申上デテ見タイ

ノデアリマス、我國ノ思想界ハ、世界的混亂ノ渦中ニ捲込マレントスル虞アルト云フコトハ、各員ノ御心配ノ通りデアリマスル、併ナガラ之ヲ善導セントスルニハ、精神的ノバカリデモイケンイ、或ハ物質的ノバカリデモイケンイト云フコトハ、諸君ノ御承認下サル所ダラウト思フノデアリマス、故ニ床次內務大臣ハ、我日本民族固有ノ精神ノ上ニ立ッテ之ヲ達觀シ精神の方面ヨリ、又物質上方面ノ各種ノ施設ヨリシテ、克ク相補足シテ、而シテ最も健全ナル所ノ國民精神ヲ築カントシテ、日夜努力シテ居ラレルト云フコトハ、萬人悉ク之ヲ認メテ居ル所デアアル、(拍手起ル)去ル二月十二日本壇上ニ於テ爲シタル所ノ武藤豫算委員長ノ其報告中ニ於テモ、内務大臣ノ抱負ガ露ハレテ居ル、又安藤正純君ガ質問ヲ爲シタルトキニ、之ニ答辯シタル内務大臣ハ其御言葉ノ中ニモ、(有難ヤ)ト呼フ者アリ、現内閣成立ノ翌年、即チ大正八年三月以來、立憲思想、自治思想、或人此勤勉努力ノ美風ヲ養成スル、各種ノ國民思想ノ善導ニ向テ努力セントシテ、全國ニ向テ宗教家、思想家、其他ノ者ヲシテ各種ノ講演ヲ爲サシメ、其數實ニ一萬八千回デアアル、而シテ其聽講者ハ五百万人ニ達シテ居ルト云フコトデアアル、今日全國ニ於テ六千万人デアアル、此六千万人ノ國民中ニ於テ、腦力判別ノ力アル所ノ者ガ五百万人聽講シタルト云フ一事ハ、以テ其努力厚カリシコトヲ特筆大言シテ、決シテ憚ラヌモノデアアルト思フノデアアル、(拍手起ル)吾モ、佐々木君ガ申サレヤウナ工合ニハ考ヘテ居ラヌノデアアル、飢エタル者ガ直チニ食ヲ得テ之ニ満足スルヤウナ工合ニ、或病メル者ガ只一ノ注射ニ依リテ之ヲ醫スルト云フヤウナ工合ニ、思想ノ善導ノ效果ト云フモノガ、目ノ前ニ直チニ現ハレルト云フヤウニ考ヘ及ブト云フコトデアッタナラバ、私ハ其淺薄ノ程度恐ルベキモノデアアルト思フノデアアル、(拍手起ル)彼ノ神武以來千三百年(笑聲起ル)千古未ダ曾テ有ラザル所ノ我が日本帝國ノ大變革新デアアル、此大革新ヲシテ、平和ノ間ニ之ヲ成立セシメタト云フコトハドウデアリマセウカ、私共カラ之ヲ見マシタナラバ、欽明並ニ推古天皇ノ御代ニ於テ、四十年ノ間新舊兩思想ガ非常ナル爭ヲ爲シテ居ルノデアアル、此非常ナル所ノ新舊兩思想ノ四十年間ニ跨リタル其爭ヲ、厩戸皇子即チ聖德太子ガ現レマシテ渾然一化シ、新舊兩思想ノ大調和ヲ圖リ、此大調和ヨリシテ乃チ大化ノ大革新ガ行レタト云フコトハ、即チ佐々木君ノ如キ歴史ニ能ク興味ヲ持シテ居ラル、人ハ、否認スルコトノ出來ナイ所ノ一事實デアアルト思フノデアアル、斯ノ如ク思想ノ善導ノ效果ト云フモノハ、直チニ目前ニ現ハレルモノニ非ズシテ、後年ニ於テハ實現スルモノデアアル、此點ヨリ見マシタナラバ、吾モハ

當時ノ大革新ノ動機未ダ到ラズトシテ——大革新ノ時機ガ未ダ到來シナイト云フノ、厥后皇子ガ隱忍自重シ、大ニ其望ヲ將來ニ囑シ、庶政ノ變革ニ勗メタト云フコトヲ覺ラナイデ、此聖德太子ヲ果斷決行ナシト誹リタル者ハ、當時ノ國士ノミデアリマシタラウ、此聖德太子ノ努力ニ對シテ何等願ミルコトノ出來ナイモノガ、果シテ當レリヤ、否ヤト云フコトハ今日ニ之ヲ照シ、或ハ過去ヲ追想シテ、始メテ知ルコトガ出來ルノデアアル、(ノウ)是ト同様ニ大正ノ現代ニ於ケル所ノ此世界ノ思想ノ大混亂ノ影響ニ對スル原内閣、及床次内務大臣ノ此努力ト云フモノハ、實ニ吾々ハ之ヲ過去ニ照シ、將來ニ思及ボシタラバ、實ニ愛國ノ大事業デアルト言ウテ、衷心ヨリ之ヲ感謝シナケレバナラヌノデアリマス(拍手起ル)克ク隱忍自重シ、頑冥ナル所ノ守舊ノ一派ト、急進短慮ナル所ノ逸リ男ノ一團ノ中間ニ立ッテ、實ニ忠誠實實穩健ノ態度ヲ以テ、大困難ナル所ノ新舊兩思想ノ大調和ヲ爲シ、而モ帝國ヲシテ此危險界ヨリ脱セシメ、畏多クモ天皇陛下ノ大御心ヲ安シ奉ル此原内閣、此床次大臣ノ大努力ニ向ッテ(ノウ)何等認メルコトガ出來ナイト云フヤウナコトハ、餘リニ事ヲシテ曲ナリトスルヤウナ、正直ナル考ヲ以テ是ヲ是トスルコトノ出來ナイ、洵ニ短慮ナル者デアルト私ハ斷言セザルヲ得ナイデアリマス、故ニ私ハ最後ニ於テ佐々木君ニ申上ダタイノデアアル、吾々ハ御同様ニ衆議院議員トシテ國民ノ選良デアアル、此國民ノ選良デアアル所ノ一言一行ト云フモノガ、直チニ天下ノ耳目デアアル所ノ新聞紙ヲ通ジテ、其影響スル所頗ル大ナルモノガアルノデアアル……

「其通り」何デ言論ヲ壓迫スルカト呼フ者アリ

○議長(與繁三郎君) 靜ニ……

○松岡俊三君(續) 左様ナ工合ニ國民ノ選良タル所ノ一舉一動ガ、其影響スル所大ナルコトヲ思ヒマシタナラバ、斯ノ如キ理由ナキ、根據ナキ所ノ佐々木君ノヤウナ此不信任ノ決議案ト云フモノハ、須ラク國家重大ノ時機デアルト云フコトヲ御考ニナリマシタナラバ、吾々ト協力相一致シテ、眞ニ國民ノ爲メニ吾々ノ誠ヲ盡シ、國ノ爲メニ盡サナケレバナラヌト信ズル者デアリマス、其故ニ以テマシテ、私ハ佐々木君ノ此理由ナキ根據ナキ所ノ不信任決議案ニ對シテ、絶對ニ反對意思ヲ表明スル者デアリマス(拍手起ル)

○議長(與繁三郎君) 橫山勝太郎君

○橫山勝太郎君(登壇)

○橫山勝太郎君 本員ハ佐々木安五郎君カラ御提案ニナリマシタ本案ニ對シテ、少シク賛成ノ意見ヲ述ベテ置キタリノデアリマス、只今反對セラレマシタ松岡君ハ、佐々木君ノ提案ノ理由ガ一モ事實ニ根據セザルコトヲ非常ニ急言疾呼セラレタヤデアリマスガ、ソレハ松岡君ノ何カ御聽達デアラウト考ヘル、佐々木君ハ極メテ詳細ニ、不信任案提出ノ理由並ニ其事實ヲ御述ニナッデ居ル、其事柄ガ若シ聞エナカッタナラバ、速記録ヲ通ジテ御閱覽ニナッテ分ルコト、思ヒマス、佐々木君ノ御提案ノ理由ハ、要スルニ思想問題ト云フコトガ根本ニナッテ居ルヤウデアリマシタガ、無論私モ其意味ヲ以テ御賛成申上ゲマス、併シ此點ハ佐々木安五郎君ヨリ、最も詳細ニ最も明瞭ニ、且ツ最も壯快ニ御演說ガアリマシタカラ、私ハ之ニ蛇足ヲ添エルコトヲ致シマセ、只ダ床次内務大臣ノ所謂思想ノ善導ト云フコトニ關シテ、此演壇ニ於テ松岡俊三君ガ多大ノ讚辭ヲ呈セラレ、ガ如ク、努力セラレタカドウカト云フコトハ、問題デアルト私ハ考ヘル、努力セラレテ居ル事柄ノ中ニ於テ、所謂浪花節語優遇問題ノ如キハ、偶、以テ同君ノ思想問題ニ關スル知識ノ全ク零デアルト云フコトヲ立證シテ居ルト考ヘル、殊ニ浪花節優遇問題ハ、或ル意味ニ於テハ床次内務大臣ニ取ッテハ、誠ニ御迷惑至極、吾々ヨリ見レバ御氣ノ毒至極ト考ヘル、此問題ハ吾々ノ聞ク所ニ依レバ、同君固有ノ意見デハナイ、床次内務大臣所管ノ内務行政ニ毫モ關係ノ無イ、或ル他ノ拓殖局ノ某官憲ヨリシテ、浪花節ヲ使用シタラ宜カラウト云フコトヲ附焼刀ノ知識ヲ附ケラレテ、之ヲ創造ナラタノデアアル(想像說ハ止シ給ヘト呼フ者アリ)此一事實ヲ以テ見テモ、果シテ床次内務大臣ガ浪花節ノ優遇ト云フ事柄ニ就テ、果シテ確信ヲ以テ之ヲ斷行シテ居ラル、カドウカト云フコトハ、私ハ大ニ疑問ト致シテ居ル、偶、外部ニ最も有力ナル手段トシテ現レテ居ル所ノ浪花節優遇問題ノ如キ事柄デスラ内務大臣固有ノ意思デナイトシタナラバ、其以外ニ内務大臣ハ思想ノ善導ニ就テ、如何ナル知識ヲ有シテ居ラル、カト云フコトヲ聽カントスル者デアアル、私ハ此意味ニ於テ、内務大臣ハ少クモ思想問題ニ就テ、今日ノ時局ニ當リテ——此思想混亂ノ時代ニ當リテ、我が國民ノ思想ヲ善導スルト云フヤウナ資格ノ無イ人デアルト云フ意味ニ於テ佐々木君ノ不信任提案ノ一ノ重大ナル理由トシテ、之ヲ唱フル者デアアル、次ニ私ノ申上タイト思フ事柄ハ、過日閣元植暗殺事件ニ就テ私ハ此演壇ニ立ッテ……

「樋口伊之助君」俯向イテヤレノ顔ヲ見ヤルナラ許シマセヌト呼フ

○議長(與繁三郎君) 靜ニ——發言ヲ許シマセヌ

○橫山勝太郎君(續) 此閣元植暗殺事件ニ對スル内務省ノ態度ニ就テ質問ヲシタ際ニ、可ナリ私ハ詳細ニ申上テ置キマシタガ、内務大臣ハ當時本員ノ質問ニ對シテ答辯書ニ

依ッテ閣元植ノ身體ニ關シテハ、警視總監ニ命令ヲ致シ非常ナル注意保護ノ責任ヲ盡シタト云フコトデアリマシタガ、併ナガラ當時其答辯書ニ對シテ、私ハ此席ニ於テ床次内務大臣御列席ノ場合ニ於テ、私ハ大ニ此問題ノ責任ヲ面責シタニモ拘ラズ、平素雄辯ナル内務大臣ハ、一言半句モ本員ノ質問ニ對シテ答辯スルコトガ出來ナイ、此閣元植暗殺事件ハ實ニ重大ナル事件デアアル、殊ニ此問題ニ就テ只今松岡俊三君ヨリシテ、佐々木君御賛メニナッデ居ル、其御賛メニナッテ趣旨ハ、閣元植ノ問題ニ就テ、新聞記事差止ヲ致シタノハ、内務大臣ニ非ズシテ檢事局デアアル、故ニ此差止問題ヲ以テ内務大臣ヲ責ムルト云フ事柄ハ、全ク事實ニ立脚セザルモノデアルト云フ、御非難デアリマシタ、是ハ松岡君ガ佐々木君ノ演說ヲ誤解セラレテ居ルト云フコトヲ後ニ言明致シテ置キマス、佐々木君ガ閣元植ノ事件ニ關スル差止問題ヲ齎ラシテ、此演壇ニ立ッテ演說ヲナス趣旨ハ、差止其モノ、問題ニ就テ彼是仰シヤタノデハナイ、此頃多ク出テ來ル差止命令ト云フモノハ、如何ニモ不理不當デアアル、其一例ヲ舉ゲレバ閣元植ノ問題ノ如キモ、差止命令ト云フモノハ不當デアルト斯ウ言ッテ居ル、即チ是ハ内務大臣ノ責任ヲ問フニ非ズシテ、一般ノ差止問題ニ關スル、檢事局ノ態度ヲ非難シテ居ル意味ニナッテ居ルノデアアル、佐々木君如何ニ法律ノ事ニ暗シト雖モ、檢事ノ差止問題ト、内務大臣ノ差止問題トヲ混淆シテ、此演壇ニ立ッテ演說ヲスルヤウナ人間デナイト云フコトハ、諸君ハ疾ク知ッデ居ル事柄デアルト私ハ考ヘル(拍手起ル)「政友會ハ速記録ヲ見ルベシト呼フ者アリ」佐々木君並ニ吾々ガ、此閣元植ノ問題ニ關シテ内務大臣ノ責任ヲ問ハントスルモノハ——(樋口伊之助君)私ノ身上ニ關係シマスカラ私ハ一言申シタイト呼フ)決シテ差止問題其モノガ責任デアルトハ申シテ居ラヌノデアリマス、吾々ハ白晝公然帝都ノ中央ヲ距ル僅ニ數町ノ處——(樋口伊之助君)ウツ向イテヤリ給ヘト呼フ)世界ノ人ノ來往スル所ノ東京驛ノ旅宿ノ前ニ於テ——宿舎ノ前ニ於テ、若クハ宿舎ノ中ニ於テ、閣元植ガ殺害セラレタト云フヤウナ事ガアルト云フ事柄ハ、内務行政ノ一部タル我警視總監ノ責任問題ハ、ドウスルカ、警視總監ノ責任問題ハ、即チ内務大臣ノ責任問題デアルト云フコトヲ問ハントシテ居ルノデアアル(拍手起ル)斯ノ如ク理義明白ナル事柄ヲ以テ内務大臣ノ責任ヲ問責致シテ居ルニモ拘ラズ、松岡君ガ差止命令其モノニ就テ、内務大臣ノ責任ヲ問フ如ク御反對ニナッテハ、寧ロ松岡君ノ方ガ事實ニ根據セザル暴論デアルト私ハ思フ(拍手起ル)「ノウ」勝チヤンアワテチャイケナイヨ」頭ガ惡イト呼フ者アリ)此内務大臣責任問題ニ就テハ、是ハ此演

壇ニ於テ懸案トナシテ居ルノデアリマス、(何ガ懸案ダオ前ガ懸案ダラウト)呼フ者アリ)本員ハ議院法ノ命スル所、議事規則ノ許ス範圍ニ於テ、正式ナル質問書ヲ出シテ、內務大臣ノ責任ヲ問フテ居ルノデアル(答辯ノ必要ナシト)呼フ者アリ)併シ此質問ニ對シテ一片ノ答辯書ヲ送テ、責任問題ニ關シテハ、一言半句ノ答辯モ與ヘテ居ラヌカラシテ、私ハ其答辯書ニ對シテ意見ヲ述ベルト云フコトデ、此演壇ニ立ッテ更ニ內務大臣ノ責任ヲ問フテ居ルニモ拘ラズ、內務大臣ハ此點ニ就テ未ダ會テ一言半句責任問題ニ論及セズ事柄ハ、無責任ノ極デアルト私ハ考ヘル(拍手起ル)閑元植ノ爲入及其閑歷ニ就テハ、過日ノ壇上ニ於テ申上デマシタ如ク、閑元植君ハ朝鮮ニ於テ、多數ノ親日派ヲ代表スル所ノ代表人物デアアル、(判テ居ル)呼フ者アリ)此人物ガ帝都ニ來テ、日本警察權ノ保護ニ浴スルコトガ出來ヌト云フ事柄ハ、中外ニ對シテ、我警察權ノ威信ヲ失墜シタルモノデアルト私ハ考ヘル(拍手起ル)斯ノ如キ重大ナル事態ヲ出來致シテ居ルニモ拘ラズ、警視總監ハ恬トシテ其職ニ居ル、警視總監ヲ督勵スル責任ノアル所ノ內務大臣ハ、依然トシテ其職ニ嚙付イテ居ル事柄ハ、無責任ノ極デアルト私ハ斷言シテ憚ラナイ(拍手起ル)凡ソ斯ノ如キ重大ナル事柄ヲ、帝都ノ中央ニ於テ白晝公然演出セラレテ、而シテ一人ノ責任ヲ負フ者ガ無イト云フニ至テハ、我が警察界、我が內務行政ノ紊亂ハ其極ニ達シテ居ルト私ハ斷言スル(拍手起ル、アウ)ト呼フ者アリ)而シテ警視總監、竝ニ內務大臣ハ何等ノ責任ヲ負ハザルニモ拘ラズ、反對ニ處罰ヲ蒙ル者ハ新聞紙デアルト云フニ至テハ、冠履轉倒ノ甚シキモノデアルト謂ハネバナラス(拍手起ル)

〔犯人ヲ逃スコトヲ知ラナイカソナ事ヲ新聞ニ書キ立デレバ——馬鹿「市太郎默レ」ト呼フ者アリ〕

○議長(奥繁三郎君) 靜ニ……

○横山勝太郎君(續) 此故ニ曰ク、警視廳ニ出入ヲ致シテ居ラル、所ノ新聞記者ノ團體ヨリシテ、決議ヲ以テ警視總監ノ責任ヲ問フテ居ルニモ拘ラズ、警視總監ハ尙ホ責任ヲ引カナイ(愚論々々)ト呼フ者アリ)ノミナラズ、都下ノ十六新聞ハ此司法官憲ノ行爲ニ關シテ、自分ノ無罪ナルコトヲ法廷ニ於テ論争シツ、アルト云フコトハ、諸君ノ御承知ノ通りデアアル、即チ當然責任ヲ負フベキ內務當局者ハ、恬トシテ其職ニ嚙付イテ居リ帝都ノ中央ニ起リシ重要ナル事實ヲ報告スル責任アル公ケノ報道機關タル新聞記者ガ此天下明々白々タル事實ヲ言論機關ノ上ニ報道ヲシテ、ソレガ處罰ヲ受ケルト云フニ至テハ、此處罰ヲ受ケル點ハ內務大臣ノ責任ニ非ズトスルモ、國民ノ側ヨリ見フシタナラバ、責任ヲ

附加スベキ者ガ責任ヲ附加セズシテ、罰スベカラザル者ガ罰セラレテ居ル、爰ニ一大奇觀ヲ呈シテ居ルト私ハ考ヘル(拍手起ル)牽強附會ノ議論ヲナスナ「大間違」見當違「詰ラヌ事ヲ止メロ」ト呼フ者アリ)私ハ此點ニ就テ內務大臣ノ良心ヲ問ヒタイ、閑元植君ハ御承知ノ通り朝鮮人デアリマス、此朝鮮人ガ死亡シテ告別式ヲ爲スニ當テ、總理大臣モ、內務大臣モ、此閑元植君ノ死骸ノ前ニ立ッテ、殊勝ラシクモ花ヲ手向ケテ、告別式ニ參列ヲ致シテ居ラレバ、其様ナ儀禮ガ何ノ役ニ立ツカト云フコトヲ考ヘテ貴ヒタイ(拍手起ル、何ダインレハ)何ヲ言フノダ貴様「八釜シイ」懲罰々々ト呼フ者アリ)自分ノ當然ノ職責アル職責ヲ盡サズシテ、即チ內務ノ不取締、警視總監ノ不取締ノ結果、殺シレタル人ノ爲ニ立チテ、僅ニ告別式ニ參列ヲ致シテ、而シテ其責任ヲ免レントスルニ至テハ、心事ノ陋劣ナル唾棄スベキ行爲デアルト私ハ考ヘル(拍手起ル)死者ヲ平フ禮デアアル冷淡ナル東京市民ト呼フ者アリ)無論朝鮮人暗殺セラレタルコトニ對シテハ、總理大臣若クハ內務大臣ガ、重大ナル國務ノ餘暇ヲ以テ閑元植君ノ死體ノ前ニ參列ヲシテ、告別式ニ列セラレルト云フ事柄、其事柄自體ヲ私ハ非難致シテ居ルノデハナイ、是ハ國民トシテ當然ノ事デアリマセウ、吾々ノ問ハントスル所ハ、其位紳士トシテ禮ヲ盡ス人ガ、國務上ノ失態ニ就テ何故責任ヲ負ハヌカト云フコトヲ申スノデアリマス(拍手起ル)問題外々々々「精神ニ異狀ハナキヤ」ト呼フ者アリ)朝鮮人ノ即チ親日派ノ人ミカヲ見マシタナラバ(發狂シテハイケマセヨ)ト呼フ者アリ)告別式ニ總理大臣內務大臣ガ參列シタケレドモガ、警察ノ不取締ニ依ッテ……

○議長(奥繁三郎君) 三木君ニ私語ヲ禁ジマス、三木君、岩本君ニ私語ヲスルコトヲ禁ジマス

〔三木武吉君「我輩ハ私語シテ居ラヌ」ト呼フ〕

○横山勝太郎君(續) 國法上ノ責任ヲ負フ者ガ無イト云フコトニナリマシタナラバ、朝鮮ハ之ヲ何ト見ルデアリマセウカ(降ガリ給ヘ)ト呼フ者アリ)

○議長(奥繁三郎君) 靜ニ……

○横山勝太郎君(續) 第二ハ——私ノ問責ノ第二ハ、佐々木君ガ申サレマシタ此宮中問題ニ關シテ、謹ンデ私ハ此演壇ニ立ッテ發言ヲ致シテ置キマス、佐々木君ノ御論ノ趣旨ハ、諸君ガ御聽ニナタ通りデアリマス、私モ之ニ關シテ一言ヲ述ベテ置カネバナラスコトハ、宮中ノ某重大事件ナルモノハ、諸君御承知ノ如ク、新聞紙ハ內務大臣ノ差止命令ニ依ッテ、某重大事件ナル記事ヲ以テ之ヲ報道シテ居タニ過ギヌト云フ事柄ハ、私ヨリ之ヲ申スマデモナイ事柄デアアル、此

宮中ハ某重大事件ナルモノハ、佐々木君ノ演說中ニモアリマシタ如ク、原總理大臣ハ此問題ニ關シテ、何等ノ關係無キモノ、如キ態度ヲ執ッテ居ラル、ト云フ事柄ハ、吾々ハ國民ノ側ヨリ左様ニ承知ヲ致シテ居ル、然レドモ私ハ佐々木君ノ言論ヨリモ一層進ンデ、此問題ニ關シテ元老ガ如何ナル事ヲ致シテ居ラタカト云フコトハ、私辯明ノ限リニ非ラズ、然レドモ此重大ナル問題ニ就テ、原總理大臣ガ關與セザルノ道理ガ無イト思フ、無論關與シテ居ルト私ハ考ヘル、何ガ故ニ斯様ナ議論ヲ爲スカト申シマスレバ、謹ンデ我が大日本帝國ノ憲法ヲ按ズルニ、憲法ノ條章ニハ皇位繼承ノ問題ヲ規定致シテ居リマス、而シテ此皇位繼承ノ問題ハ、皇室典範規定ニ讓テアリマス、然レドモ皇位繼承ノ問題ハ、重大ナル憲法上ノ問題デアッテ、此重大ナル憲法上ノ問題ハ、直チニ國家ノ問題デアルト云フ事柄ハ、申スマデモナイ事柄デアアル、皇室典範ハ別箇ノ法律ニナッテ居リマスケレドモ、其皇室典範ノ根源ハ、憲法ニ在ルト云フコトハ申スマデモナイ事柄デアアル、其故ニ謹ンデ吾々ハ宮中ノ某重大事件ナルモノヲ承リマスルニ、是ハ……

〔此時發言スル者アリ〕

○議長(奥繁三郎君) 靜ニ——靜肅ニ——

○横山勝太郎君(續) 皇太子妃殿下ノ御治定ニ關スル重大問題デアルト云フ事柄ハ、申スマデモナイ事柄デアアル

○議長(奥繁三郎君) 諸君——諸君、今横山君ハ憲法竝ニ皇室ノ事ニ涉ラ演說中デアリマス、議長ハ最も靜ニ聽イテ居リマス、殊ニ諸君ハ靜ニ聽取ラレコトヲ望ミマス(ヒヤヒヤ)ト呼フ者アリ)

○横山勝太郎君(續) 此故ニ吾々ハ我帝國ノ欽定憲法ノ解釋上、皇位繼承ノ問題ハ即チ憲法上ノ問題デアッテ、此問題ハ重大ナル國家ノ問題デアルト私ハ確信ヲ致シテ居リマス、此故ニ二月十日ニ政府ガ發表セラレタル事實ニ依リマスレバ、皇太子妃殿下ノ御治定ノ事ニ就テハ、從來ノ通り何等ノ御變更ガ無イト云フコトデゴザイマシタ然ラバ吾々ハ之ヲ恐察シ奉ルニ、何カ此御治定ノ事ニ就テ、異論ヲ挿ム者アリシニ非ズヤト云フコトヲ、吾々ハ竊ニ憂フル所デアリマス、斯ノ如キ人ガ元老デアラウガ、元老以外ノ人デアラウガ、假令一言半句ト雖モ、此重大ナル事項ニ關シテ喙ヲ挿ミシ者アリトスレバ、是ハ重大ナル國家ノ問題デアッテ、其國家ノ問題ニ關シテ喙ヲ容レタモノデアルト私ハ斷定ヲ致シマス、此重大ナル——國法上即チ憲法上國家ノ重大ナル問題ニ關シテハ、原總理大臣ハ無論之ヲ知ッテ居ラネバナラス、若シ之ヲ知ラズトスルナラバ、原總理大臣ハ國務ニ對シテ、冷淡無

責任ノ極デアルト斷言スル、此故ニ……(何ヲ言フテ居ル)ト呼フ者アリ)

○議長(奥繁三郎君) 靜肅ニ……

○横山勝太郎君(續) 能ク御聽ナサイ——能ク御聽ナサイ、即チ我國ノ國法上ノ問題、憲法上ノ問題ト致シマシテ、今回ノ如キ問題ハ海ニ恐懼ノ至リニ堪ヘマセヌケレドモ、是ハ矢張國家ノ重大問題デアルト私ハ考ヘル、(何ヲ言フ)ト呼フ者アリ)既ニ國家ノ重大問題デアルト致シマシタナラバ、此立憲法治國ノ民トシテ、宮中ニ如何ナル問題ガアリシカ、即チ事國家ニ關シテ如何ナル問題ガアリシカト云フコトニ對シテ、相當ナル智識ヲ得ノトスル事柄ハ、國民當然ノ要求デアルト私ハ考ヘル、(拍手起ル)國民當然ノ要求デアル事柄ヲ、内務大臣ガ新聞紙法ノ規定ヲ濫用シテ、(「ノウ」)「ヒヤ」ト呼フ者アリ)豫メ新聞紙ニ對シテ此事柄ヲ掲載シテハ相成ラヌト云フコトヲ言ウタト云フ事柄ハ、職權ノ濫用デアデ……(「ノウ」)「ト呼フ者アリ)

○議長(奥繁三郎君) 靜ニ……

○横山勝太郎君(續) 上皇室ト下國民トノ中間ニ居テ、床次内務大臣ガ、國民ガ國家ノ重大問題ニ關シテ認識セントスル所ノ、當然ノ要求ヲ拒絕シタルモノデアルト考ヘル、(拍手起ル)此國民當然ノ要求ヲ拒絕スルト云フ事柄ハ、皇室ト國民トノ間ニ一大溝渠ヲ造リタルモノデアルト私ハ斷言シテ憚ラス、(拍手起ル)「怪シカラヌ事ヲ言フナ」其通り「冷靜ニヤリ給ヘ」ト呼フ者アリ)而シテ諸君、床次内務大臣ガ新聞紙法ノ規定ヲ濫用シタルモノ就テ、法律上ノ根據ヲ申上ゲテ置キマス——驛ガナイデ御聽ナサイ、今私ガ申上ゲマシタ内務大臣ガ法律ノ規定ヲ濫用シタルモノ事柄ヲ申上ゲルニ當テ、新聞紙法ノ規定ヲ一讀致シテ置キマス、而シテ新聞紙法ノ第十九條ニハ、諸君御承知ノ通り、(分テ居リマス)「止メロ」ト呼フ者アリ)新聞紙ハ公判ニ付スル以前ニ於テ豫審ノ内容其ノ他檢事ノ差止メタル搜查又ハ豫審中ノ被告事件ニ關スル事項又ハ公開ヲ停メタル訴訟ノ辯論ヲ掲載スルコトヲ得ス、即チ新聞紙法第十九條ニ於ケル檢事ノ差止權ナルモノハ、公判ノ以前ニ於テハ、豫審ノ内容ヲ掲載スルコトヲ差止メスル事項ヲ、掲載スルコトガ出來ナイト云フコトニナリテ居リマス、所謂豫メ前以テ事件ノ掲載ヲ差止メルト云フコトハ、新聞紙法第十九條ノ規定アル所デアル、然ルニ内務大臣ノ職權ニ屬シテ居ル所ノ新聞紙法第二十三條ノ規定ハ、此檢事ノ差止命令權ナルモノトハ、全ク其性質範圍ヲ異ニ致シテ居ルノデアル、即チ第二十三條ヲ念ノ爲メニ一讀ヲ致シテ置キマス、

(「必要ナシ」無用々々)ト呼フ者アリ)若シ間違ヒマシタラ私ガ責任ヲ負ヒマス、(オ前ノ責任ガ何ダ)ト呼フ者アリ)即チ新聞紙法第二十三條ニハ「内務大臣ハ新聞紙掲載ノ事項ニシテ安寧秩序ヲ紊シ又ハ風俗ヲ害スルモノト認ムルトキハ其ノ發賣及頒布ヲ禁止シ必要ノ場合ニ於テハ之ヲ差押フルコトヲ得前項ノ場合ニ於テ内務大臣ハ同一主旨ノ事項ノ掲載ヲ差止ムルコトヲ得」斯ノ如キ規定ニ相成テ居リマシテ、内務大臣ノ差止權ナルモノハ、檢事ノ差止權トハ其性質ヲ異ニ致シテ居リマス、檢事ハ豫メ事件ノ差止ヲスルコトガ出來マス、ケレドモ、内務大臣ハ新聞紙ガ如何ナル事ヲ掲載スルカ分ラナイ場合ニ方テ、豫メ其事件ノ掲載ヲ禁止スルコトハ法律ノ許ササル所デアル、(拍手)即チ新聞紙ノ掲載シタル事項ニシテ、安寧秩序ヲ害スル時分ニ、始メテ差止ガ出來ルト云フノデアル、一度其事件ノ一端ヲ記載シタル場合ニ於テ、内務大臣ハ同一主旨ノ事項ノ掲載ヲ差止ムルコトヲ得ト、斯ウナリテ居ルノデアリマス、之ヲ申上ゲテ、内務大臣ノ差止權ノ性質ナルモノハ御諒解ガ出來ルト私ハ考ヘル、而シテ今今回ニ恐懼ノ至リニ堪ヘマセヌケレドモ、宮中ノ問題ニ關シテ内務大臣ノ執リシ處置如何ハ、全ク新聞紙ノ或者若クハ全部ニ對シテ、此問題ニ關シテハ總テヲ記載スルコトハナラヌト云フ、包括的ノ差止命令ヲ豫メ出シテ居ルト云フ事柄ハ、此新聞紙法第二十三條ノ規定ヲ蹂躪致シテ居ルノデアル、(拍手)即チ内務大臣ハ法律ノ許ササル職權ヲ濫用シテ、言論ノ抑壓ヲ致シタルモノデアルト云フ事柄ハ一點ノ疑ヲ容レナイ、(拍手)「誤解々々」ト呼フ者アリ)此言論ノ抑壓ト云フ事柄ガ今日ノ場合ニ於テ此議會ノ問題トナルト云フ事柄ハ、即チ我國ノ立憲政體ノ退歩デアルト私ハ考ヘル、(拍手)此事項ニ關シテ松岡君ニ一言申上ゲテ置キマス、松岡君ハ何所カラ調査ニ相成リマシタカ存ジマセヌガ、大隈内閣時代ト、寺内内閣時代ト現政府ノ時代ニ於ケル發賣禁止ノ事件數ナルモノヲ御持ニナリマシテ——私ノ聽ク所ガ間違テ居ルカモ存ジマセヌガ、大隈内閣時代ニ於テハ二百七十三件、寺内内閣時代ニ於テハ三百九十七件、現内閣時代ニ於テハ二十七箇月間ニ二百六十四件デアルト云フ數字ヲ御持ニナリマシテ、此數字ノ結果五件カ七件多イトカナイトカ事柄デ、松岡君ハ現内閣ノ方ガ發賣禁止ニ就テハ寛大デアアル、(其通り)「新聞雜誌ガ殖エテ居ル」ト呼フ者アリ)寺内内閣ニ較ベテ見テモ、大隈内閣ニ較ベテ見テモ、最も寛大デアアルカラ、此根據ニ依レバ、果シテ言論抑壓ノ事實ハ無イト云フ御話ガアリマシタ、(其通り)ト呼フ者アリ)是ハ全ク事實ニ立脚セザリ議論デアルト私ハ考ヘル、(拍手)併ナガラ此松岡君ノ御

持ニナリマシタ數字ガ極メテ正確ニシテ寸毫モ誤ガ無イモノデアルカドウカト云フ事柄ハ、私ハ今能ク判リマセヌガ、是ハ暫ク松岡君ノ言ヲ御信用申上ゲテ置イテ、御話ヲスルノデアリマス、寺内内閣ノ事柄ハ、吾々ノ絕對責任ニ屬セヌ事デアアル、大隈内閣ノ時代ガ二百七十三件デアデ、現内閣ハ僅ニ二百六十四件、九件許リ原内閣ノ方ガ、發賣禁止ガ少イトカ云フ御話デアリマス、ルガ、或ハサウデアリマセウ、併ナガラ此問題ハ、單ニ九トカ十トカ云フ數字ノ多少ヲ以テ決定スベキ問題デハ斷ジテゴザイマセヌ、(拍手)先刻申上ゲマシタ如ク、宮中ノ其重大事件ノ如キモノ、記事差止命令ヲ下スト云フヤウナ事柄ハ、此一事ノ差止ニシテ數百件ニ當ル價值ヲ有テ居ルト私ハ考ヘル、(拍手)故ニ數字ヲ以テ決定スベキ問題デハナイト思ヒマス、ルガ、尙ホ大隈内閣時代ノ差止命令ナルモノハ、如何ナルモノデアルト云フコトヲ申上ゲマセバ、(無用々々)ト呼フ者アリ)諸君、大隈内閣ハ御承知ノ通り、日獨戰爭ヲ始メマシタ當時ノ内閣デアリマス、此故ニ大隈内閣ノ時代ニ於テ、記事差止ヲ致シマシタコトガ可ナリ多カッタト云フコトハ明瞭デアリマス、ケレドモ、其内容如何ト問フナラバ、(大浦事件)ト呼フ者アリ)第一ガ日本帝國ノ軍艦ノ所在地ヲ掲載シタルハ相成ラヌ、其他一切ノ日本軍ノ行動ヲ掲載シタルハ相成ラヌ、其他軍事上ノ事柄ニ就テ、多クノ差止命令ヲ出シテ居ルノデアリマス、此事實ニ依テ見テ諸君ハ何ト御考ニナリマス、(不當ト考ヘマス)ト呼フ者アリ)戰爭ノ場合ニ於テ我國ノ軍隊ノ行動ヲ新聞紙ニ書イテハナラヌ、軍艦ノ所在地ヲ新聞紙ニ掲載シタルハ相成ラヌト云フ事柄ハ、假令新聞紙法ノ規定無シタルモ、當然ヤラネバナラヌ事柄デアリマス、(拍手)此故ハ軍艦ノ所在、若クハ日本軍ノ行動ヲ、新聞紙ノ上ニ掲載スベカラザルコトヲ命令スル如キハ、軍事上最高權ノ作用ニ屬スルモノデアデ、何千件アデモ、何万件アデモ、決シテ今日ノ平和時代ト同視スルコトハ出來ナイト私ハ考ヘル、(拍手)然ルニ松岡君三君ハ、單ニ五件カ七件ノ數字ヲ提ヘ來デ、此差止ノ内容ト云フコトヲ全然看過シテ御議論ヲ爲サルト云フ事柄ハ、寧ロ松岡君ノ方ガ事實ヲ無視シテ暴論ヲ爲サルモノト私ハ考ヘル、(拍手)「能ク事實ヲ知テ居リマス」ト呼フ者アリ)斯ノ如ク私ハ、所謂宮中ノ其重大事件ニ關シテ記事ノ差止ヲ致シタルト云フ事柄ハ、現内閣ノ許サベカラザル大責任デアデ、私ト致シマシテハ、床次内務大臣一人ノ責任ヲ問フベキモノト信ズルノミナラズ、連帶責任ノ義ニ依テ、現内閣全部ガ責任ヲ負フベキモノデアルト信ズルノデアリマス、假ニ大隈内閣ノ時代、若クハ寺内内閣ノ時代ニ、差止ノ記事ガ多カッタカ、少ナカッタカト云フコトハ、

私ハ能ク存ジマセヌガ、併ナガラ寺内内閣ノ時代ニ斯ノ如キ罪惡ガアタ、大隈内閣ノ時代ニ斯ノ如キ罪惡ガアタ、此故ニ此罪惡ト現内閣ノ罪惡トノ差引相殺ヲ爲サレントスルガ如キ議論ヲ弄スルニ至ラデハ、全ク私ハ不當ノ論デアラト思フ(拍手)本日佐々木君ノ提案ニ依ラテ問題トナシテ居リマスモ、現内閣ノ責任ガ問題トナシテ居ルノデアラ、徒ラニ寺内内閣ノ問題ヲ玆ニ採用シ來テ此議場ヲ抹殺セントスルニ至ラデハ、其演說者ノ心事ノ陋劣ナルヲ疑ハザルヲ得ナリデアリマス、私ハ此以外ニ今一ツ第三ノ項目トシテ、内務大臣不信任ノ理由ヲ簡單ニ附加ヘテ置キマス、(佐々木君ガ迷感ヲスルゾ)「迷感シテ居ラヌ確カリヤデ吳レト」呼フ者アリ、第三ニ私ハ内務大臣ニ申上ゲナケレバナラヌ事柄ハ、過日モ此壇上ニ於テ申上ゲテ置キマス、東京市政ニ關係ヲ致シマスル(市會デアレ)「謹聴」君ノオ手ノモノダ、無用々々」呼フ者アリ、明治神宮表參道ノ責任問題ハ如何デアリマス、(徵ガ生ヘテ居リマス、無用)「呼フ者アリ」此明治神宮表參道ノ問題ヲ目シテ、單ニ一東京市政ノ問題デアルト呼號シ、若クハ國家ノ問題ニ非ラズト呼號スル政友會諸君ノ心事ヲ疑ハザルヲ得ナリ(拍手起ル)此處ハ帝國議會ダ、大道デアレト呼フ者アリ、政友會ノ諸君ノ中ニハ、大道デアレト呼フ御議ニナカ知リマセヌガ、吾ハ斯ノ如キ問題ヲ大道デアレト呼フニ參リマセヌ、内務大臣ガ其責任ヲ自覺スル迄ハ、幾度デモ此壇上ニ於テ論究スルノ必要ガアル、(拍手起ル)此言議ニ對シテ反對ヲ試ミル者ガアレバ、不忠臣非愛國者デアルト私ハ斷定シテ憚ラナイ、(拍手起ル)明治神宮表參道ノ問題ハ、過日其一班ヲ此壇上ニ於テ申上ゲテ置キマス、過日申上ゲザリシ一點ヲ申上ゲマスナラバ……

○議長(與繁三郎君) 靜ニ……
○橫山勝太郎君(續) 吾ガ國民トシテ此問題ニ就テ内務大臣ニ屢々苦言ヲ呈シテ居ル所以ノモノハ、御承知ノ通り表參道ハ(脱線)「呼フ者アリ」東京市ノ經營ニ屬シマスルモノトゴザイマス、東京市ノ經營ニ屬スル事柄ハ、内務行政ノ一部デアラカラ、内務大臣ガ此問題ニ就テ、責任ヲ負ハレヌト云フ道理ハ斷ジテ無イデアラ、(簡單)「呼フ者アリ」段々ニ内務大臣トシテ責任ヲ負ハサルマデモ、明治神宮造營局ノ副總裁トシテ責任ガアルト云フ事柄ハ、先日ノ此壇上ニ於テ、疾ク内務大臣ニ申上ゲテ置イタ次第デアラ、此表參道ハ御承知ノ如ク、幅ヲ二十間ト致シテサウシテ中央ニ車道ヲ置キ、(無用々々)「止メ給」(謹聴)……

ト呼フ者アリ)中央ニ車道ヲ置イテ、左右ニ四間ノ人道ヲ造ルト云フ計畫ニナシテ居ラデアレマス、(東京市會ニ非ラズト呼フ者アリ)中央ニ車道ヲ置イテ、左右ニ四間ノ人道ヲ設ケルト云フ計畫ヲ、東京市ノ吏員ガ其設計ヲ誤シテ、人道ノ幅ヲ僅ニ三間ニ短縮ヲ致シテアレマス(此時發言スル者多シ)

者アリ)關係ガアリマス、關係ガアルカラ言フテ居ル、流石ニ名前ヲ申上ゲルト言ヘバ、何カ痛イ所ガアルト見エテ默ラデ居ル、事政友會ニ關係スル問題デアラカラシテ、暫ク紳士ノ德ヲ以テ御黙シナサイ、此故ニ此市政ノ問題ニ關シテ、内務大臣ガ如何ナル責任ヲ自覺シテ居ルカト云フ事柄ヲ、此壇上ニ於テ極メテ明瞭ニ材料ヲ示シテ之ヲ質問致シタニモ拘ラズ、何等ノ言明ヲ與ヘナイ、是ハ無責任ノ極デアラト私ハ斷言スルデアラ、(ノウ)「ヒヤ」ノ聲起ル、殊ニ明治神宮表參道ノ問題ハ(笑聲起ル)事皇室ニ關スル重大問題デアラ(議場騒然)

○議長(與繁三郎君) 靜ニ……(「名議長」ト呼フ者アリ)
○橫山勝太郎君(續) 此四間ノ人道ヲ三間ニ短縮致シマシタルガ爲メ明治神宮ニ參詣ヲ致シマス所ノ忠良ナル幾十百万ノ國民ガ、如何ニ迷惑ヲシテ居ルカト云フコトハ、私ガ論ズルマデモナイ事柄デアラ、(拍手)其他道路ノ計畫ニ一失態ガアデ、而シテ此道路ノ問題ニ關シテ、賄賂ヲ取ツテ監獄ニ投ゼラレテ居ル吏員ノアルト云フコトモ、内務大臣ガ疾クニ知ツテ居ル筈デアラ、(ソレガ政友會ダ)市會デアレマセヌヨト呼フ者アリ、而シテ吾ハ此問題ニ關シテ、内務大臣ニ對シテ、此責任ヲ如何ニスルカト云フコトヲ質問ヲ致シマシタル際ニ明治神宮造營局ノ副總裁トシテハ責任ヲ負ハナイガ、内務大臣トシテハ責任ヲ負フベキモノデアルト云フ意味ノ言明ヲ致サレタコトハ、諸君ノ御承知ノ通りデアラ、(拍手)此明治神宮表參道ノ問題ニ關シテ、(問題外)ト呼フ者アリ、國民ノ一人タル内務大臣ガ責任ヲ負フト云フコトヲ言明セラレタノハ、當然ノ事柄デアルト私ハ考ヘル(ソレガドウシタノダ)ト呼フ者アリ、既ニ責任ヲ負フト云フコトヲ言明シタ以上ハ、其責任ヲ負擔スル方法ハ如何デアラカ、(答辯ノ限リニアラズ)「何ガソレガ關係ガアルカ」頭ニ氷ヲ載セ給ヘト呼フ者アリ、單ニ自分ノ管轄ニ屬スル内務行政ノ中ニ不都合ナル問題ガ起デ、(討論終結ト呼フ者アリ)内務大臣ハ其責任ヲ負擔セザルベカラザル必要ノアルコトハ認メテ居ルニモ拘ラズ、只ダ責任ヲ負フ責任ガアルト云フコトヲ言明スルニ止テ、其實ヲ現サザルニ至ラデハ、不忠不義ノ内務大臣デアルト私ハ斷言シテ憚ラヌ、(拍手)此問題ハ政友會ノ諸君ガ非常ニ妨害ヲナサレ、非常ニ御騷ナサイマスガ、能ク考ヘテ御覽ニナタラ宜シ、東京市政ノ問題ニ就テ、市會デハナイト呼フ者アリ、議場騒然、東京市政ノ問題ニ就テ、最も多ク牢獄ニ投ゼラレタ者ハ政友會ノ諸君デアラ、(ソレガ何デ本問題ト關係ガアル)ト呼フ者アリ、何カ辯明ガアレバ爲サタラ宜カラウ、デカラ御黙リナサイト云フデアラ、(止メロ)内務大臣ト何ノ關係ガアルト呼フ者アリ、分ラナケレバ名前ヲ申上ゲマス、分ラナケレバ名前ヲ言フ(ヒヤ)ト呼フ者アリ、議場騒然、御騷ギニナルノモ程ガアルト思フ、(何ノ關係ガアル)ト呼フ

○議長(與繁三郎君) 靜ニ……
○橫山勝太郎君(續) 斯ノ如キ問題ニ對シテ、内務大臣ガ其責任ヲ明カニセザルト云フ事柄ハ、立憲國ノ大臣トシテ無責任ノ極デアルト私ハ斷言スルデアラ、殊ニ我國ノ國體ニ於テ、我國ノ如キ國情ニ於テ、事皇室ニ關スル問題ニ於テ、内務大臣ガ責任ヲ負ハヌト云フ事柄ハ、上皇室ニ對シテ不忠ナル國民デアルト私ハ斷言シテ憚ラヌ、(表參道)ト呼フ者アリ、殊ニ事皇室ニ關スルコトニ冷淡デアルト云フ事柄ニ就テ御反對ガアルナラバ、此壇上ニ於テ堂々ト論難ナサタラ宜カラウ(問題外)ト呼フ者アリ、故ニ私ハ前來申上ゲタル事柄ニ於テ、佐々木君ニ同感ヲ表シテ内務大臣ノ責任ヲ問フ者デアリマス、(モウソレデ宜イ)「終リ」ト呼フ者アリ、要スルニ私ノ主トシテ問ハントスル所ハ、言論ノ抑壓ニ關スル事項デアリマス、此處デ吾モヨリシテ申上ゲル迄モナク、(表參道)ト呼フ者アリ、言論ノ自由ト云フ事柄ハ、立憲國ノ公開ト云フ事柄ト言論ノ自由ト云フ事柄ハ、立憲國民ノ當然要求スル所ノ權利デアルト云フコトハ申上ゲザラナイ、(拍手起ル)此故ニ、(逆轉)ト呼フ者アリ、立憲國ノ一大要件デアル所ノ言論ノ自由ヲ抑壓スル所ノ事柄ハ、取モ直サズ憲政ニ對シテ判逆ヲ企ツルモノデアルト私ハ考ヘル、(拍手起ル)立憲政治ノ大精神ハ總テノ事柄ヲ公開シテ、公開ノ議場ニ於テ公明正大ニ論難攻撃スルト云フコトガ、立憲政治ノ大精神デアルト私ハ信ズル、然ルニ先刻來申上ゲマスル如ク、床次内務大臣ハ新聞法ノ規定ヲ濫用シ、(濫用シナイ)ト呼フ者アリ、内務大臣ノ職責ヲ濫用シテ、(表參道)「ハドウナリマシタ」ト呼フ者アリ、議場騒然、立憲國ニ必要缺クベカラザル所ノ言論ノ自由ヲ抑壓シタト云フ事柄ハ、藩閥政治ノ遺物デアル所ノ專制政治ヲ行フモノデアルト私ハ斷言シテ憚ラヌ者デアラ、是故ニ床次内務大臣ガ思想ノ善導ニ關シテ浪花節ヲ御使用ニナルト同様ニ、法律ノ規定ヲ曲解シテ(無用々々)ト呼フ者アリ、發言者多ク議場騒然、

○議長(奥繁三郎君) 静肅ニ

○横山勝太郎君(續) 新聞紙ノ報道ヲ抑壓シテ、以テ國民ノ耳目ヲ擁蔽セントシタト云フ事柄ハ、此進歩セル立憲治下ニ於テ許スヘカラザル政治上ノ罪惡デアルトハ私ハ考ヘル、此故ニ(表參道)ト呼フ者アリ、發言スル者多シ(東京市會ノ現狀ハ如何デアリマス、内務大臣ノ監督ノ下ニ在ル市會議員ガ十六人マデ檢舉セラレテ居ルニモ拘ラズ、我黨ノ議員ガ多ク牢獄ニ投ゼラレテ居ルト云フ理由アリテ、東京市會ヲ解散スルノ勇氣ナク、東京市民ノ期待ニ背キ、日本國民ノ正當ナル要求ヲ無視シテ、當然解散スベキ市會ヲモ解散スルコトガ出来ズ、又一面ニ於テ(發言者多ク議場騷然)言論ヲ抑壓シテ、藩閥政治ノ遺習タル專制政治、秘密政治、暗黒政治ヲ行ハントシテ居ル事柄ハ、今日ニ於テ到底吾々ハ國民ノ代表者トシテ床次君ノ如キ人ガ内務大臣ノ職責ガアルト云フ事柄ハ、斷ジテ反對セザルヲ得ヌノデアリマス、此故ニ私ハ内務大臣ノ進退ニ關シテモ、公明正大ナル同君ノ進退ヲ望ムノデアリマス、之ヲ申上デテ賛成ノ理由トシマス(拍手起ル)

○議長(奥繁三郎君) 横山勝太郎君ニ一寸御照會シマスガ、御演說中ニ宮中ノ某重大事件ト云フ御言葉ガ再三出テ居リマス、又皇位繼承問題ト云フコトガ出テ居リマス、御演說ハ御自由デアリマスアレドモ、世人ヲシテ皇位繼承ノ重大案件ガ近日アタタ如ク誤解ヲ招カシムルヤウナ演說ノ言葉ガアリマス

○議長(奥繁三郎君) 御聽キナサイ、ソレデハ宜シイ、調ベタ上ト仰シヤルナラバ調ベタ上ニ致シマスガ、議長ノ言フコトノ終ル迄御聽キナサイ——議長ノ言葉ノ終ル迄御聽キナサイ、憲法第二條ヲ引カレ、皇室典範ノ定ムル所ノ皇位繼承問題ノ事ヲ言ハレマシタカラ——(議場騷然)皇位繼承問題ノ如キ誤解ヲ招ク虞ガアリマス(議場騷然)マア御聽キナサイ(取消セ取消セ)ト呼フ者アリ、發言スル者多シ(諸君靜ニ御聽キナサイ、是ハ私ハ議員ニ對スル無禮ノ言ト見ル譯デモアリマセヌ、又皇室ニ對シテ不敬ノ言トモ見テ居ラナイ、議長トシテハ只今ノ横山君ノ演說ハ、世間ヨリ大ナル誤解ヲ招クノ虞ガアリト認メマスカラ、横山君ニ忠告致シマス

○横山勝太郎君 只今ノ議長ノ御叮嚀ノ御忠告デゴザイマシタガ、私モアノ演壇ニ立ッテ居ル際ニ、多數ノ諸君ガ何ノ必要アデテ非常ナル防害ヲ爲サルガ故ニ(ノウウ)

ト呼フ者アリ)私モ多少興奮シタル結果、或ハ議長ノ御忠告ニナルヤウナ無禮ノ言ガアツタカモ知ラマツ考ヘマス、併ナガラ只今ノ所ニ於テ、議長ノ御忠告ヲ無條件デ承知スト云フ譯ニハ參リマセヌ事極メテ重大ナル問題デゴザイマスガ故ニ、議長ノ御忠告ニ基キテ、詳細速記録ヲ調査致シマシテ、不都合ノ點ガアリマシタナラバ、議長ノ御忠告ノ通りニ致シマス、本日ハ是ヲ以テ——(議場騷然)

○議長(奥繁三郎君) 静カニ——モウ一ツ——皇室ニ對シテ不忠不臣ノ内務大臣ト云フ御言葉ガアリマシタ(當リ前ダ)懲罰ニ付スベシ(議長不都合ダ)ト呼フ者アリ、議場騷然(横山君何デスカ——)靜ニ

○横山勝太郎君 我ハ苟モ明治神宮ノ表參道ノ問題ニ關シテ、内務大臣ガ之ヲ平然トシテ不問ニ付シ、責任ガアルカノ如キ言明セラレテ居リナガラ、ソレニ對シテ責任ノ實ヲ明ニシナイデアリマスカラ、是ハ上皇室ニ對シテ不敬デアル、不忠デアルト云フコトヲ確カニ申上デマシタ、而シテ此事柄ニ關シテハ、私ハ責任ヲ以テ申上デタノデアリマスカラシテ、只今之ヲ取消ス譯ニハ參リマセヌ(取消スナ)默レ(議長ハ何ダ)ト呼フ者、拍手スル者アリ(議場騷然)

○議長(奥繁三郎君) 靜ニ爲サイ、三木君ナリ森田君カラ御忠告ガアリマシタガ、議長ハ自ラ考ヘマシテ——(何ヲ言フノダ)ノウウ——ト呼フ者アリ(議場騷然)事實ノ理由或ハ說明ヲ要サナイ、國務大臣ニ對シテモ、又御互ニ對シテモ、不忠不臣ノ者デアルト云フ言葉ハ、確カニ不穩當ノ言ト認メマスカラ(ノウウ)「ヒヤ」ト呼フ者アリ(議場騷然)取消ヲ命ジマス(懲罰々々)「取消セ」ト呼フ者アリ(議場騷然)靜ニ——横山君ニ取消ヲ命ジマス

○横山勝太郎君 議長ノ宣言ガ私ノ耳ニ徹底致シマセヌ、モウ一度……

○議長(奥繁三郎君) 事ノ理由ノ如何ヲ問ハズ、國務大臣ニ對シ、若クハ議員相互ニ對シテ、不忠不臣ノ臣ト云フ言葉ハ、無禮ノ言ナリト認メマス(ノウウ)「ト呼フ者アリ拍手起ル」取消ヲ命ジマス

○横山勝太郎君 只今議長ノ御忠告ガゴザイマシタガ、私ハ國務大臣ニ對シテ無禮ニ當ルト云フ點ニ就テハ、議長ト私ト見解ヲ異ニ致シマスガ、私が斯ク申シマシタノハ、上皇室ニ對シテ恐懼ノ致リニ堪ヘザルガ故ニ、斯ノ如キ言論ヲ致シタデアリマス、故ニ内務大臣ニシテ此表參道ノ問題ニ關シテ責任ヲ明ニセラレタ曉ニ於テハ、私ハ斯様ナ言ヲ取消スカモ知レマセヌガ、今日ノ如ク内務大臣ガ冷カナル態度デアリマス以上ハ、私ハ上皇室ニ對シテ不忠不臣ト申シマシタ言葉ハ取消シマセヌ(懲罰々々)馬鹿ヲ言フ

ナ「取消セ」ト呼フ者アリ(議場騷然)

○議長(奥繁三郎君) 横山君——一寸諸君ハ靜ニシテ御聽キナサイ、横山君——一寸御聽キナサイ、今發言爲サタ如ク、斯クナレバ上皇室ニ對シテ恐懼ニ堪ヘナイデ、不忠不臣ニ當ルト云フ穩カナル御言葉アルナラバ、取消ハ命ジマセヌ(初メカラサウダ)速記ヲ御覽ナサイ「ト呼フ者アリ」貴方ノ演說ガ今御述ベノ如キ穩當ナコトデアルナラバ、議長ハ此命令ハ致シマセヌ、議長ハ確ニ聽イタカラ命令ヲ出シタデアリマスガ、速記ヲ調ベル間、御覽ナサル間猶豫ヲ與ヘマス——床次内務大臣

○國務大臣(床次竹二郎君) 登壇、拍手起ル

○國務大臣(竹次竹二郎君) 我ハ就任以來、思想問題並ニ新聞紙ノ事ニ就テハ、深ク注意ヲ拂ヒ、努力シツ、アル考デアリマス(ノウウ)「ト呼フ者アリ」而シテ治安上必要ナリト思フ事ニ就テハ、相當ノ措置ヲ執ルニ怠ラヌノデアリマス、併ナガラ濫リニ言論ヲ壓迫スル考ハ持テマセヌ、又致シト思ヒマセヌ(ヒヤ)「其通り」ト呼フ者アリ(只ダ近時宮中ニ關スル事ニ就テ、新聞紙ノ差止事項ガ多ク、タト云フコトニ就テハ、實ニ遺憾ニ感ジテ居ル次第デアリマス、(謝マルナラ謝マレ、遺憾デハ分ラヌ)「謝マル必要ハナイ」ト呼フ者アリ)

○議長(奥繁三郎君) 靜ニ

○國務大臣(床次竹二郎君)(續) 事ノ宮中ニ關スル事ニ就テハ、是ガ民間ノ論議ノ題材ト相成リマシテ、延イテ累ヲ皇室ニ及ボスヤウナ事ガアリマシタハ相成ラスト考ヘテ居ルノデアリマス、ソレ故ニ事宮中ニ關スル事ニ就テハ言論ヲ慎ムベキデアルト云フコトニ就テハ、國民ノ間ニモ必ズ然ルベキ諒解ヲ得テ居ルコト、而シテ異議ナイコト、私ハ確信スル者デアリマス(拍手起ル)向ホ只今ノ色ニナ事項ヲ舉ゲテ御論辯デアリマシタガ、私ハ其必要ヲ認メマセヌカラ、茲ニ辯明ヲ致シマセヌ(拍手起ル)

○岩崎勳君 討論終結ノ動議ヲ提出致シマス

(賛成ノ聲起ル)

○議長(奥繁三郎君) 岩崎君ノ討論終結ノ動議ニハ御賛成——反對ハ無イヤウニ認メマス、仍テ討論ハ終結サレマシタ

(「反對モアリ」ト呼フ者アリ)

○議長(奥繁三郎君) 討論終結ノ動議ハ採決致シマシタ

(「宜シウゴザイマス」「反對モアルコトダケハ覺エテ居レト云フノダ」能ク喋舌ル奴ダ)ト呼フ者アリ)

○議長(奥繁三郎君) 仍テ決議案ノ採決ヲ致シマス、決議案ニ賛成ノ諸君ノ起立ヲ求メマス

〔賛成者 起立〕

〔反對〕「大多數」ト呼フ者アリ

○議長(奥繁三郎君) 起立少數、仍テ本決議案ハ否決サレマシタ

○岩崎勳君 殘餘ノ日程ニ關シテ延期ノ動議ヲ提出致シマス

〔賛成〕ノ聲起ル

○議長(奥繁三郎君) 岩崎君ノ動議ニハ御異議ナイト認メマス、本日ハ是ニテ散會

午後五時四十三分散會

衆議院議事速記録第二十六號正誤

頁

段 行

誤

正

六四二

中 二四

缺陷好模樣

頁岩油工業